

ハーフバス08 フルセット

製品の機能が十分に発揮されるように、この組立要領書の内容にそって正しく組立てしてください。

組立て後は、お客様に使用方法を十分に御説明ください。



安全上のご注意

組立の前に、この安全上の注意をよくお読みの上、正しく組立てください。

◎表示内容を無視して誤った組立をしたときに生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◎お守りしていただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

◎組立完了後、試運転及び各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなどの安全上の不具合が無いことを確かめてください。



警告



配線工事は関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行う

●接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電のおそれがあります。



ハーフバスに組込まれる電気機器・水栓などの付帯設備は、それぞれの商品に添付されている組立要領書・製品本体の注意表示を守り、正しく設置する

●誤った設置をすると、思わぬ事故や故障の原因となります。



組立に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示にしたがって、正しく使用する

●誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。



給水・給湯配管内の清掃は取付け前に必ず実施すること

●ごみ・砂などが混入すると、水漏れ・吐水不良の原因となります。



注意



給水・給湯管、排水管は、添付されている組立要領書どおり確実に組立てる

●誤った組立をすると、水漏れを起こすことがあります。



目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行う

●使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。



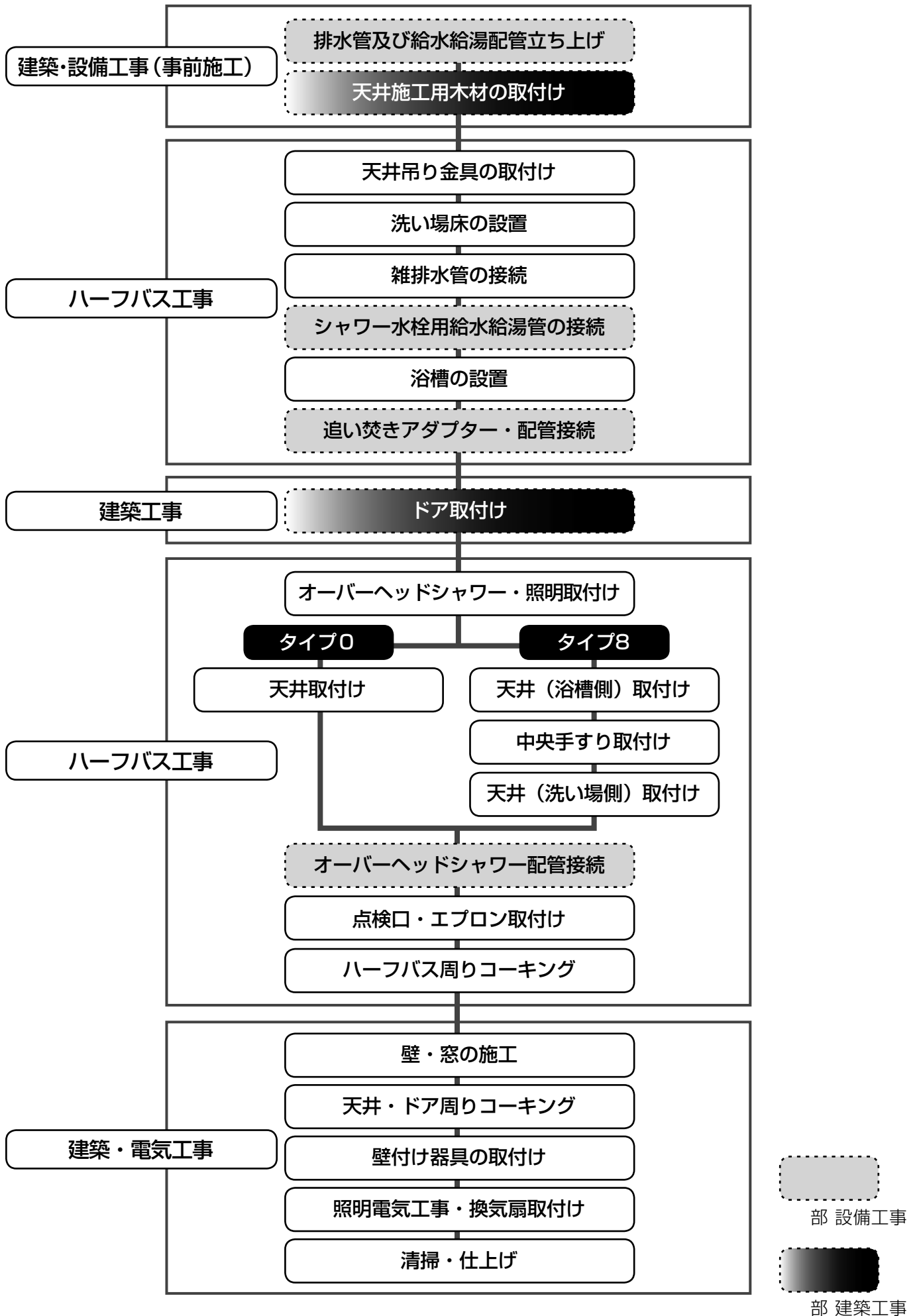
凍結が予想される地域や凍結の可能性がある場所には設置できません。



給水圧が低いと吐水量が十分に得られないことがあるため、0.2MPa以上の給水圧（流動時）を確保すること

◎ハーフバスを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破碎の上、許可された処理場にて処理してください。

施工区分・流れ

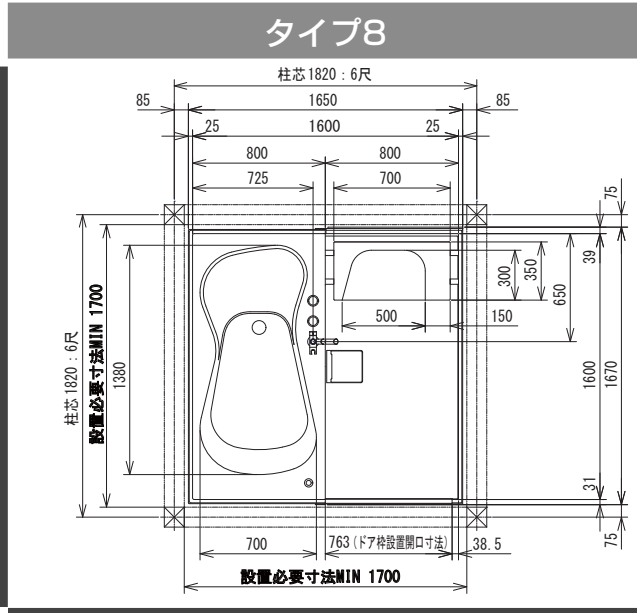
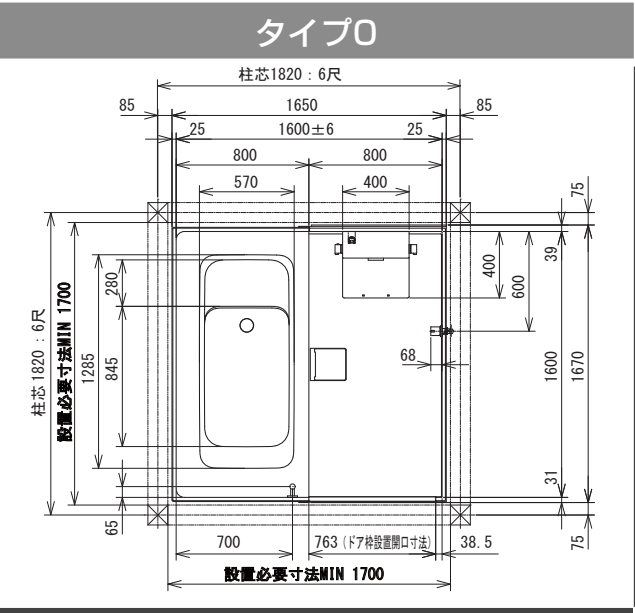


目次

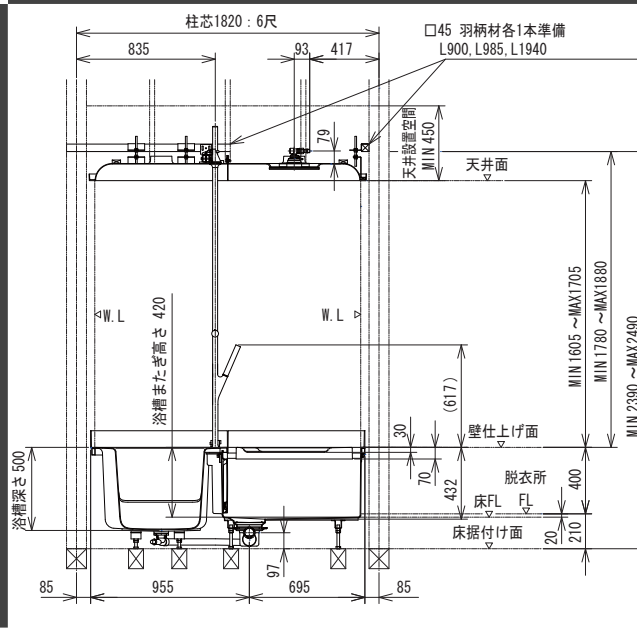
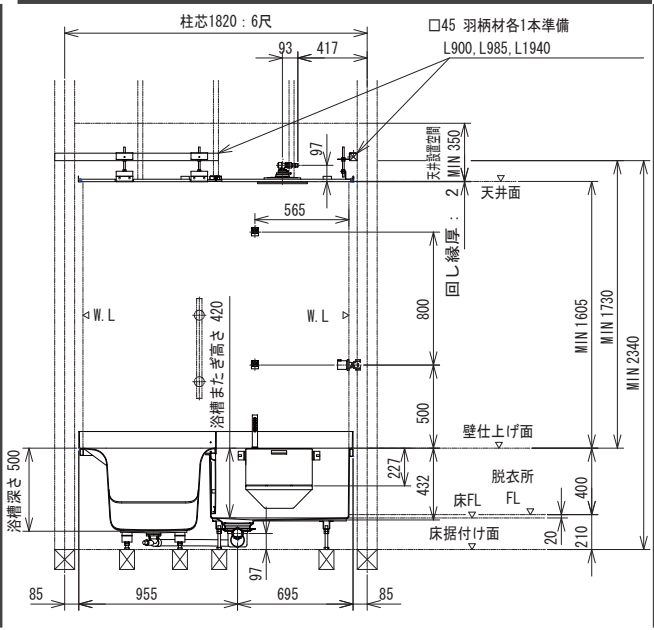
| | |
|-------------------------------|----|
| 図面集 | 1 |
| 一般図 | 1 |
| 矩計図 | 3 |
| 脚位置墨出し図 | 4 |
| 設備配管図 | 5 |
| 雑排水管立ち上げ・接続範囲 | 6 |
| 雑排水管 脱衣所接続範囲 | 6 |
| 必要工具 | 7 |
| 事前確認 | 8 |
| 事前施工 | 8 |
| 1. 排水管及び給水給湯管立ち上げ | 8 |
| 2. 天井施工用木材の取付け | 9 |
| 1. 天井吊り下げ用木材の取付け | 9 |
| 2. 天井仮置き用木材の固定 | 10 |
| 施工要領 | 10 |
| 1. 天井吊り金具の取付け | 10 |
| 2. 床周り組立て | 11 |
| 1. 脚固定金物取付け (別売品) | 11 |
| 2. 床の設置 | 11 |
| 3. レベル調整 | 12 |
| 4. 中央脚の固定 (1.25坪サイズのみ) | 12 |
| 5. 浴槽排水管の取付け | 14 |
| 6. 雑排水管取付け | 14 |
| 7. 床固定 | 15 |
| 3. シャワー水栓用給水・給湯管接続 (設備工事) | 15 |
| 1. 点検口内ふた取外し | 15 |
| 2. 接続 | 16 |
| 4. 浴槽周り組立て | 17 |
| 1. 浴槽事前準備 | 17 |
| 2. 床転倒防止治具取付け | 19 |
| 3. 浴槽据え付け | 20 |
| 4. 浴槽と床の接続 | 21 |
| 5. 浴槽のレベル調整 | 21 |
| 6. アジャスター脚固定 | 22 |
| 7. 浴槽排水管の接続 | 22 |
| 8. 浴槽脚固定 | 23 |
| 9. 追焚き取付け (追焚き付きの場合のみ) | 23 |
| 5. ドアの取付け (建築工事) | 24 |
| 6. 天井・中央手すりの設置 (中央手すりはタイプ8のみ) | 25 |
| 1. 天井吊り下げ用木材の位置の確認 | 25 |
| 2. 浴槽側天井の取付け | 26 |
| 3. 洗い場側天井へのオーバーヘッドシャワー取付け | 30 |
| 4. <タイプ0>洗い場側天井の取付け | 32 |

| | |
|----------------------------------|----|
| 5. 中央手すりの取付け (タイプ8のみ) | 35 |
| 6. <タイプ8>洗い場側天井の取付け | 39 |
| 7. 水栓の取付け (タイプ8のみ) | 43 |
| 1. 壁取り出しエルボ、止水栓の取付け | 43 |
| 2. 水栓本体の取付け | 44 |
| 3. シャワー用配管の取付け | 45 |
| 4. オーバーヘッドシャワー連結管取付け | 46 |
| 5. 水抜き栓、湯水配管の取付け | 46 |
| 6. 手すり取付金具Bの取付け | 47 |
| 7. シャワーホースの取付け | 48 |
| 8. ハンドルの取付け | 49 |
| 8. オーバーヘッドシャワー配管の取付け (設備工事) | 52 |
| <タイプ8> | |
| 1. 水栓側の配管接続 | 52 |
| 2. シャワー側の配管接続 | 53 |
| <タイプ0> | |
| 1. オーバーヘッドシャワー切り替えハンドル本体の取付け | 55 |
| 2. 水栓側の配管接続 | 56 |
| 3. シャワー側の配管接続 | 57 |
| 4. ハンドシャワー取付け | 59 |
| 9. 排水部、水栓部の漏水確認 | 60 |
| 1. 排水管の漏水確認 | 60 |
| 2. 各部配管の漏水確認 | 60 |
| 10. 浴槽排水操作部 (タイプ0のみ)・点検口・エプロン取付け | 62 |
| 1. エプロン金具の取付け | 62 |
| 2. ベンチ側小型エプロンの固定 (タイプ8のみ) | 63 |
| 3. 浴槽排水栓操作部の取付け (タイプ0のみ) | 64 |
| 4. 点検口の取付け | 66 |
| 5. 浴槽排水栓操作部のエプロンへの取付け (タイプ0のみ) | 66 |
| 6. エプロンの取付け (タイプ0) | 67 |
| 7. エプロンの取付け (タイプ8) | 67 |
| 11. 水栓の流量、温度調整 | 68 |
| 1. フィルターの掃除 | 68 |
| 2. 流量の調整 | 70 |
| 3. 吐水温度の確認 | 71 |
| 4. 温度調節ハンドルの設定 | 72 |
| 12. コーキング | 73 |
| 1. 浴槽・床側コーキング | 73 |
| 2. ドーム天井分割部コーキング (タイプ8のみ) | 73 |
| 13. 壁仕上げ | 74 |
| 1. 壁仕上げ | 74 |
| 2. 天井・壁部コーキング | 75 |
| 14. 壁付け器具の取付け (タイプ0のみ) | 76 |
| 1. オーバーヘッドシャワー開閉ハンドルの取付け | 76 |
| 2. シャワーハンガー・手すり取付け | 77 |
| 3. ラベル貼り付け | 78 |

平面図

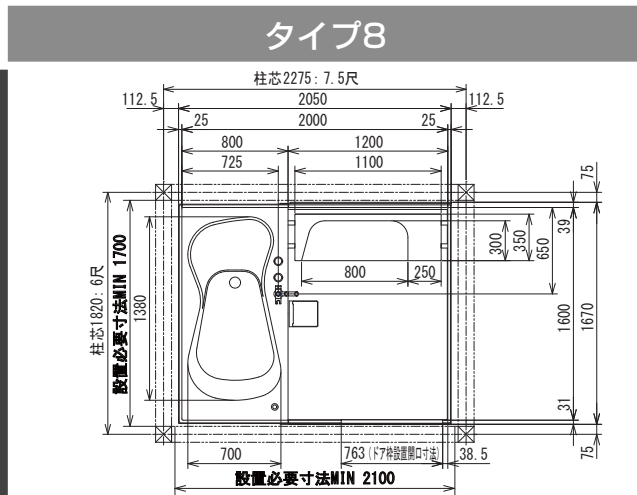
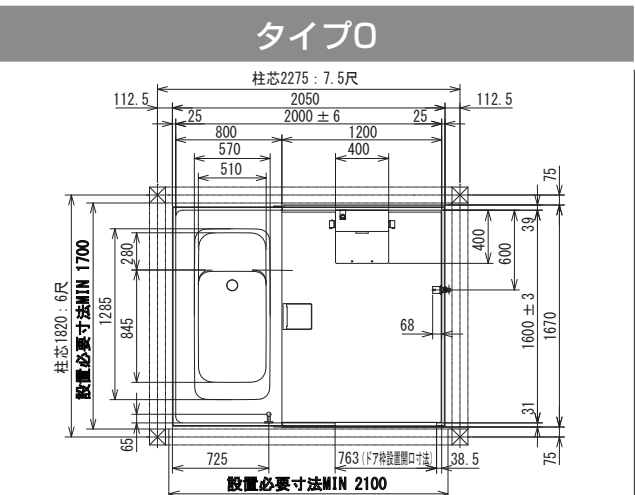


立面図



1620サイズ

平面図

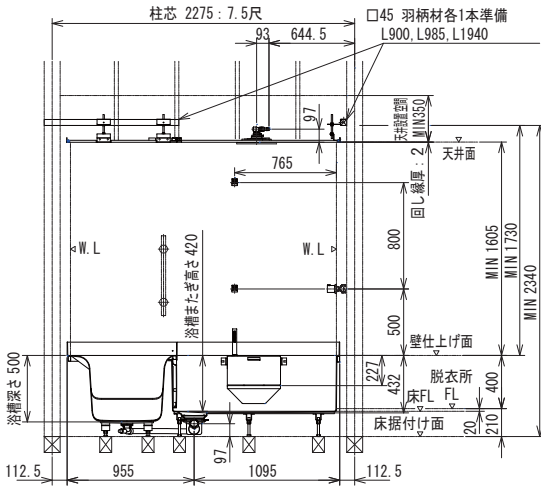


※図はドア勝手Aを示す

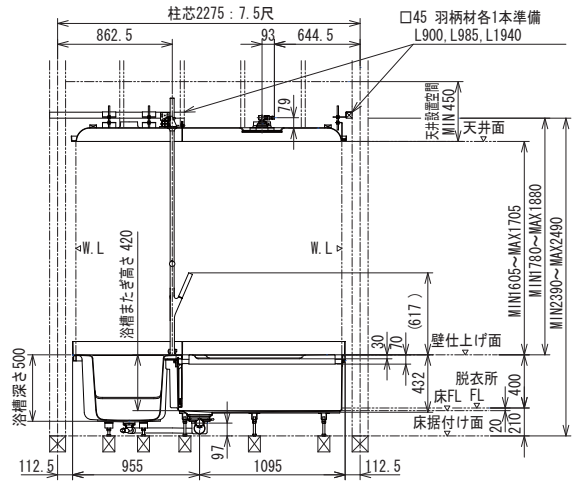
1620サイズ

立面図

タイプ0



タイプ8

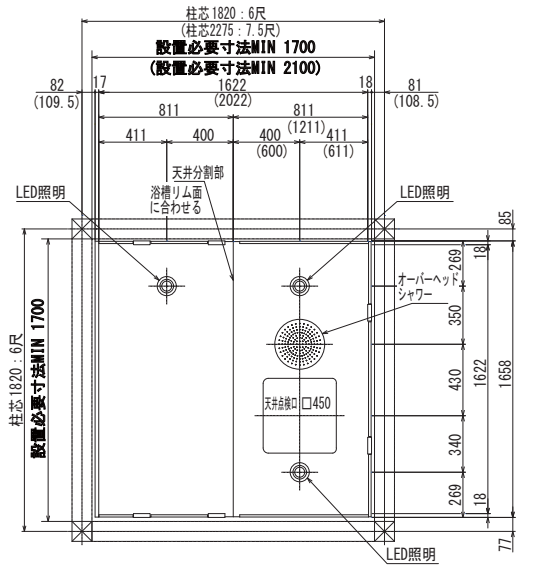


※図はドア勝手Aを示す
※柱寸口120の場合を示す

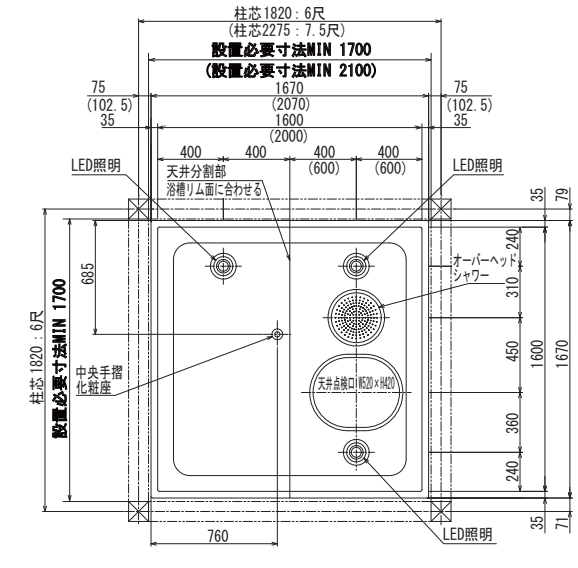
1616・1620サイズ

天井伏図

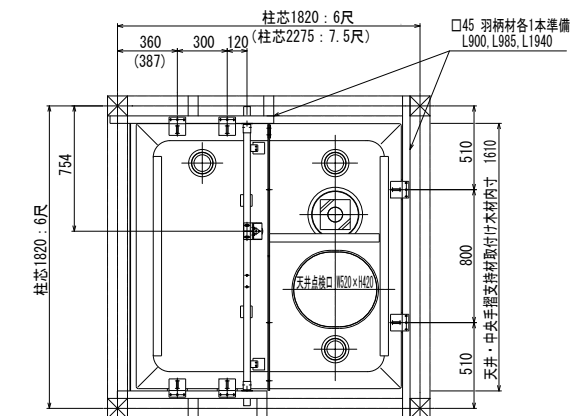
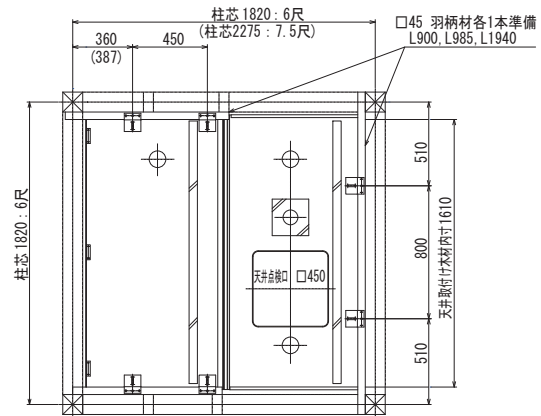
タイプ0



タイプ8



天井裏面図

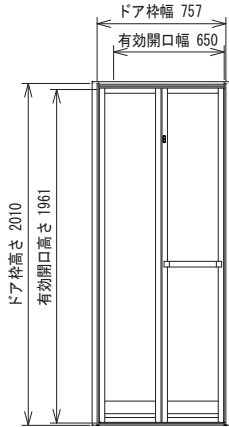


※ () 寸法は1620サイズを示す
※図はドア勝手A/Bを示す。C/Dは逆勝手手
※柱寸口120の場合を示す

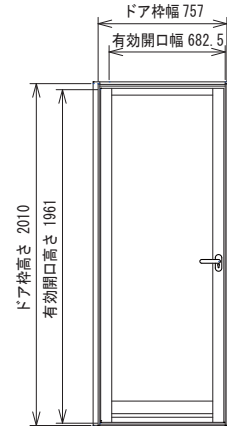
矩計図

外形図

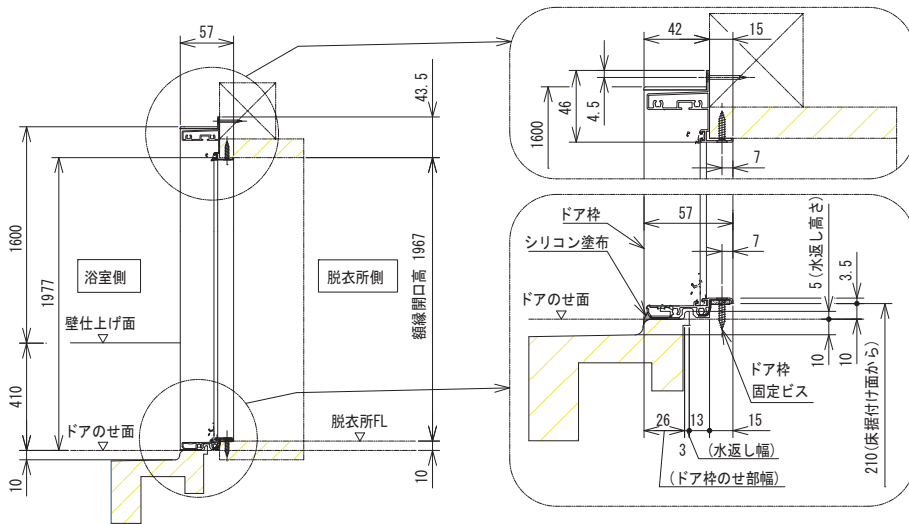
折戸 (スッキリドア)



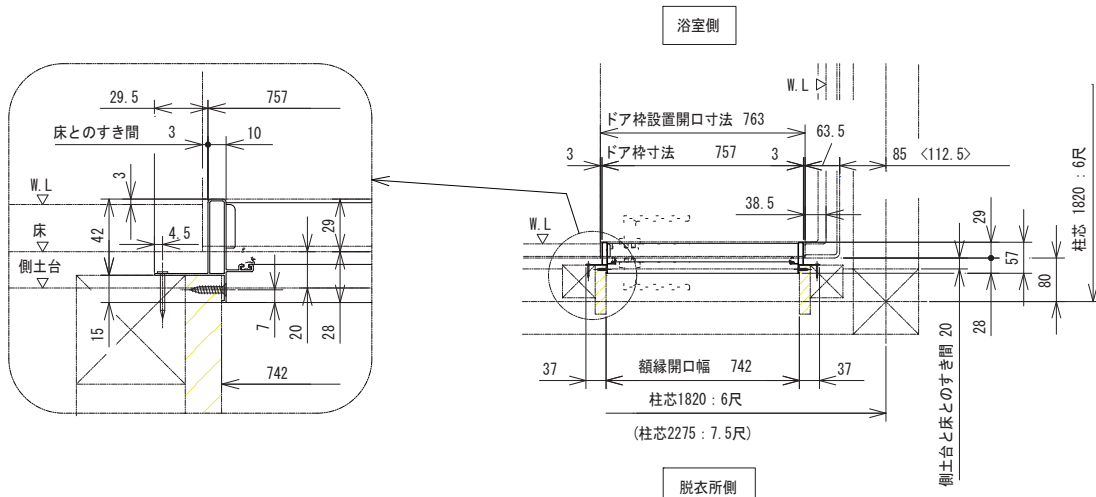
開き戸 (スッキリドア)



縦断面図 (折戸 / 開き戸共通)



横断面図 (折戸 / 開き戸共通)



※ () 寸法は1620サイズを示す
 ※図はドア勝手Aを示す

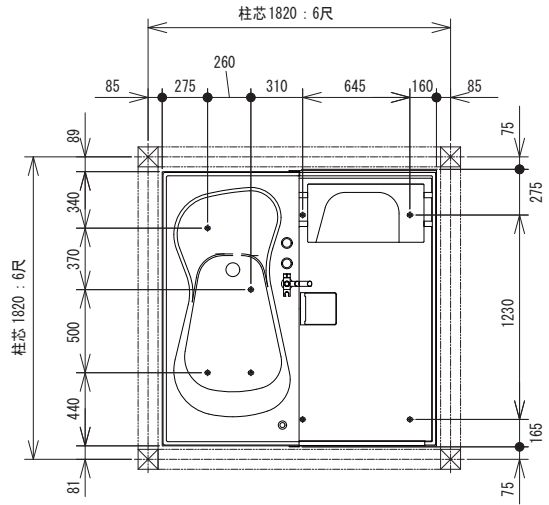
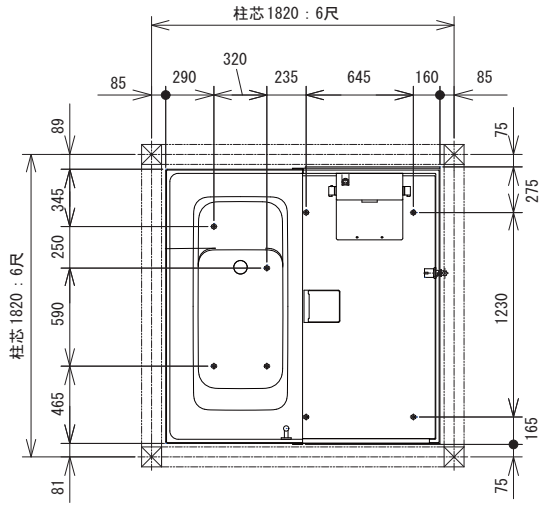
脚位置墨出し図

1616サイズ

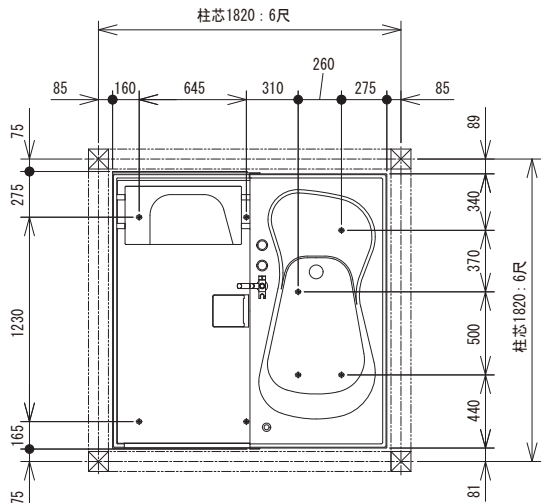
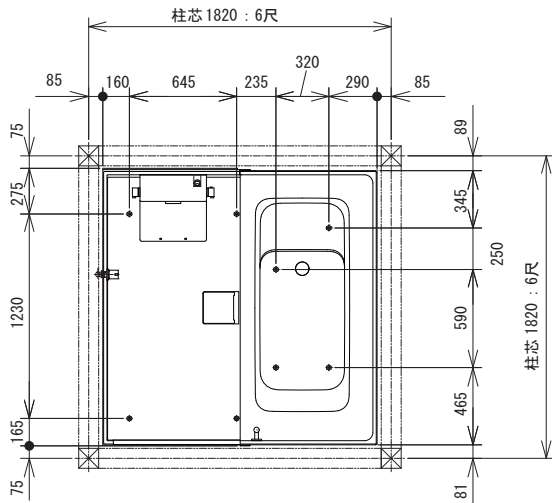
タイプ0

タイプ8

A/B 勝手



C/D 勝手

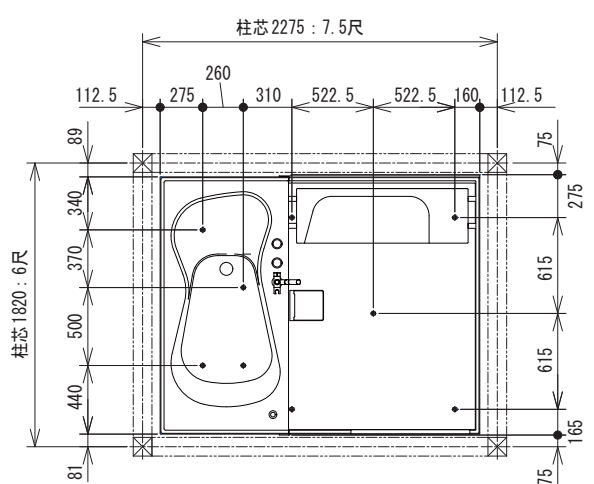
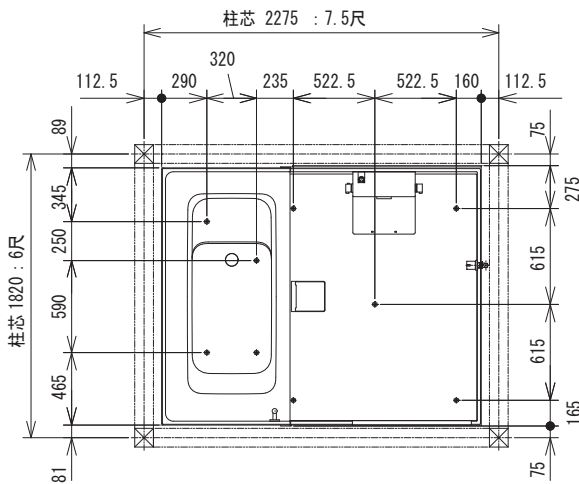


1620サイズ

タイプ0

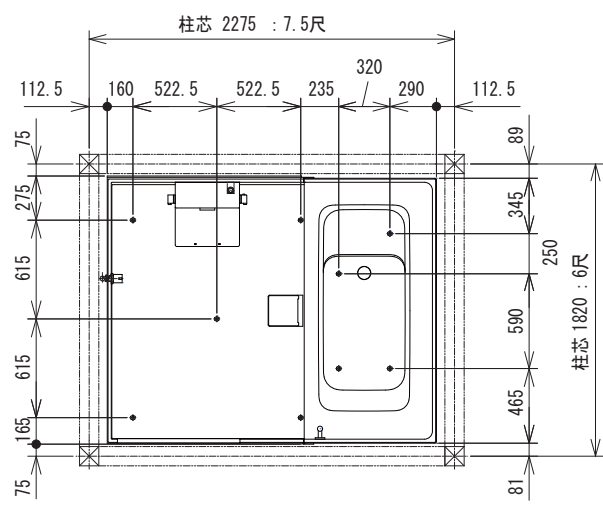
タイプ8

A/B 勝手

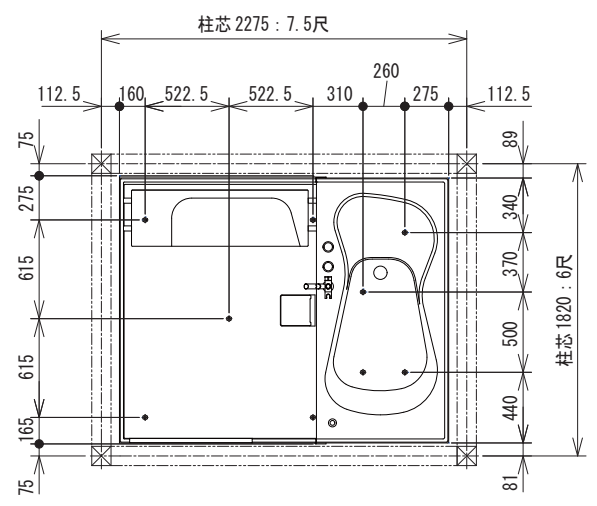


C/D 勝手

タイプ0

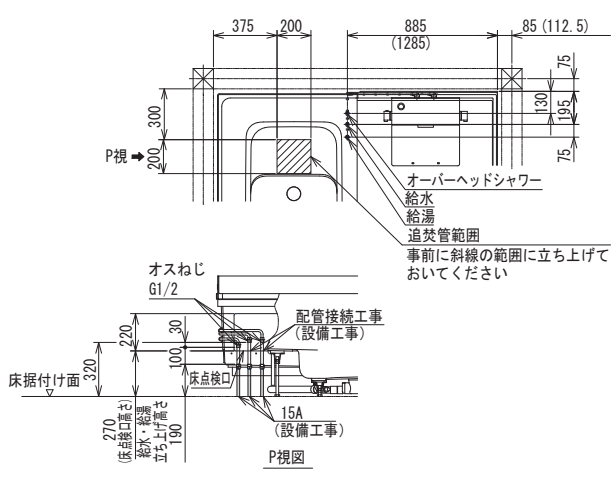


タイプ8

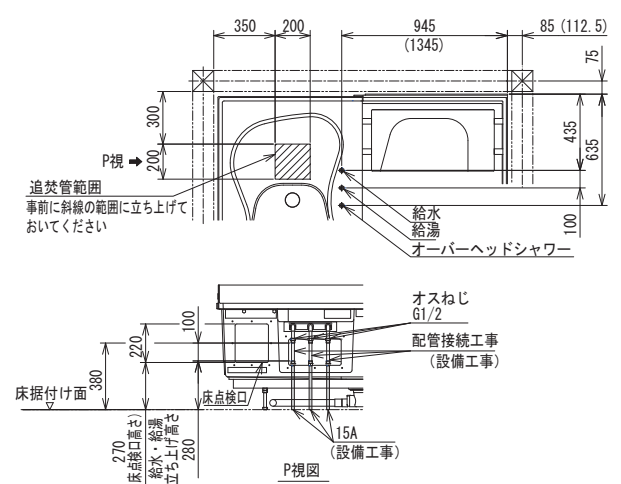


設備配管図

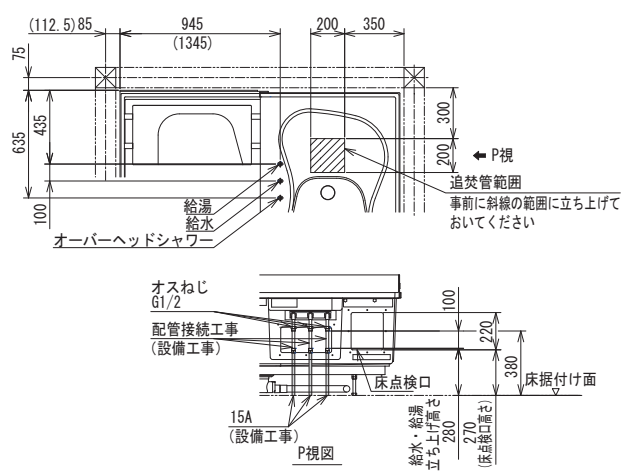
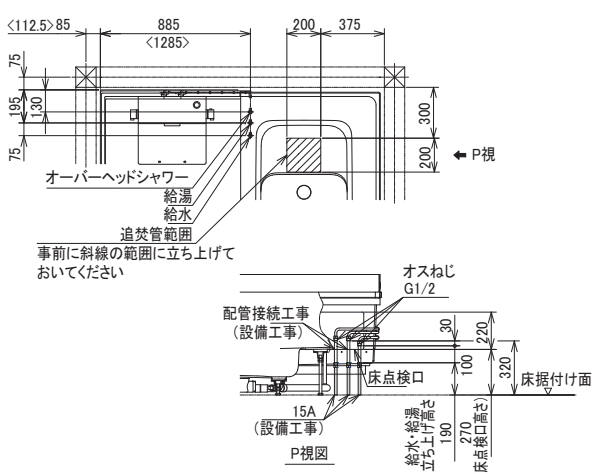
タイプ0



タイプ8



A/B 勝手



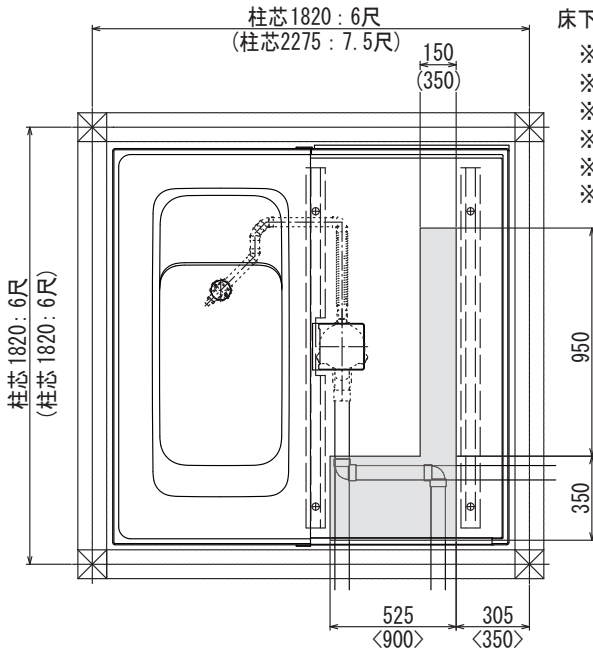
C/D 勝手

※ () 寸法は1620サイズを示す
 ※柱寸口120の場合を示す

雑排水管立ち上げ・接続範囲

本図はA/Bタイプを示す。C/Dタイプは逆勝手。

タイプ0 / 8 共通



床下接続の場合

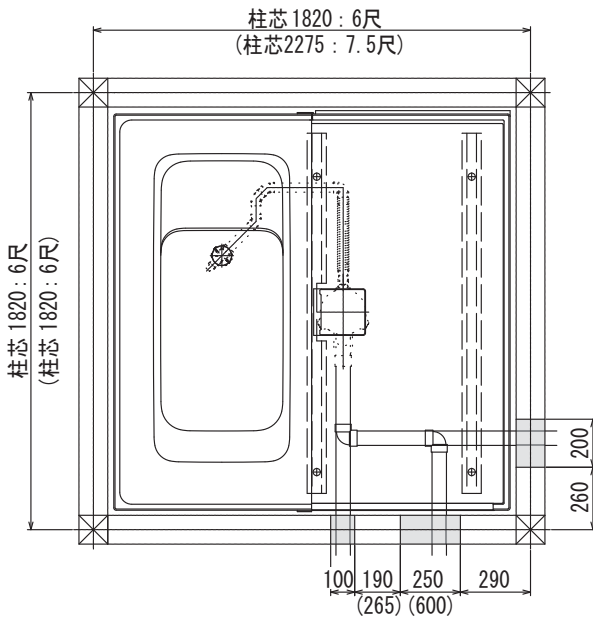
- ※床支持ボルトに干渉しない位置へ雑排水管を立ち上げてください。
- ※メンテナンスのため布基礎に開口を設けてください。
- ※()内は1.25坪サイズを示す。
- ※事前に左図の範囲で配管を50mm以上立ち上げてください。
- ※浴槽排水管、排水トラップと床据付け面の間に雑排水管を通すことはできません。
- ※左図の納まりが厳しい場合は床据付け面を上げてください。

雑排水管立ち上げ接続可能範囲

雑排水管 脱衣所接続範囲

本図はA/Bタイプを示す。C/Dタイプは逆勝手。


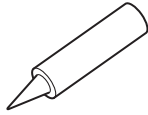

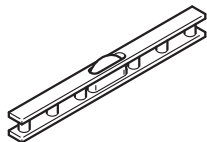


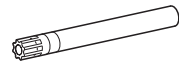
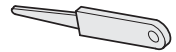

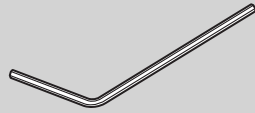
タイプ0 / 8 共通



接続可能範囲

必要工具

ハーフバス組立工具及び特殊工具

| | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  | | | |
| <p>電動ドリル ドリル刃φ3.5</p> | <p>ドライバービット⊕短・長No.2・3 (先端サイズ) 電動ドライバー (トルク調整機能付)</p> | | | |
|  |  |  |  |  |
| <p>モーターレンチ</p> | <p>コーキングガン</p> | <p>シリコン (白色)</p> | <p>カッター</p> | <p>曲尺</p> |
|  |  |  |  |  |
| <p>モンキーレンチ</p> | <p>⊕⊖ドライバー No.2 (先端サイズ)</p> | <p>巻尺</p> | <p>ヘルメシール55相当品</p> | <p>鉄工用ホルソーφ50 (追焚き加工要の場合)</p> |
|  |  |  |  |  |
| <p>レーザー墨出し器</p> | <p>ハサミ</p> | <p>下げふり</p> | <p>着色エスロン</p> | <p>水平器</p> |
|  |  |  |  |  |
| <p>養生テープ</p> | <p>コードリール</p> | <p>作業灯</p> | <p>スクレイパー</p> | <p>シールテープ</p> |
|  |  |  |  |  |
| <p>掃除機</p> | <p>養生用毛布</p> | <p>プラスチックハンマー</p> | <p>マジック</p> | <p>コーキング用ヘラ (先端5mm~10mm程度)</p> |
|  |  |  |  | |
| <p>脚立 (大・小)</p> | <p>特殊工具</p> | <p>水張り用ふうせんセット</p> | <p>六角棒レンチ 2.5号</p> | |
|  | <p>マルノコなど (タイプ8のみ)</p> | | | |
| <p>中央手すり補強材 (□40×t1.6鋼板製品パイプ) 切断用工具</p> | | | | |

事前確認

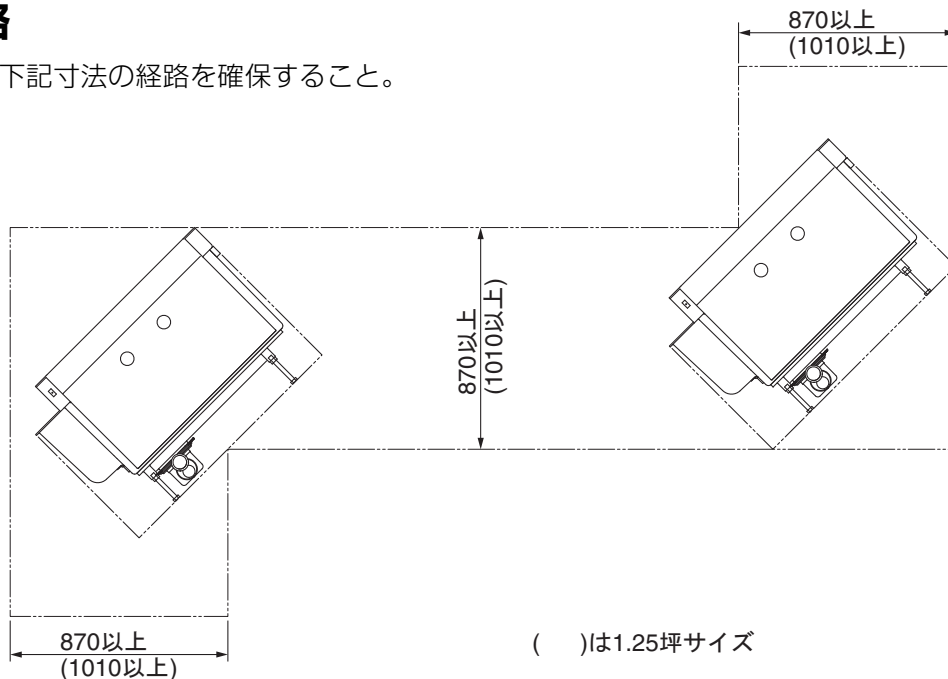
●部材について

| 同梱部品 | 現場手配部材 | 別売品 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 浴槽排水金具、集合トラップ シャワー金具用ソケット(壁裏配管付) 雑排水管 (VU50,1400,1000各1) 90° エルボ (VU50)×2 脚固定用接着剤×2、天井一式 LED照明×3、シャワー水栓、 オーバーヘッドシャワー、手すり(1個) | 壁一式、給水給湯管 シリコン、塩ビ管接着剤 天井施工用木材 オーバーヘッドシャワー 用配管 | ふろふた ふろふたフック (PTF0060) 脚固定金物 (PZ6031) (木造建築の階上に設置する場合に 使用。 1坪サイズ：8個 1.25坪サイズ：9個必要) |

※ドア付きを選択した場合、ドアが同梱されます。

●搬入経路

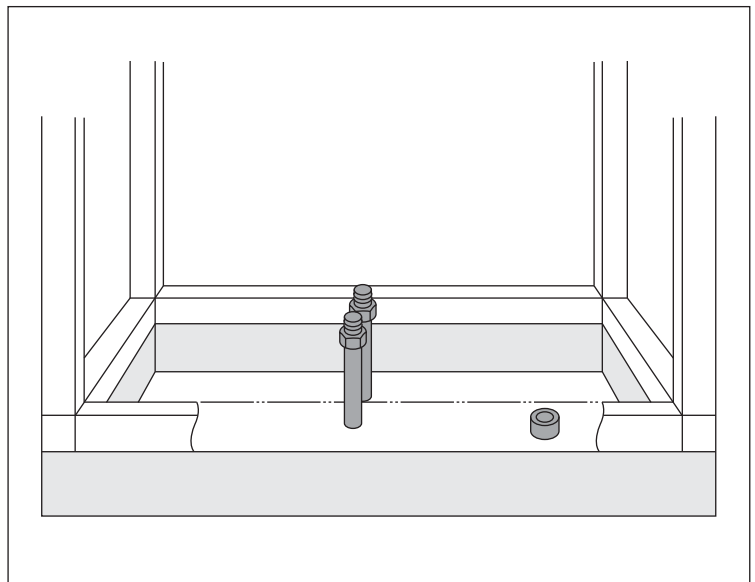
製品搬入のため下記寸法の経路を確保すること。



事前施工

1. 排水管及び給水給湯管立ち上げ

ハーフバス設置前に給水・給湯管及び排水管を立ち上げる。位置は図面を参照のこと。



2. 天井施工用木材の取付け

天井は吊り下げ方式です。事前に建築側へ吊り下げ用の木材を取り付けてください。木材は現場手配となります。

天井の設置高さは施工前に業者と打ち合わせの上、必ず事前に決定してください。木材取り付け後に天井高さを調整することはできません。

準備する木材

推奨規格：日本農林規格（JAS） 下地用製材 1級 相当品

1坪／1.25坪サイズ共通

(1)天井吊り用：45×45角、長さ900mm 1本、985mm 1本、1940mm 1本

(2)天井仮置き用

①ドア勝手A/Cの場合：45×45角、長さ950mm 2本

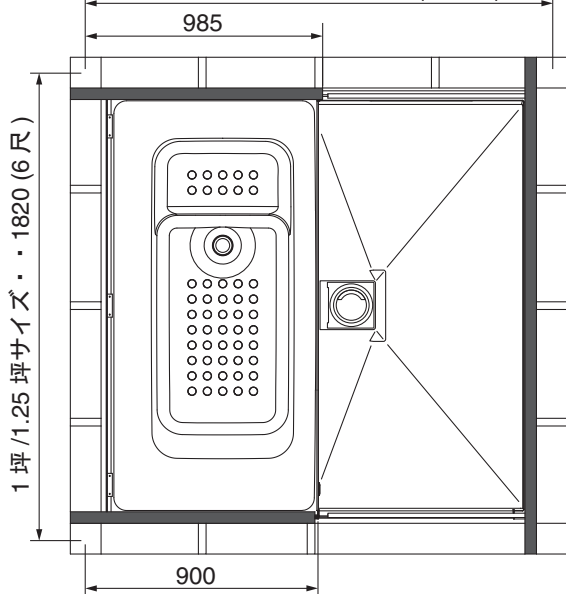
②ドア勝手B/Dの場合：45×45角、長さ950mm 1本、長さ1940mm 1本

1. 天井吊り下げ用木材の取付け

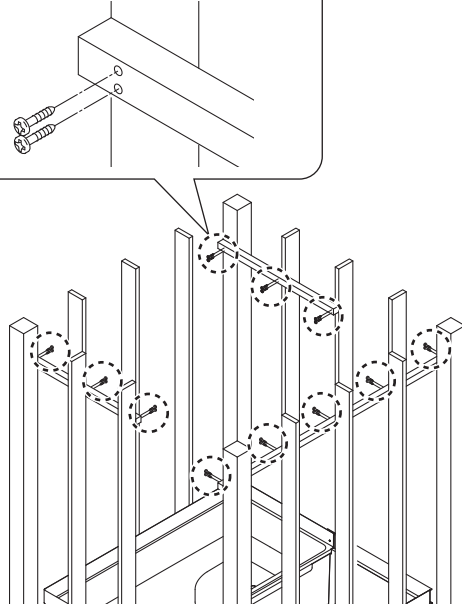
木材はドアの向きに関わらず浴槽・床に対し必ず下図の位置・向きに取り付けてください。取り付け高さは必ず下図の寸法を守ってください。低い場合はドア枠に干渉し、高い場合は中央手すり（タイプ8のみ）が取り付けできなくなります。

建築寸法は下図寸法を守ること

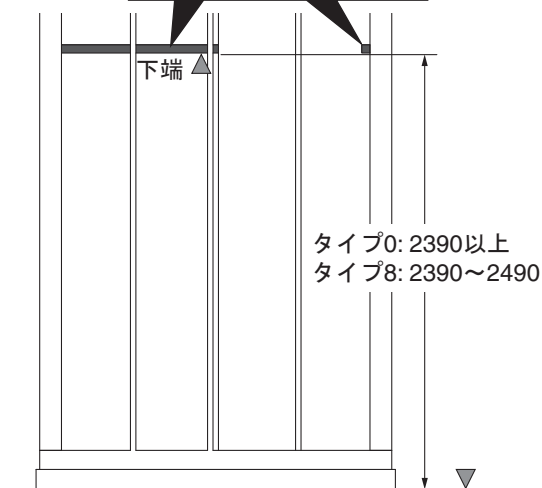
1坪サイズ・・・1820(6尺)
1.25坪サイズ・・・2275(7.5尺)



柱3本以上に取り付ける
各柱に木ねじ2本を取り付ける



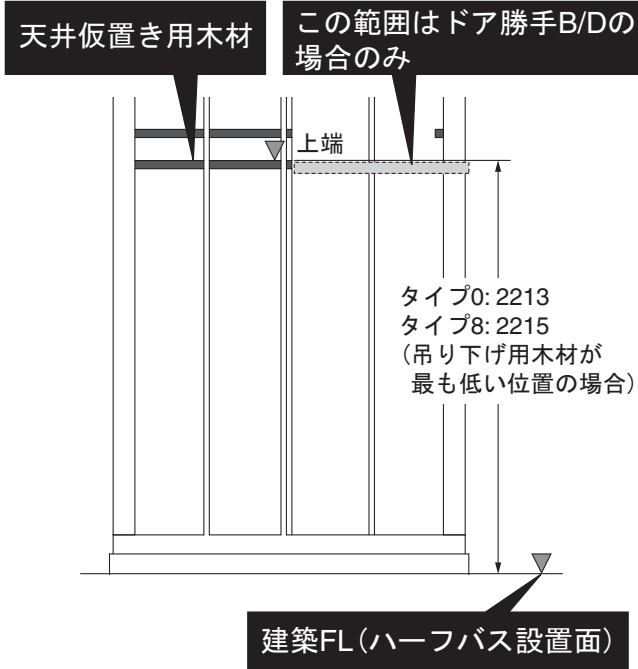
天井吊り下げ用木材



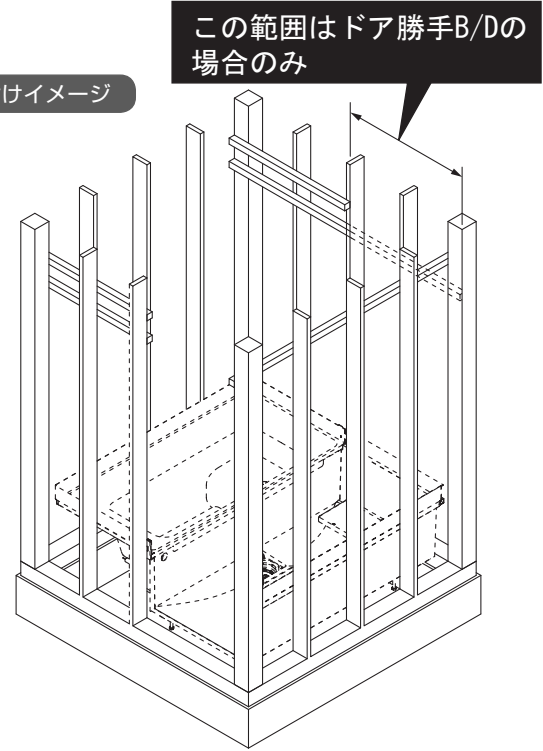
建築FL(ハーフバス設置面)

2. 天井仮置き用木材の固定

天井仮置き用の木材を取り付けます。



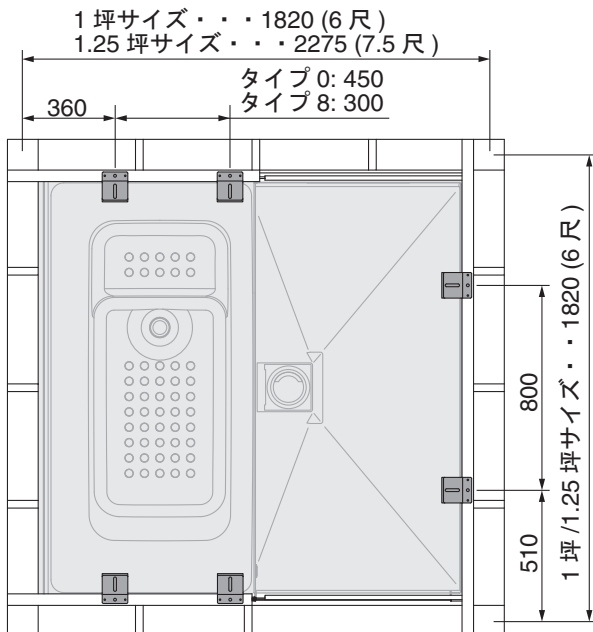
取り付けイメージ



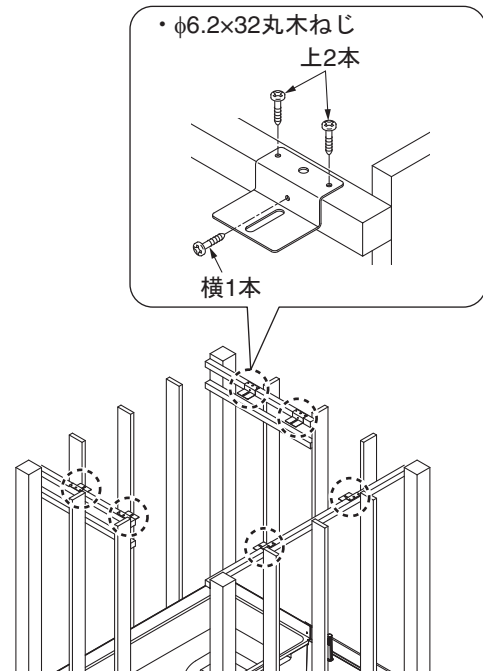
施工要領

1. 天井吊り金具の取付け

天井吊り下げ用木材に吊り金具を下図の寸法の位置にφ6.2×32丸木ねじ3本で取り付けます。ドライバーの先端は必ず太い3番ビットを使用してください。金具は合計6個あります。寸法は全て柱芯から金具中心です。タイプ0とタイプ8は一部寸法が異なりますので注意してください。



取り付けイメージ



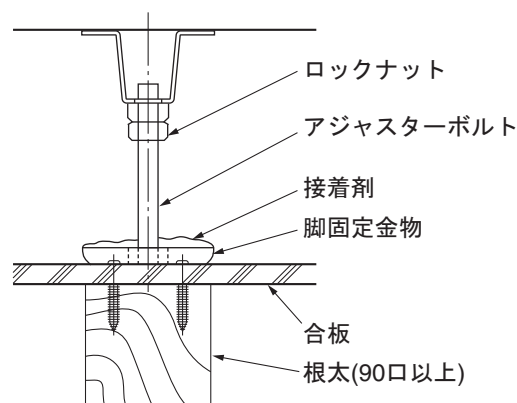
2. 床周り組立て

1. 脚固定金物取付け (別売品) ※木造で階上設置の場合のみ

床・浴槽の支持脚位置に合わせて、脚固定金物を同梱の取付けビス2本にて取り付けてください。

木造で階上設置の場合、床は次のように施工してください。

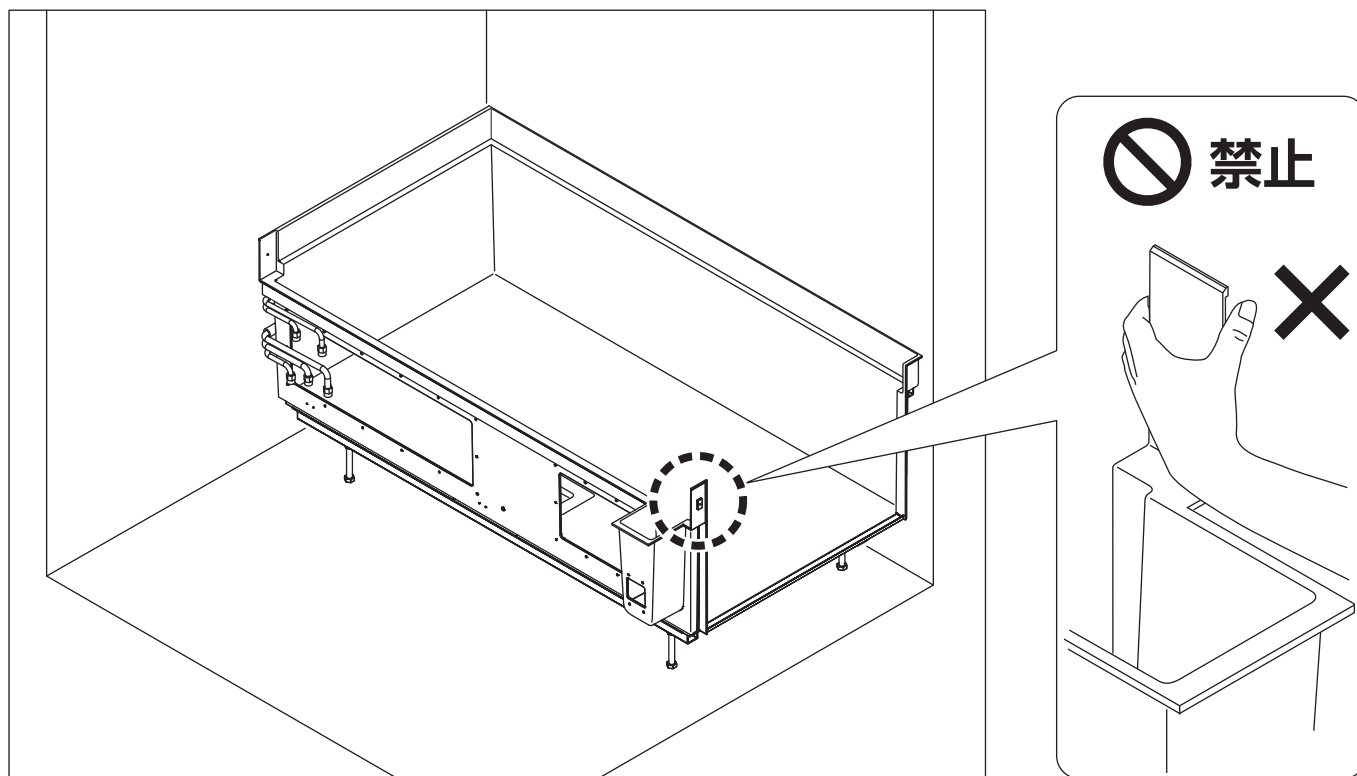
- ①使用する根太は90mm角以上の太さとする。
- ②根太の配列はハーフバス脚位置に合わせる。
- ③根太掛け後、上に合板(9mm厚以上)を張る。



2. 床の設置

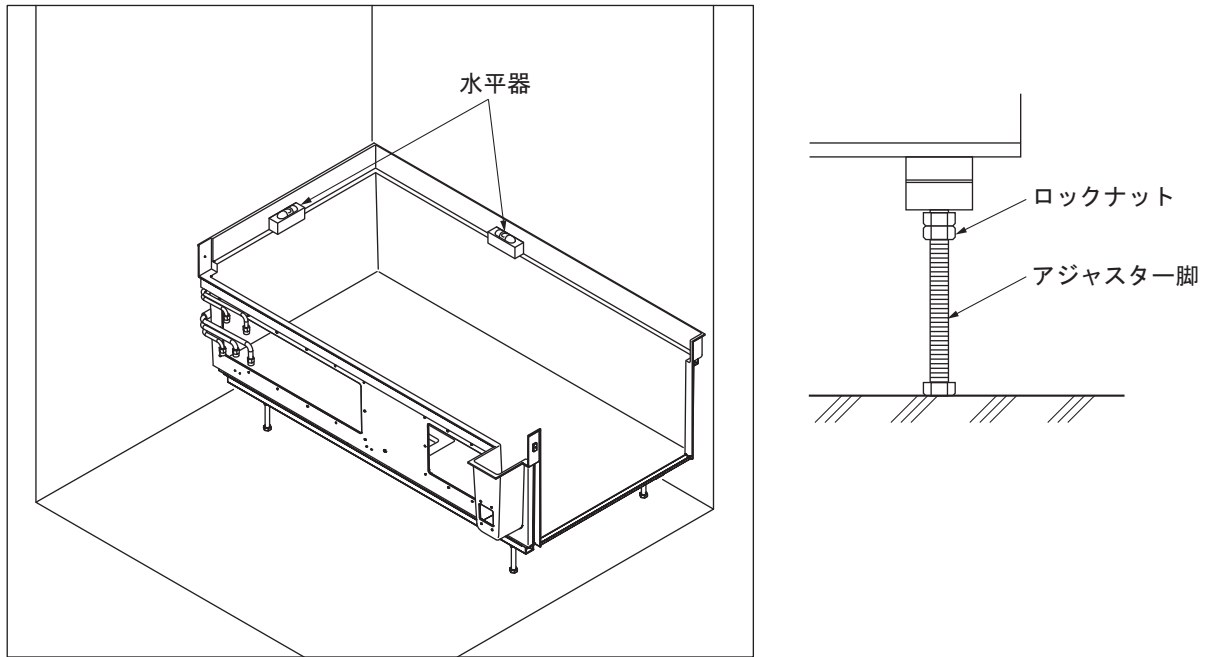
床本体を設置してください。

床を搬入する際、ドア横の水返し面を持たないでください。破損し、施工ができなくなります。(ドアA/C勝手のみ)



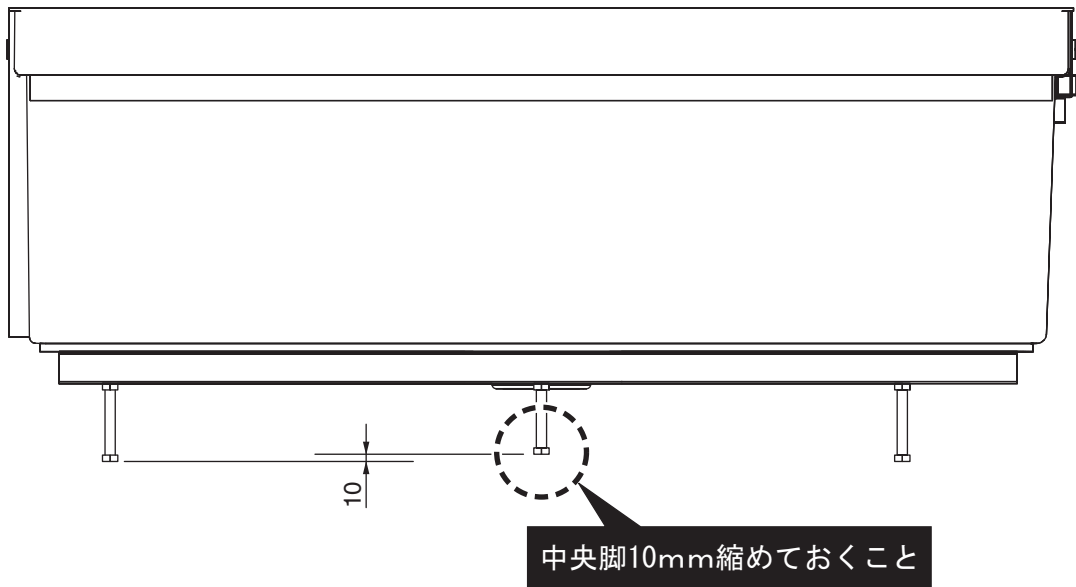
3. レベル調整

壁のせ面に水平器をあて、水平出しおよび高さ調整を行ってください。調整方法は、アジャスター脚のロックナットをゆるめ、アジャスター脚を回して行ってください。
 ※アジャスター脚の調整代は約±15mmです。調整後、必ずロックナットを締め付けてください。

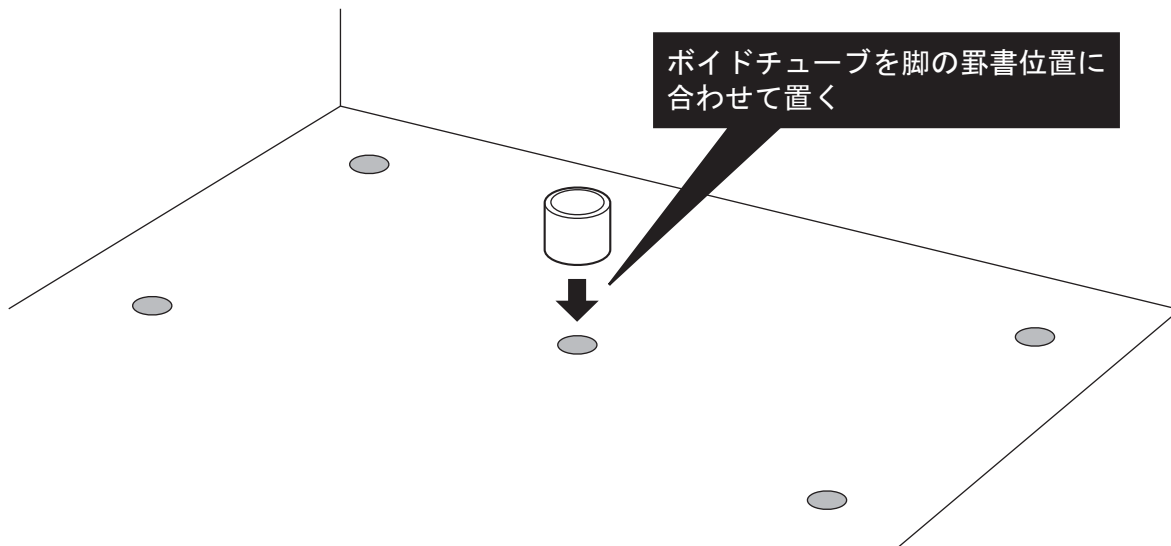


4. 中央脚の固定（1.25坪サイズのみ）

スピーディーモルタルを使用して中央の脚を固定します。
 事前に中央の脚を他の脚より10mm程度縮めてください。



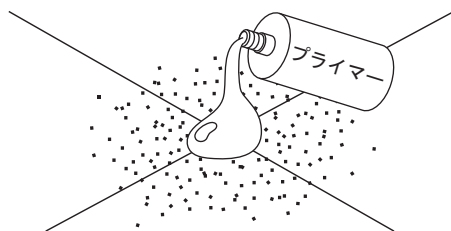
脚位置を野書き、床を一度取り除きます。



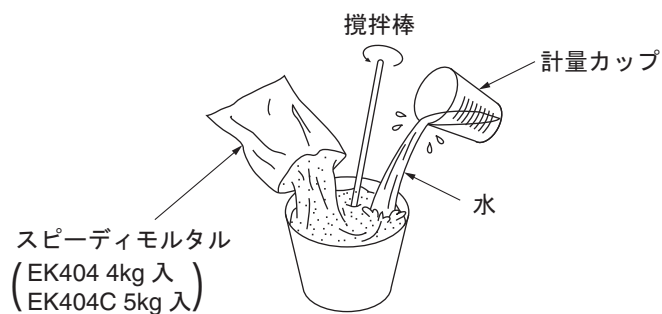
スピーディモルタルを準備し、床を据え付けます。モルタルが固まる前に迅速に床を据え付けてください。

スピーディモルタル使用時の手順

①スピーディモルタルで接着を行うスラブ面の砂ぼこり、水たまりなどを除去し、プライマーをたらす。

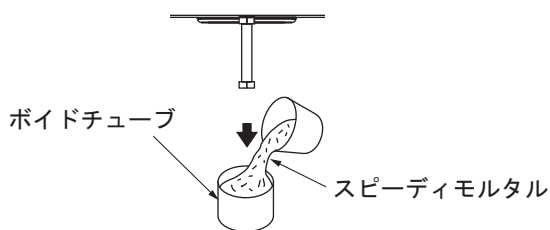


②スピーディモルタルに水を加えて攪拌する。



スピーディモルタルには、骨材が入っているので、水のみ加えること。水はカップで計量すること。スピーディモルタル4kgにつき、水0.8ℓ、5kgにつき水1ℓを加える。市販の2ℓ用ポリカップ（目盛付）を使用すれば、注入にも使えて便利。

③スピーディモルタルをボイドチューブに流し込む。



スピーディモルタルに水を加えてから夏期10分、冬期20分程度で床据付を完了すること。養生期間は夏1時間、春・秋2時間、冬3時間を目安として、触指により硬化の確認をする。（爪をたてて跡が残らなければ硬化している。）

5. 浴槽排水管の取付け

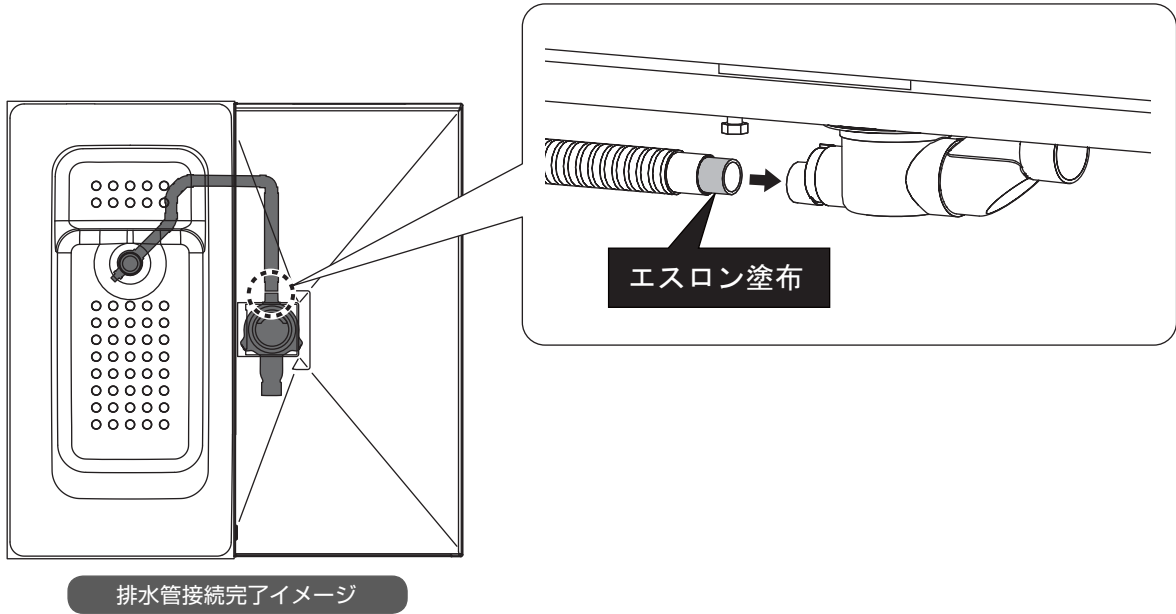
床設置前にトラップに浴槽排水管を取り付けます。浴槽排水管のエルボの向きをトラップ雑排水管の向きに合わせて、浴槽排水管に着色エスロンを塗布し取り付けてください。接着剤にゴミなどが付着しないように注意してください。接着時は30秒間以上保持して下さい。



注意

浴槽排水管の向きを間違えて取り付けない

向きを間違えると浴槽排水管との接続ができなくなります。



6. 雑排水管取付け

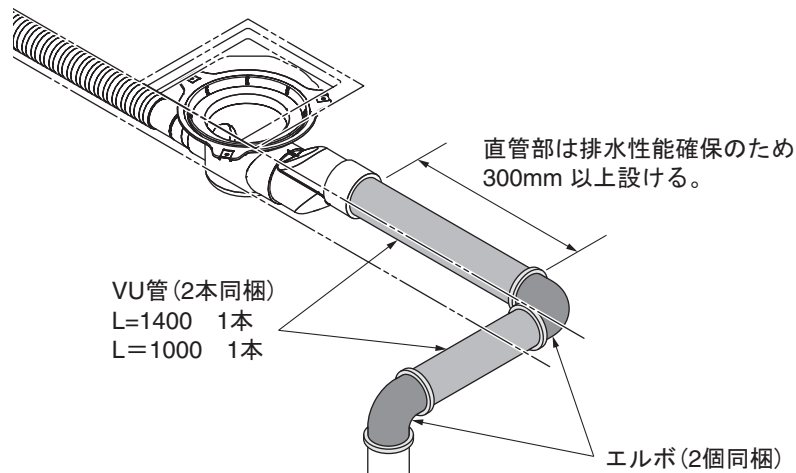


注意

雑排水管の接続は必ずこの段階（浴槽設置前）に行う

浴槽設置後では手が届かず施工ができないおそれがあります。

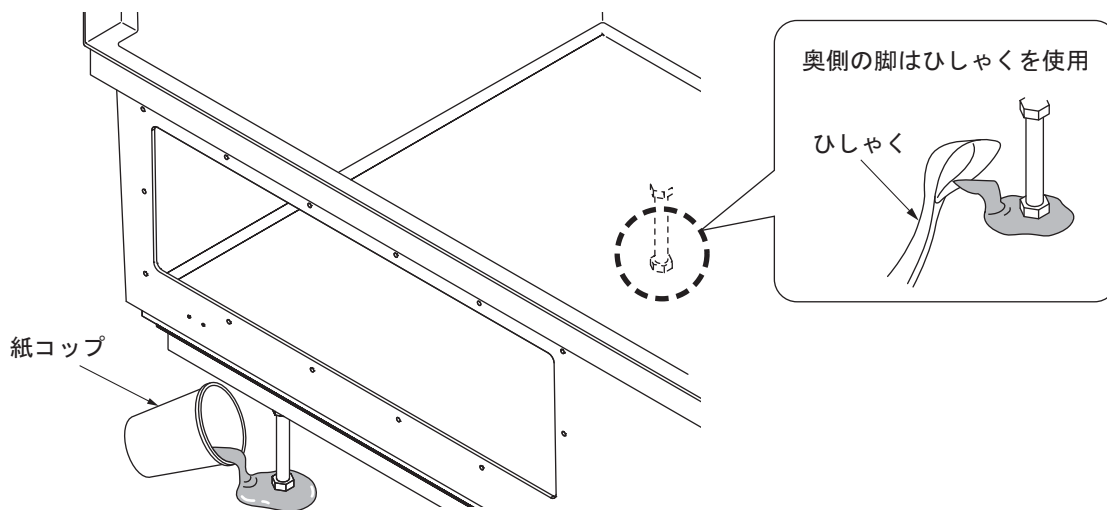
雑排水管の接続を行ってください。
雑排水管の勾配は1/50以上確保してください。



7. 床固定

接着剤を紙コップに入れ、アジャスター脚にかけて脚を固定してください。奥側の脚に手が届かない場合は、同梱のひしゃくを使ってください。

※接着剤の取り扱いについては、接着剤に同梱の説明書をよくお読みください。



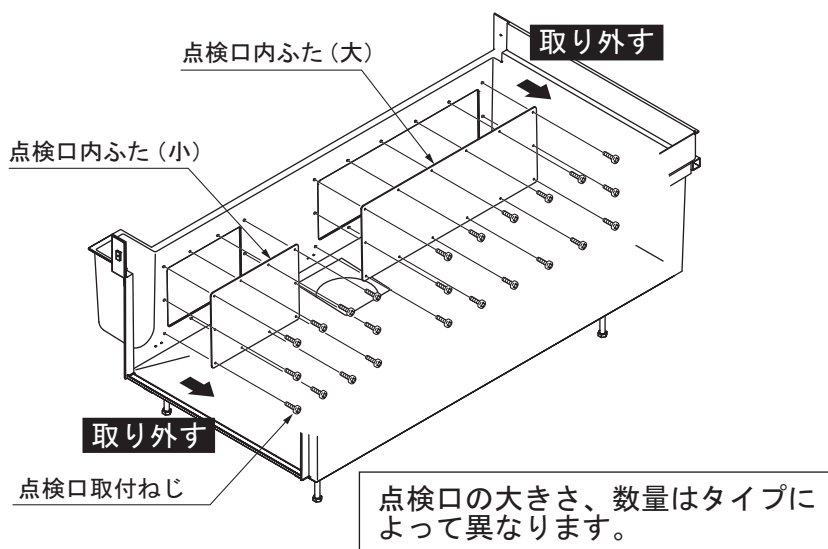
3. シャワー水栓用給水・給湯管接続 (設備工事)

⚠️ 注意

- 給水・給湯管の接続はハーフバス施工完了後でも点検口から可能ですが、浴槽設置前に行ったほうが作業がよりしやすくなります。
- シャワー水栓取付後、給水・給湯管接続箇所の漏水確認を行う。

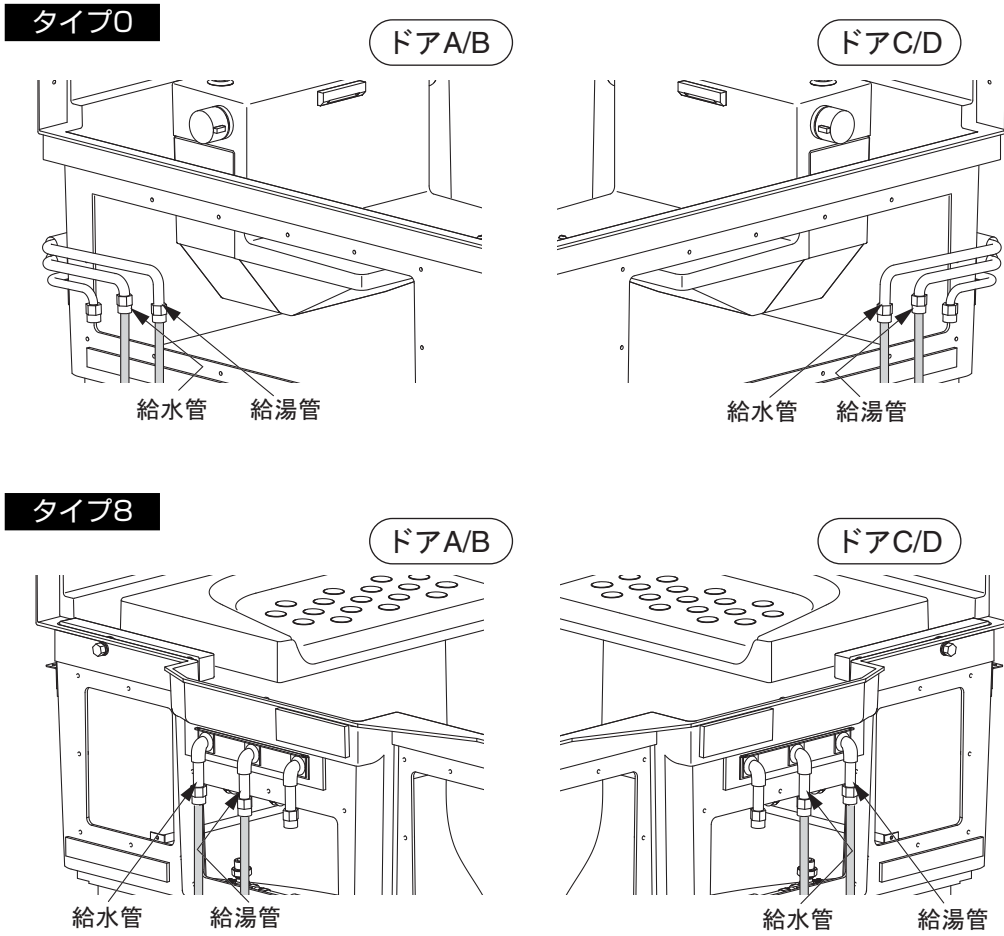
1. 点検口内ふた取外し

出荷時はあらかじめ点検口内ふたが仮組みされています。点検口取付ねじを外し点検口内ふたを取り外してください。取り外した点検口は、裏のパッキンが傷つかないように保管してください。パッキンに傷が付いたり破損すると漏水します。点検口のねじを紛失しないように保管してください。



2. 接続

事前に立ち上げておいた給水・給湯管をシャワー水栓配管に接続してください。接続口は全てG1/2です。
 接続部はシールテープを5回巻き、その上にヘルメシールを塗って接続してください。



給水・給湯管の立ち上げが完了していれば、接続はハーフバス施工完了後でも可能です。

4. 浴槽周り組立て

1. 浴槽事前準備

⚠️ 注意



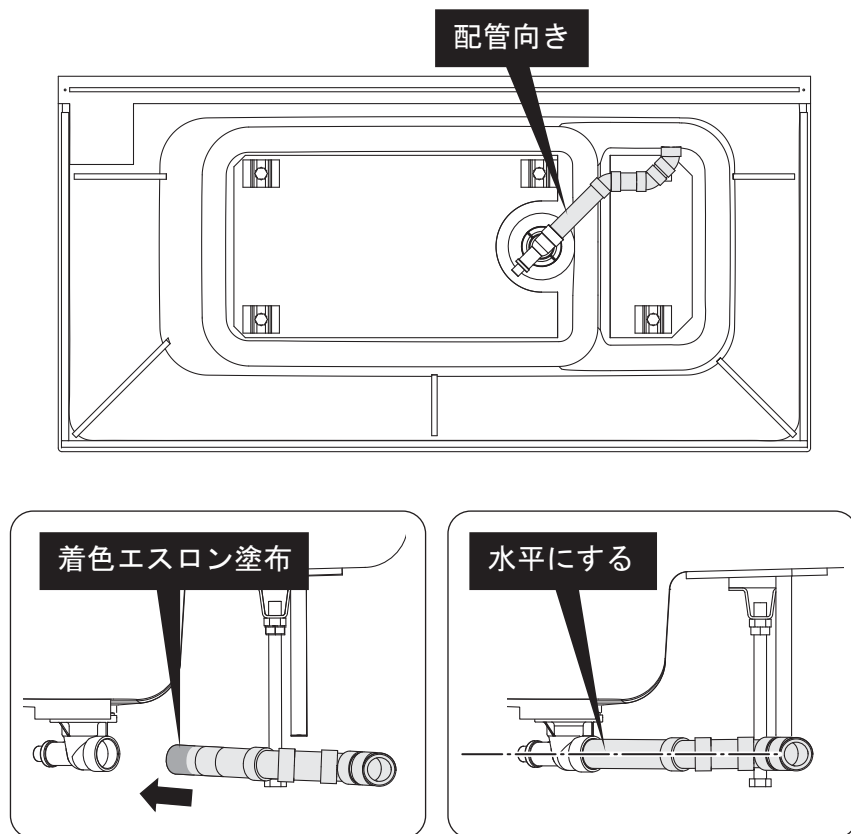
必ず実行

排水管接続の際は、エスロンを均一に塗り、しっかりと奥まで差し込んで取り付ける

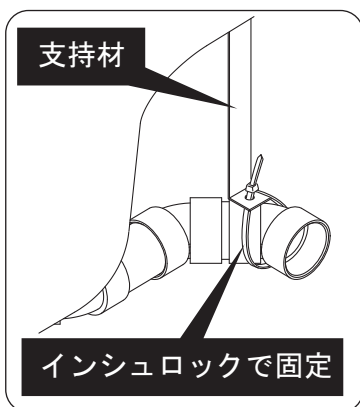
取り付けが十分でないと漏水します。

浴槽排水管に着色エスロンを塗布し、浴槽のエルボにしっかりと差し込んでください。接着剤にごみなどが付着しないように注意してください。接着後30秒間保持すること。

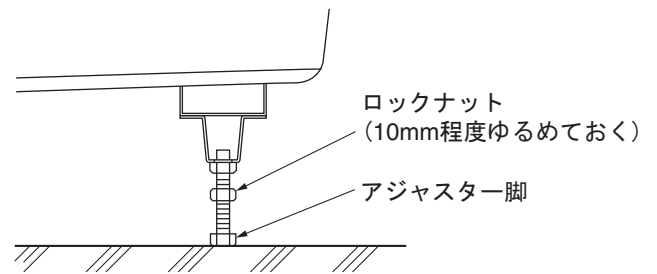
浴槽排水管を浴槽のエルボに接続します。排水管のエルボの向きが必ず水平になるように接続してください。



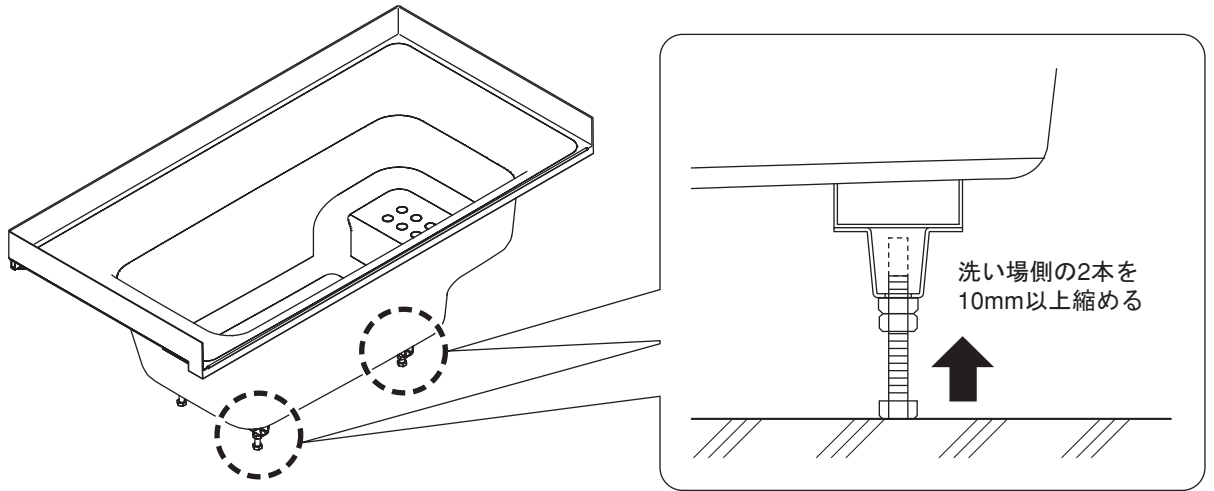
接続後、排水管を支持材にインシュロックで固定してください。



アジャスター脚のロックナット4本は、すべて10mm程度ゆるめておいてください。



洗い場側2本の脚を、10mm以上縮めてください。

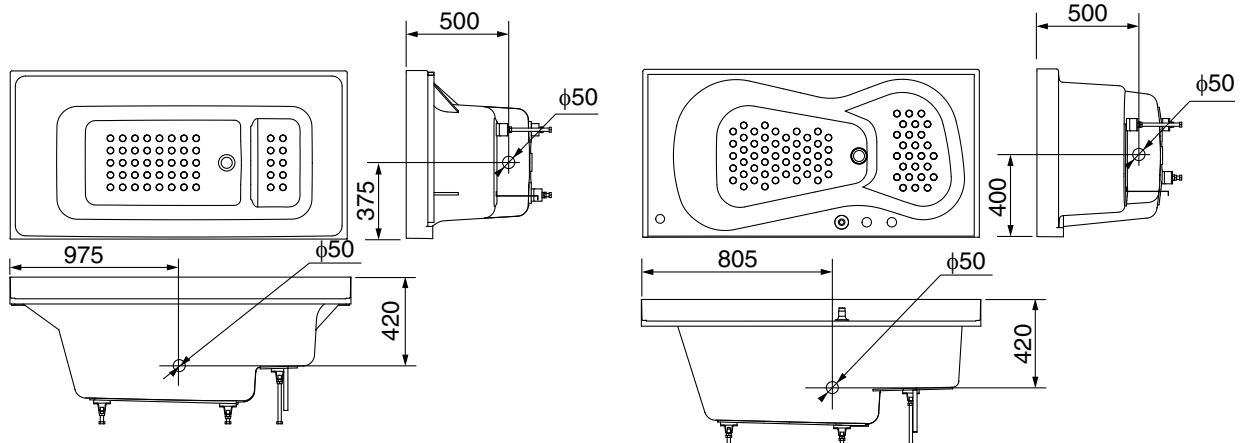


●浴槽の穴あけ（給湯機などの循環アダプタを取り付ける場合）

浴槽穴あけ位置

●穴あけは下図の位置に行ってください。

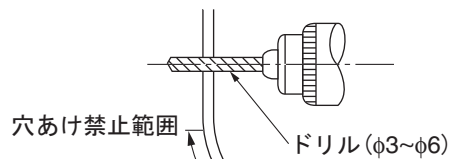
※下図以外の位置に穴あけすると、循環アダプター用の設備配管の施工時に、手が届かず接続できない場合があります。



穴あけ手順

穴あけ後は穴の **エッジ面の面取り** をしてください。

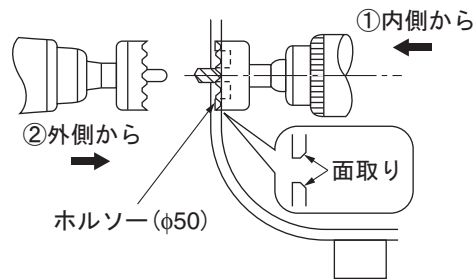
①穴あけ位置にφ3~φ6のドリルで浴槽内側からセンター穴をあけてください。



ふろ接続アダプターが穴あけ禁止範囲にかかると漏水の原因になります。

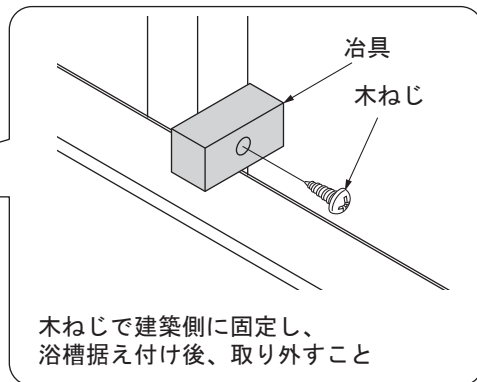
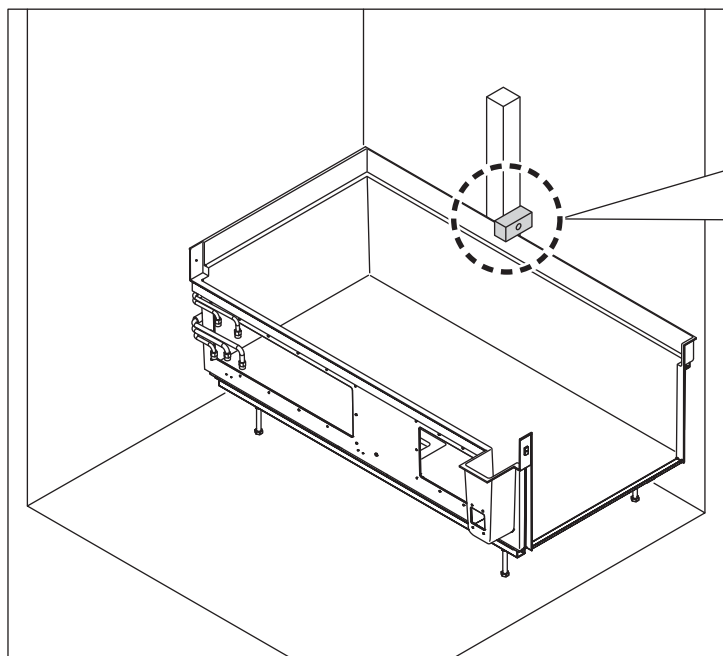
②センター穴をガイドにしてφ50のホルソーで浴槽内側から半分穴あけし、次に浴槽外側より貫通穴をゆっくりあけてください。

- ドリルは400rpm以下でご使用ください。
- 穴あけ周囲は、紙やすりなどで角を面取りしてください。面取りが十分でないと使用中にクラックが入るおそれがあります。



2. 床転倒防止治具取付け

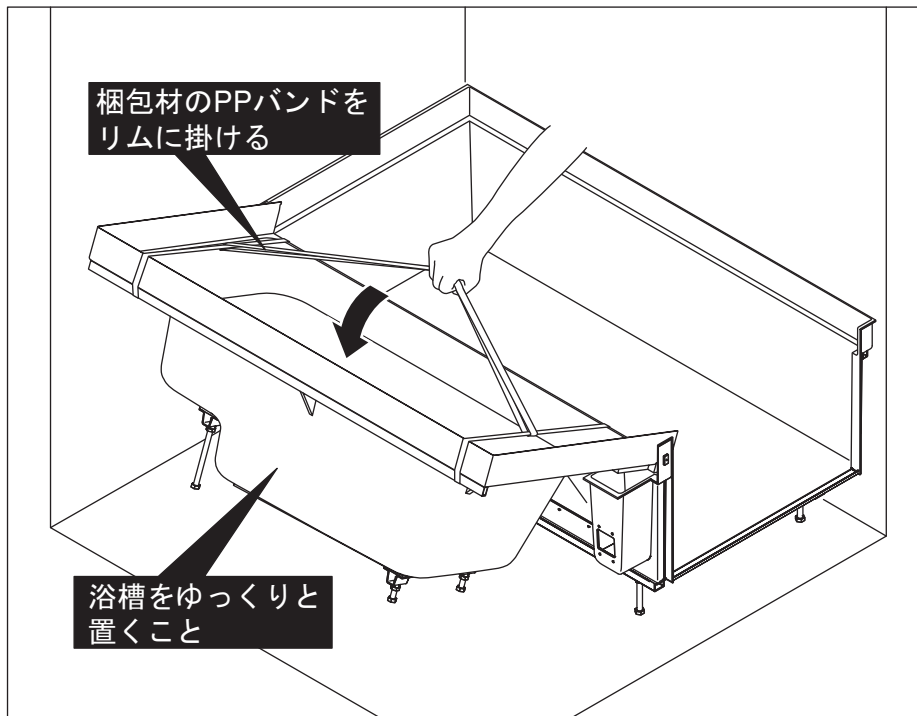
浴槽据付時に床の端に寄りかかると床が転倒するおそれがありますので、同梱の「転倒防止治具」が必要です。下図のように、床の上端に治具をのせ、柱に木ねじで取り付けてください。浴槽の設置が完了しましたら、治具は取り外してください。



木ねじで建築側に固定し、浴槽据え付け後、取り外すこと

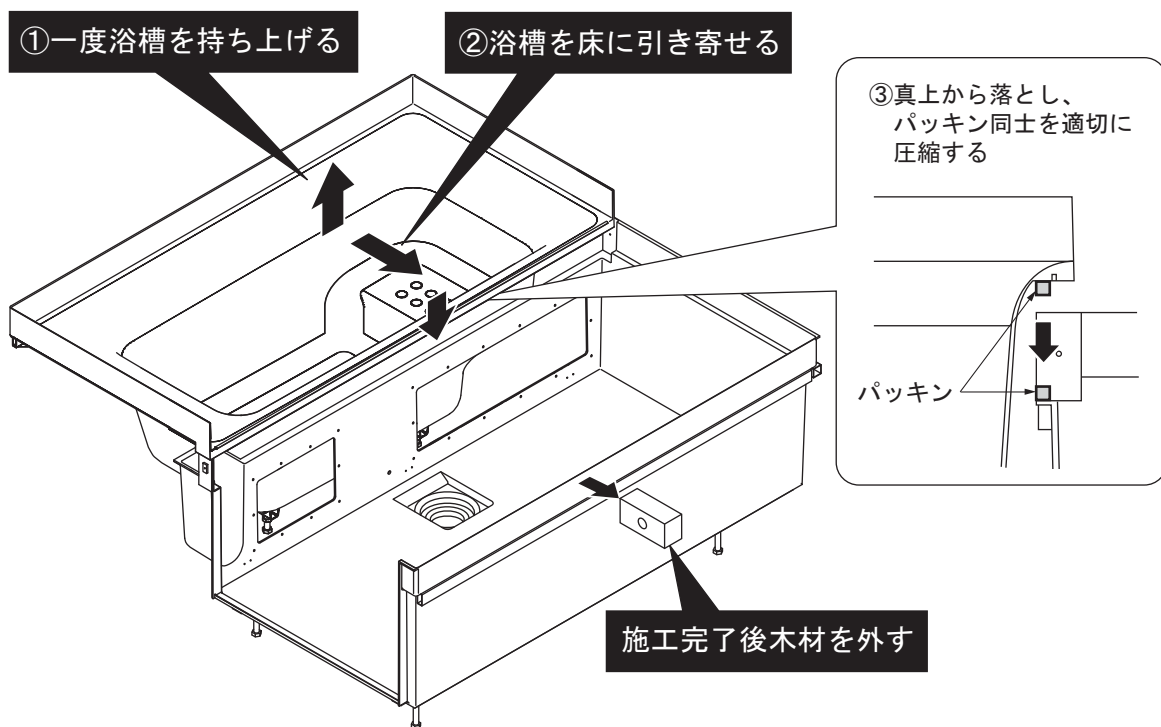
3. 浴槽据え付け

浴槽を据え付けます。梱包材のPPバンドを利用し、床の接合部に位置を合わせゆっくりと置いてください。



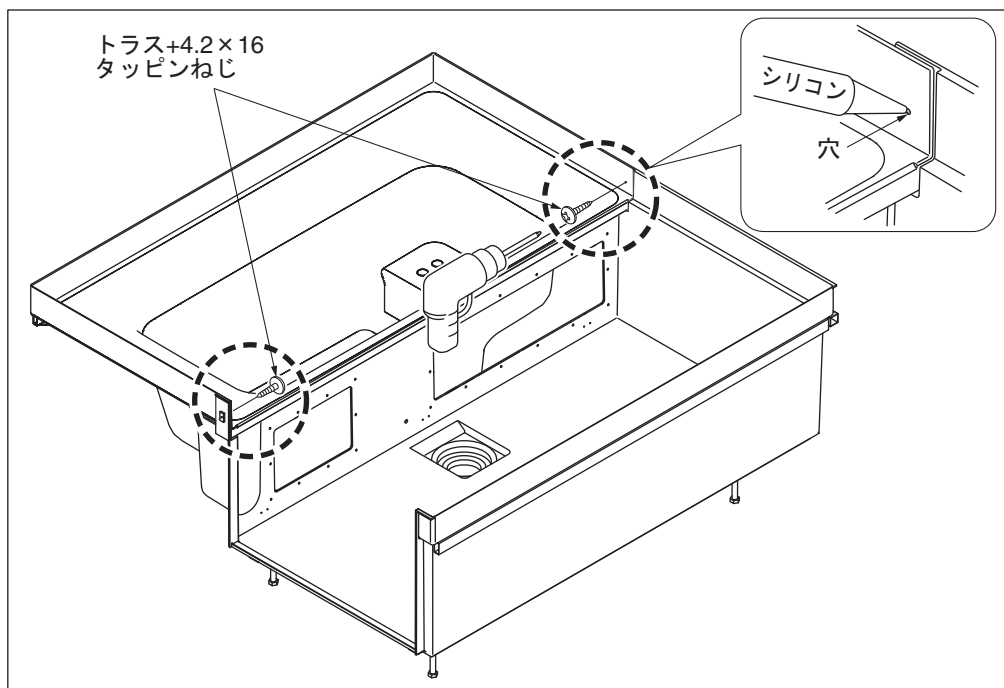
●浴槽と床の接合部のパッキンを有効にするため、下記作業を行ってください。

浴槽据え付け後、一度浴槽を真上に10センチほど持ち上げ、床に引き寄せた状態で床接合部に対し垂直に落としてください。この作業をすることで浴槽と床のパッキンが適切に圧縮されます。完了後、転倒防止用の木材を取り外してください。



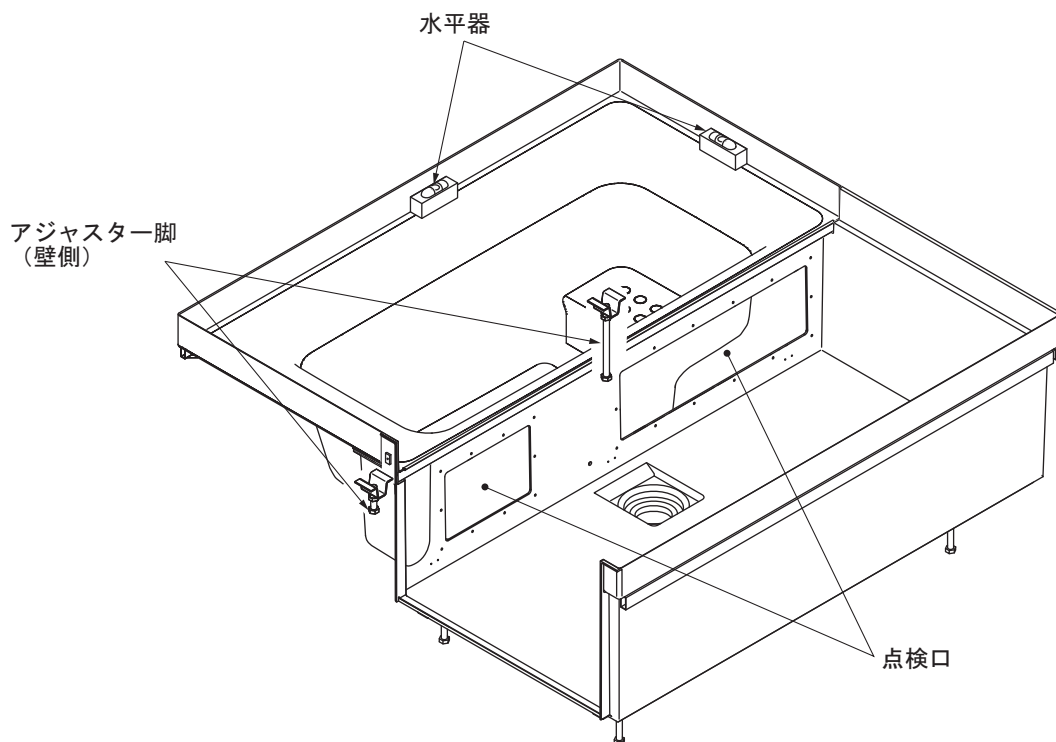
4. 浴槽と床の接続

浴槽壁のせ面水返し部の左右2か所にあらかじめ開いている穴にシリコンを充てんし、付属のねじ（トラス+4.2×16タッピンねじ）2本で浴槽と床を接続します。



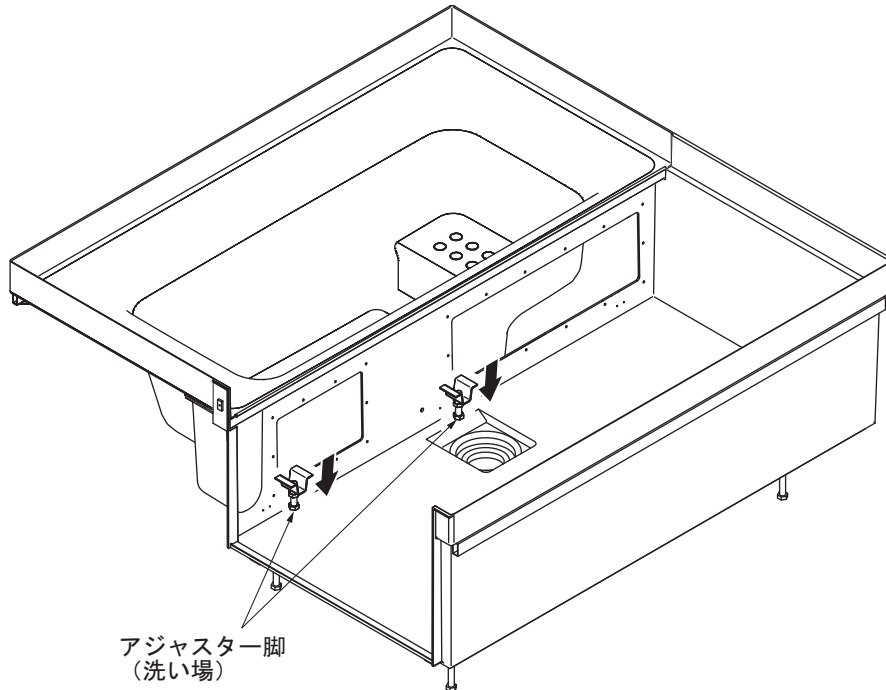
5. 浴槽のレベル調整

点検口より奥（壁側）のアジャスター脚2か所を調整してレベル出しを行います。調整が完了したらロックナットを固定します。



6. アジャスター脚固定

手前（洗い場側）の脚2本を据え付け面に当たるまでのばし、ロックナットを固定します。



7. 浴槽排水管の接続

注意

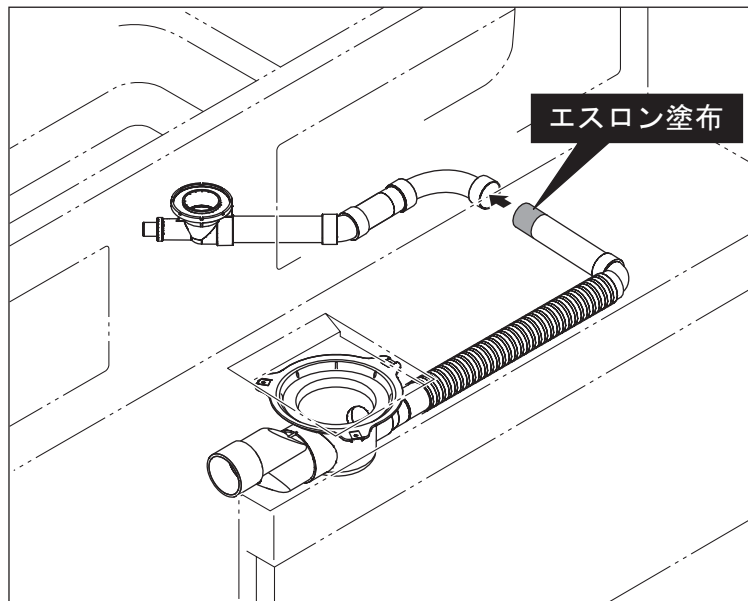


必ず実行

排水管接続の際は、エスロンを均一に塗り、しっかりと奥まで差し込んで取り付ける

取り付けが十分でないと漏水します。

点検口から手を入れ、浴槽の排水管と床の排水管を接続します。床の排水管の先端に着色エスロンを塗布し、しっかりと差し込んでください。接着剤にごみなどが付着しないように注意してください。接着後30秒間保持すること。

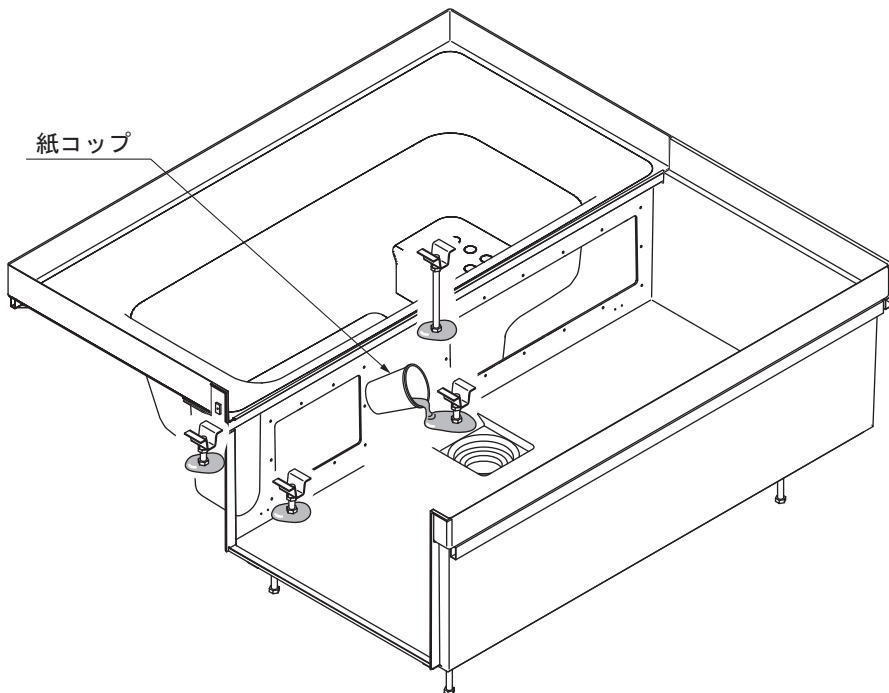


※施工完了後に漏水確認を実施してください。（P60参照）

8. 浴槽脚固定

接着剤を紙コップに入れ、点検口よりアジャスター脚4か所にかけて脚を固定してください。
 ※接着剤の取り扱いについては、接着剤に同梱の説明書をよくお読みください。

奥側の脚に手が届かない場合は、同梱のひしゃくを使ってください。



9. 追焚き取付け（追焚き付きの場合のみ）

⚠️ 注意

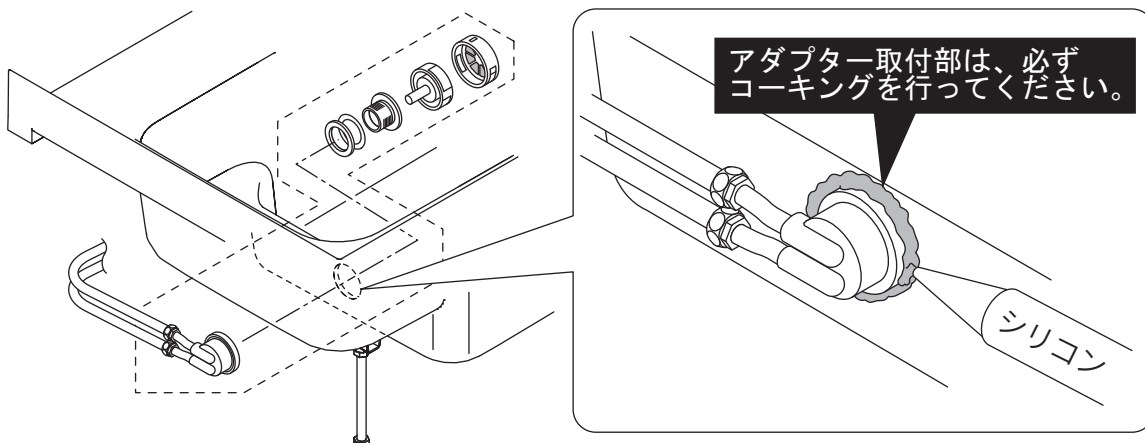
- 給水・給湯管の接続はハーフバス施工完了後でも点検口から可能です。
- 給水・給湯管接続箇所は必ず漏水確認を行ってください。

①追焚きアダプター用配管の接続

⚠️ 注意

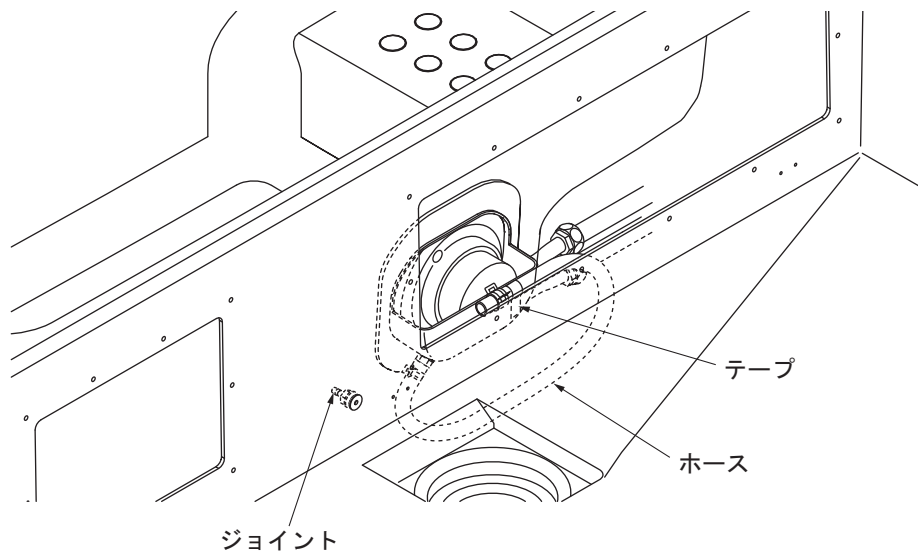
追焚きアダプター取付後、浴槽に水を張り漏水がないか確認する

点検口より追焚きアダプターの取付けおよび、追焚きアダプターへ配管を接続してください。
 （図は、短辺ステップ側を示しています。長辺洗い場側に取り付ける場合も同じ取付要領となります。）
 ※追焚きアダプターについては、アダプターに同梱の取扱説明書を参照してください。



②追焚きトレイ・ホース取付け ※追焚きトレイ付のみ

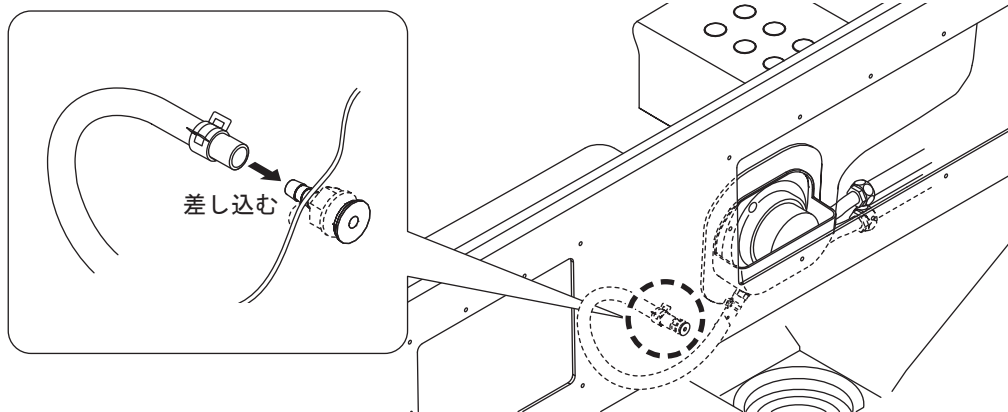
●追焚きトレイに仮固定されているホースを外します。このとき、ホースに仮付けされている固定バンドを紛失しないように注意してください。



●点検口裏のホースジョイントにホースを差し込み、固定バンドで固定します。

注意

ホースがねじれたり曲がった状態で接続しない
ホースの水が流れず、漏水するおそれがあります。



※ここでは点検口はまだ取り付けず、パッキンなどに傷が付かないように保管しておいてください。先に点検口を取り付けると、後でエプロン金具を取り付けることができません。

5. ドア取付け (建築工事)

ドアの施工は、ドアに付属の施工説明書を参照の上施工ください。

6. 天井・中央手すりの設置 (中央手すりはタイプ8のみ)



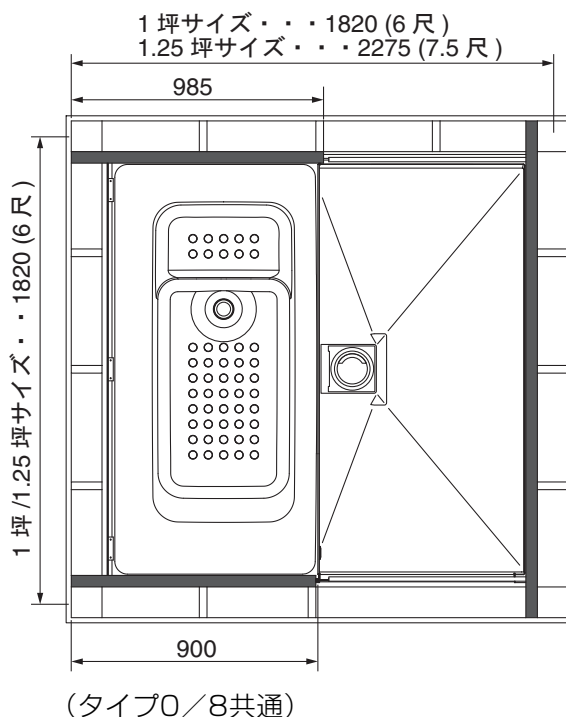
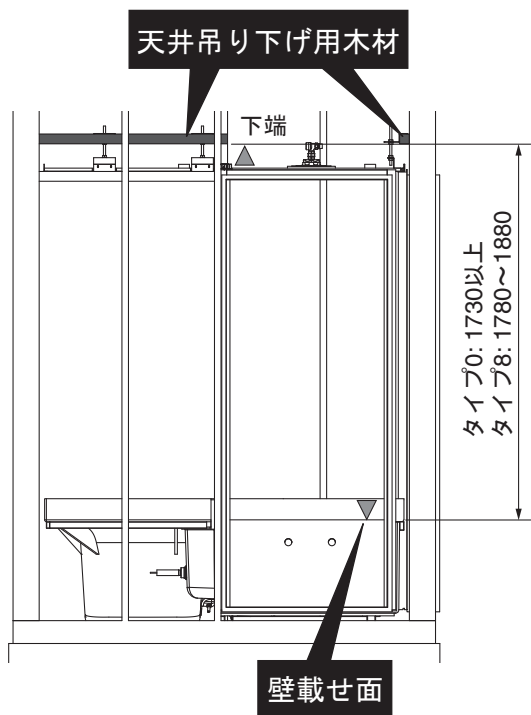
注意

天井裏の高さは350mm以上の空間を確保すること。

1. 天井吊り下げ用木材の位置の確認

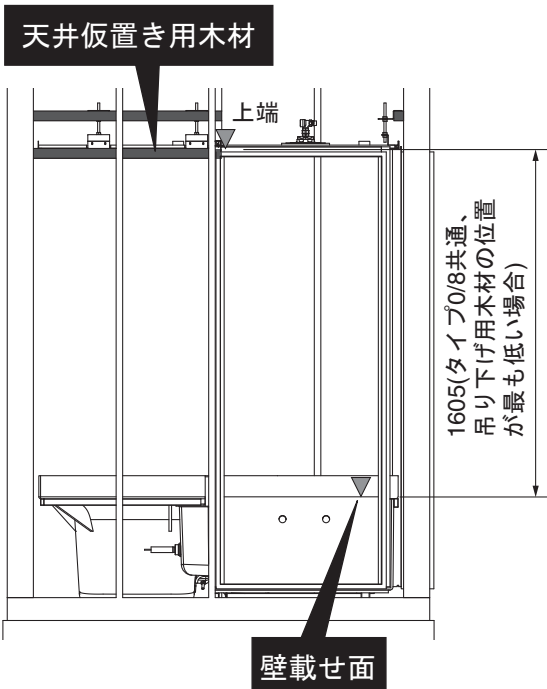
事前施工で先に取り付いている天井吊り下げ用の木材の高さを確認します。下図の寸法の位置に付いているか確認してください。高さが違っている場合は、建築工事で木材の高さを正しい寸法に付け直してください。

天井吊り下げ用木材



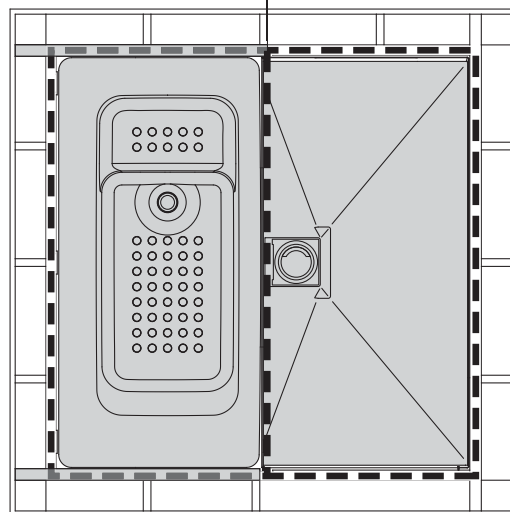
天井仮置き用木材

天井仮置きイメージ



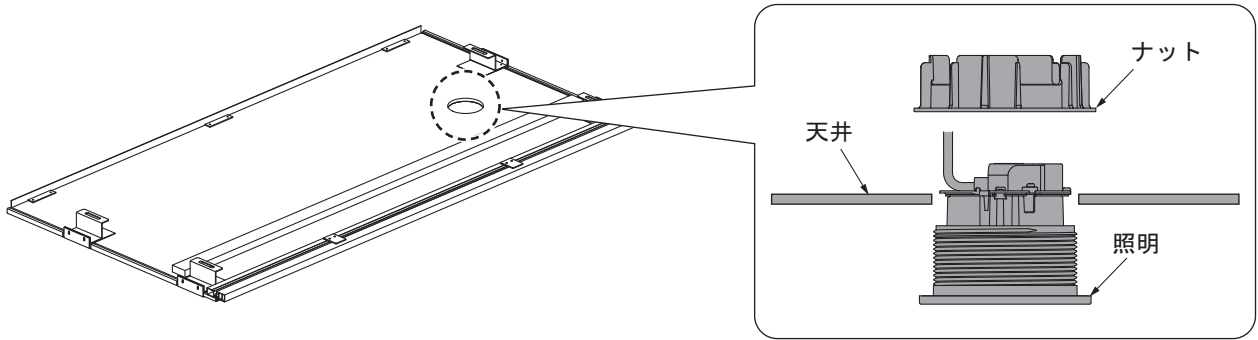
ドア勝手A/Cの場合

木材が浴槽よりもはみ出ないこと



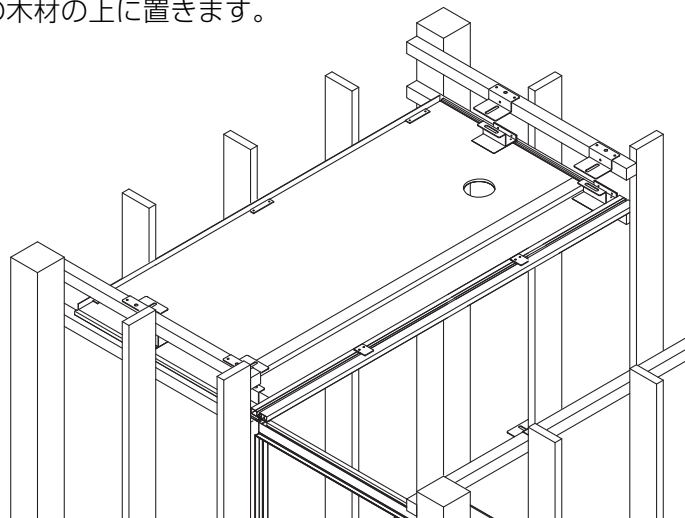
2. 浴槽側天井の取付け (図はタイプ0を示す。タイプも同様)

●事前に天井に埋め込み照明を取り付けます。

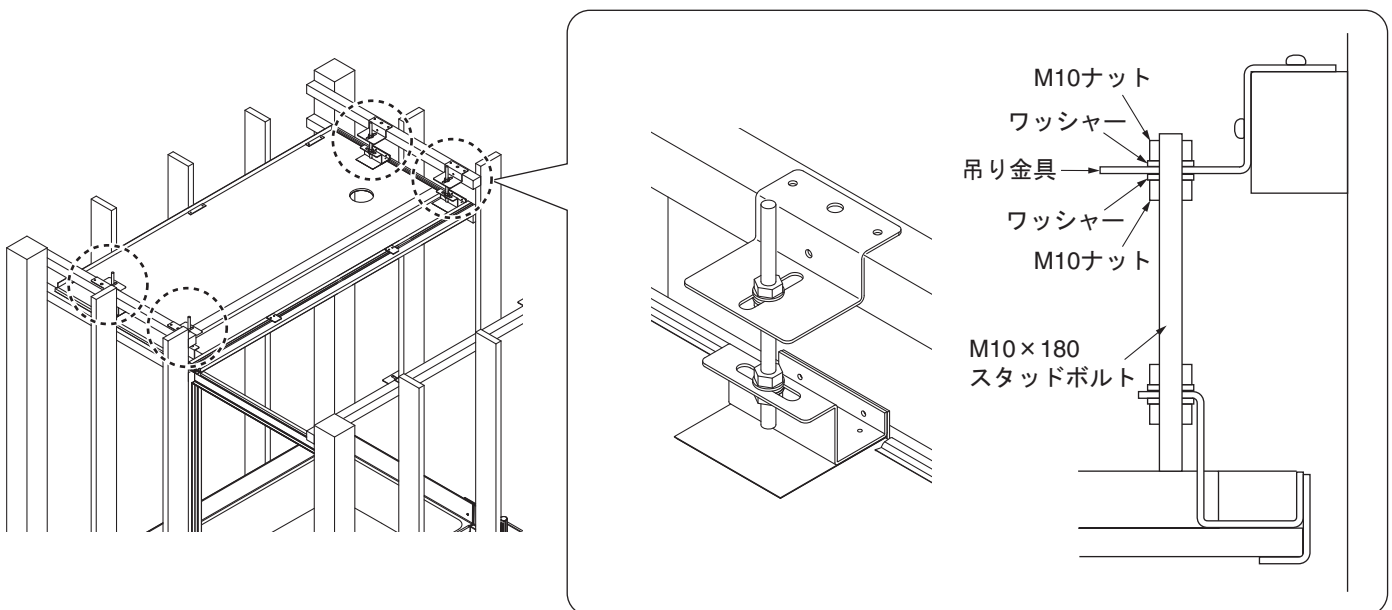


※換気扇を天井に取り付ける場合、事前に天井に開口し、取り付けを行なってください。
開口寸法や取り付け要領は換気扇の施工説明書に従い行ってください。

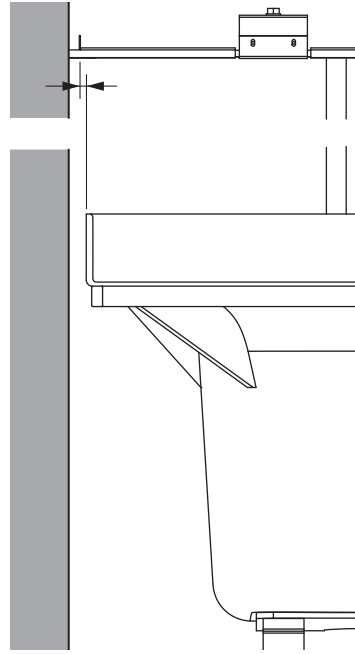
●浴槽側の天井を仮置き用の木材の上に置きます。



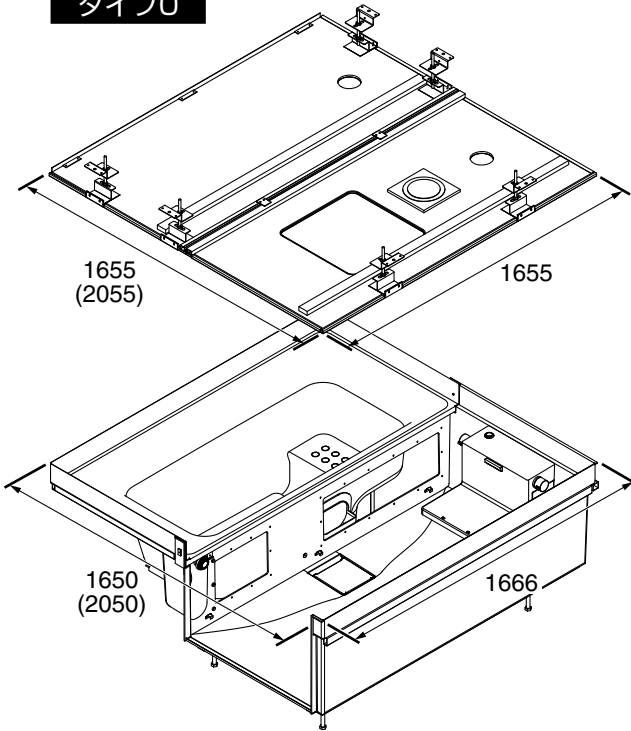
●相対する上下の吊り金具4か所をM10スタッドボルトとナット、ワッシャーでつなぎます。天井の位置はハーバス床側と合わせる必要があります。建築側から測定せず、右図の方法でハーバス床との位置合わせを行ってください。天井高さと水平・位置を調整後、ナットを本締めして固定してください。



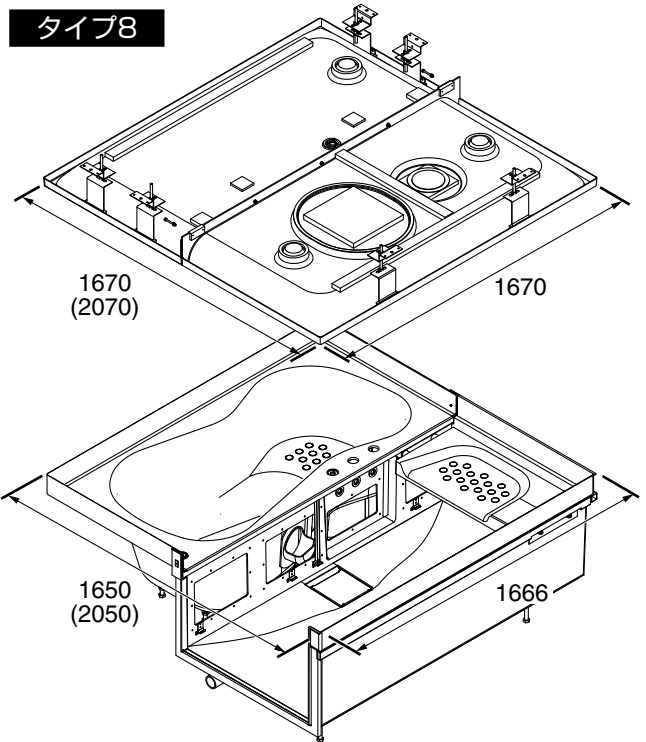
●床と天井の位置を合わせます。床、天井の外寸は異なるため、下図の寸法より、天井が床に対し中心になるように位置を調整してください。



タイプ0



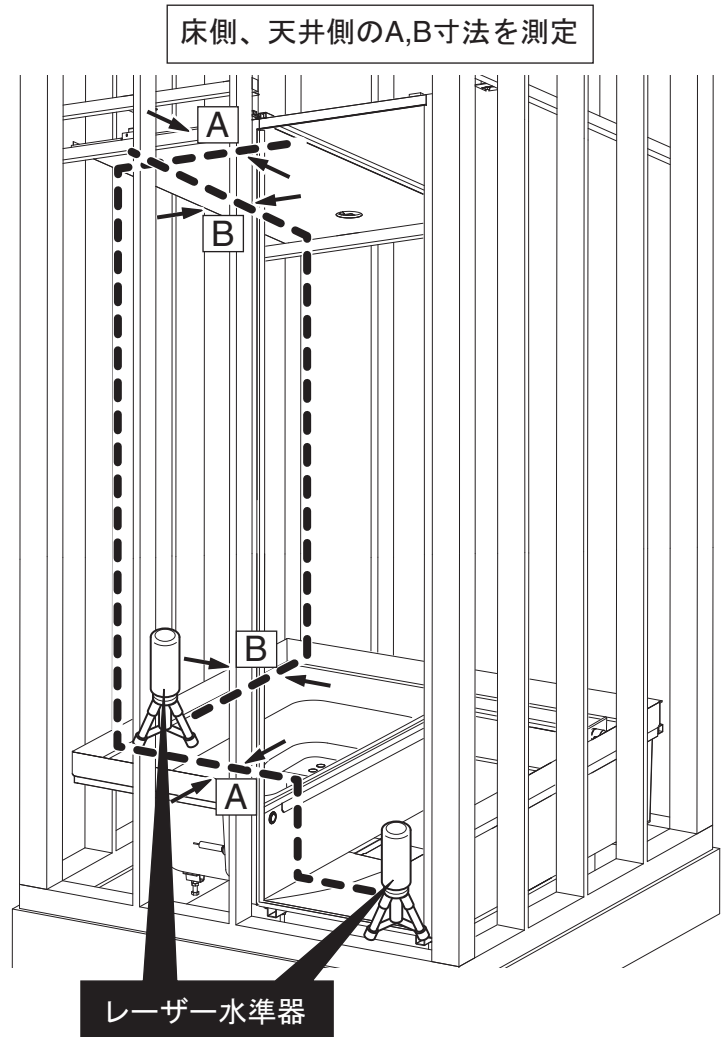
タイプ8



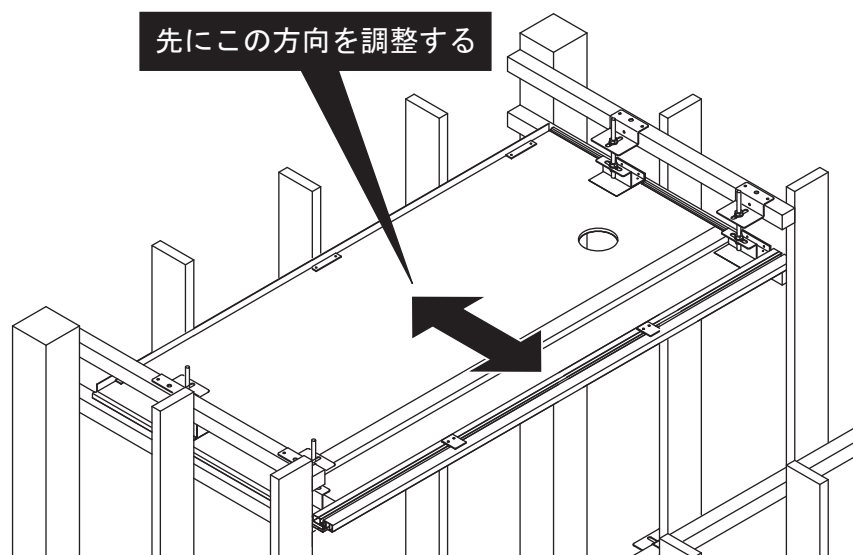
下にレーザー水準器を使った調整方法を示します。下げ振りを使用して調整しても構いません。

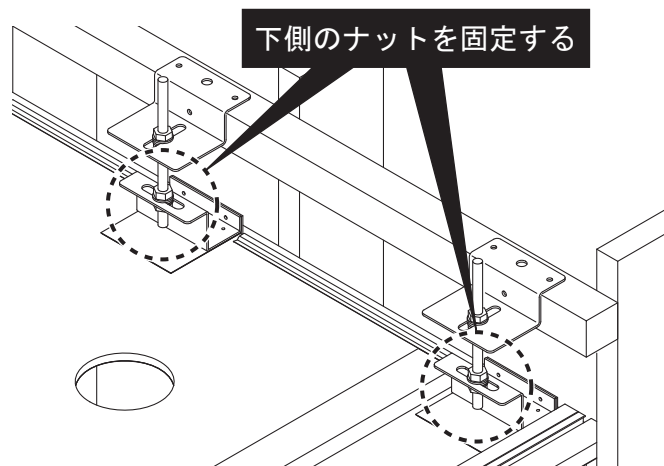
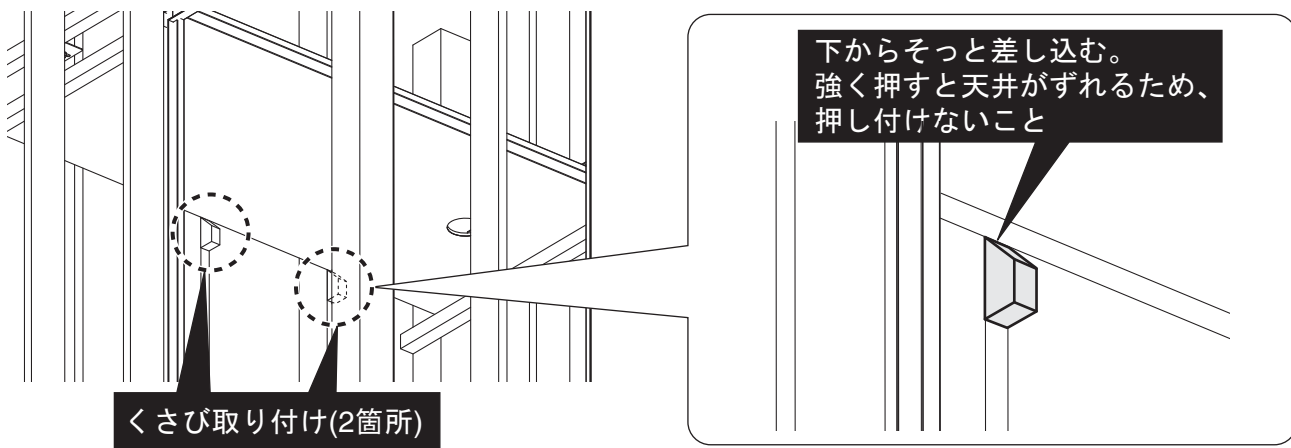
床、浴槽にレーザー水準器を置き、床側面からの寸法を測定し床側面と平行なレーザー線を作ります。

- 天井・床に写ったレーザー線から製品の端までの寸法を測定し、天井が中心になる寸法を計算します。計算した寸法を元に、天井と間柱とのすきま寸法を決めてください。



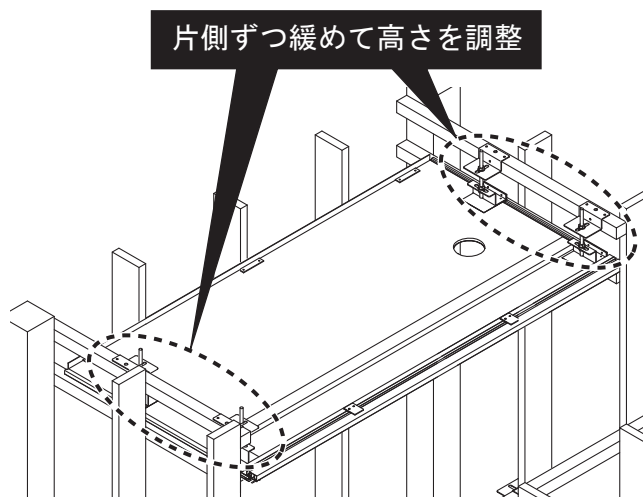
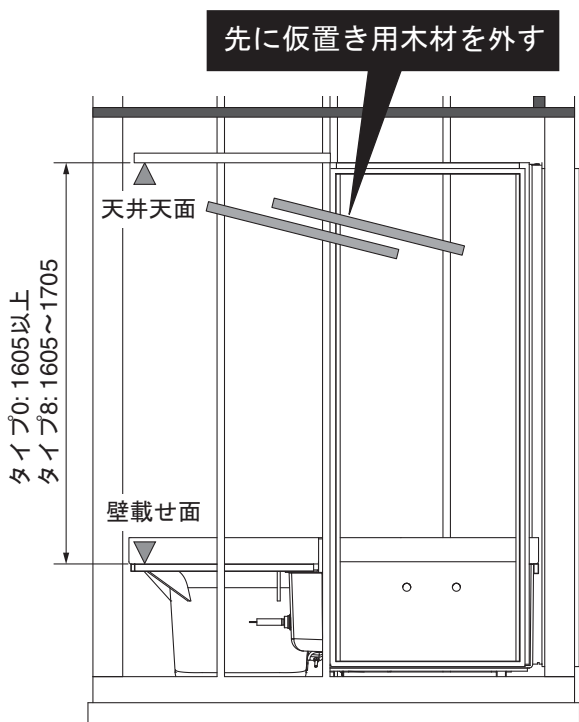
- 天井短辺方向の位置を決めます。天井を手ですらしながら、天井外側と間柱のすきまの寸法を事前に計算した寸法に合わせます。天井がずれることを防ぐため、天井外側と間柱とのすきまに同梱のくさびを差し込み、くさびを間柱に固定します。天井をくさびのある方向に押し付けながら、天井吊り金具の下側のナットを本締めします。ナットを本締め後、くさびは取り外してください。





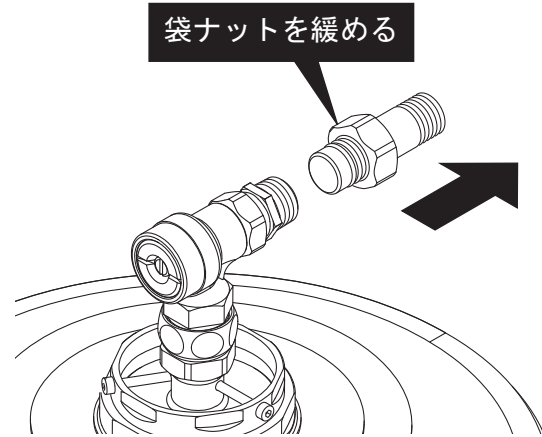
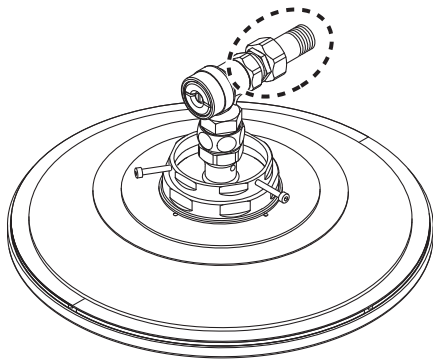
●次に同じ方法で長辺側を調整し、上側のナットを本締めしてください。

●天井仮置き用木材を外し、天井高さを確認します。もしも高さがずれている場合は吊り金具のナットを緩め、高さを調整してください。天井の位置がずれることを防ぐため、一度にすべてゆるめず、片側2か所ずつ緩めて調整してください。

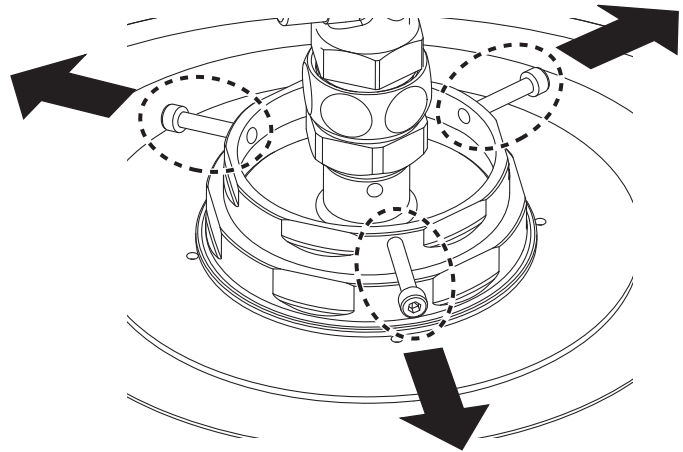


3. 洗い場側天井へのオーバーヘッドシャワー取付け

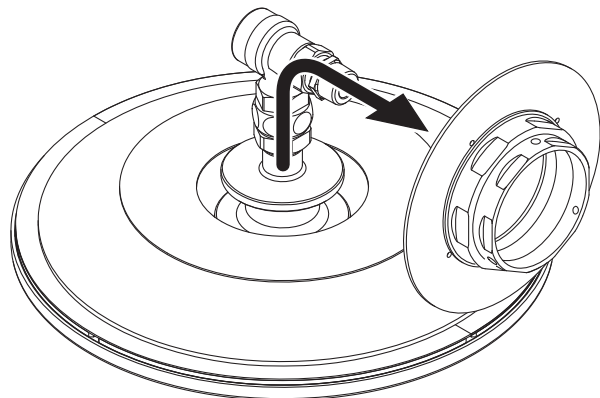
- 洗い場側天井へオーバーヘッドシャワーを取り付けます。継ぎ手の袋ナットを回し、継ぎ手を外します。



- 大型ナットについている3本の六角穴付ボルトを外してください。ボルトは紛失しないように保管してください。



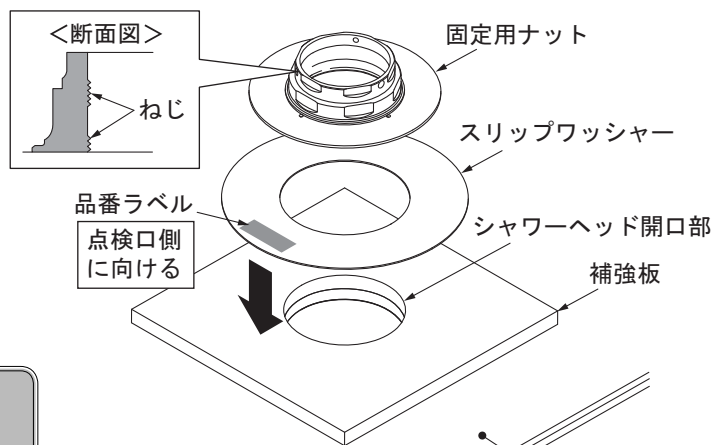
- オーバーヘッドシャワー本体の大型ナットを外します。このナットは落下防止のため2か所にねじが切っており、左に回して一度外れた後、ナットを上を持ち上げながらさらに左に回し、ナットを本体から外してください。



●天井の穴にオーバーヘッドシャワーを通し、外した時の逆の要領で大型ナットと継ぎ手を取り付けます。

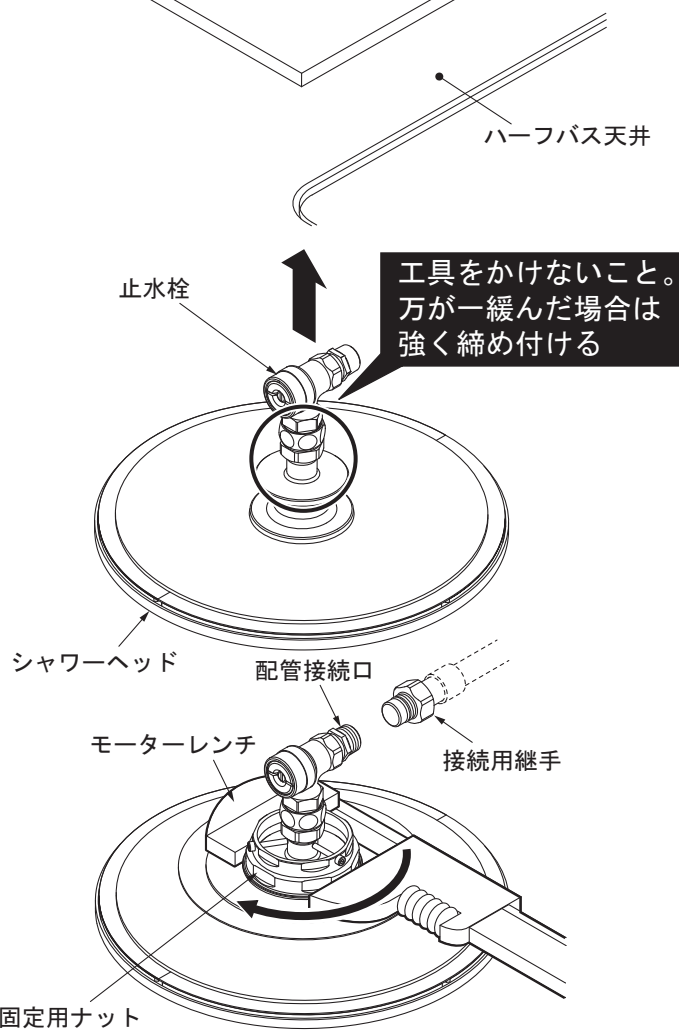
①スリップワッシャーのセパレート紙をはがし、向きに注意してハーフバス天井裏のシャワーヘッド開口部に合わせて貼り付ける。

②シャワーヘッドの配管接続口と接続用継手の向きを合わせ、大型ナットで天井を挟み、モーターレンチで締め付ける。
 パイプレンチは製品が破壊するおそれがあるため、絶対に使用しないこと。

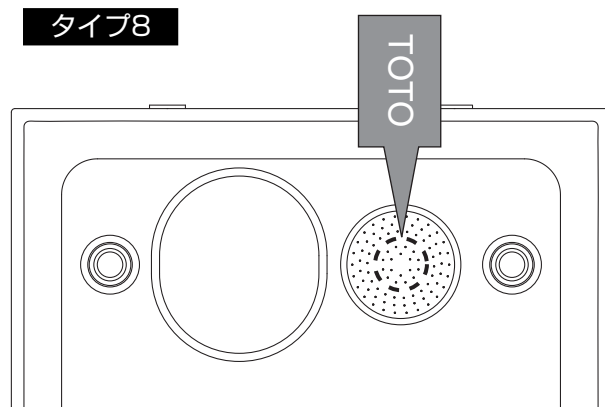
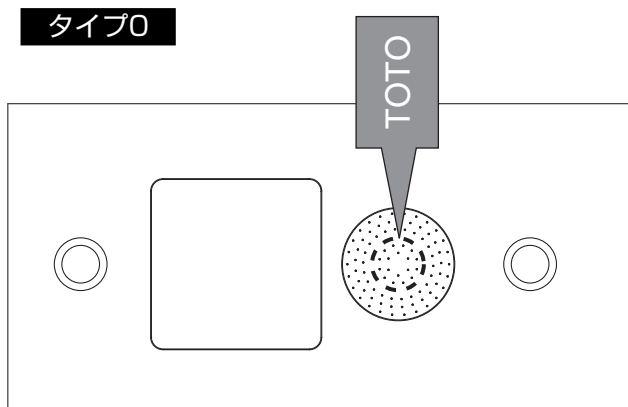


⚠注意

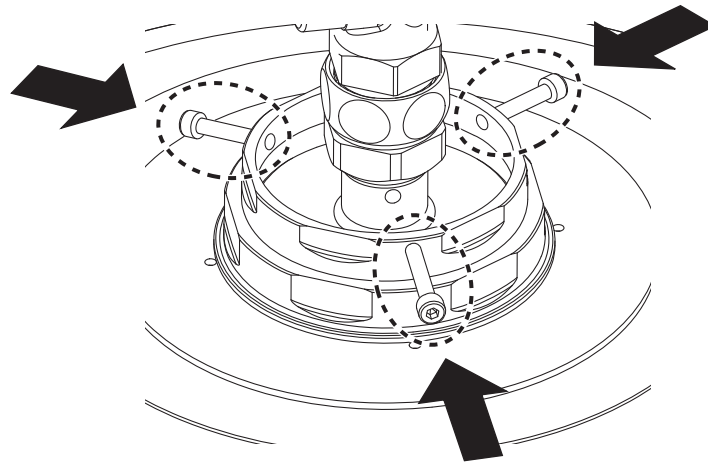
- 締め付ける際は、止水栓とシャワーヘッドの接合部に工具をかけないでください。
- シャワーヘッドと天井のすき間は1mm以下となるように固定用ナットを締め付けてください。



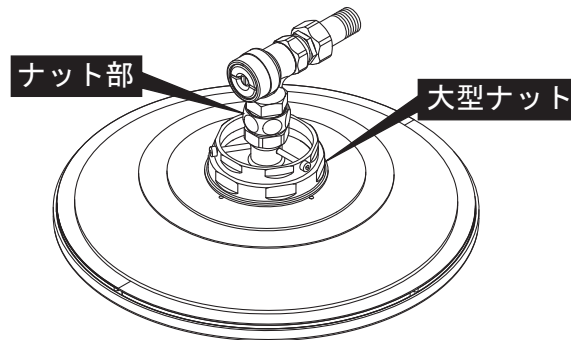
●オーバーヘッドシャワーには向きがあります。TOTOマークを下図のように天井の向きに合わせてください。向きはタイプ0、タイプ8で異なります。



●外した3本の六角穴付きボルトを根元まで締めつけます。



取り付け完了後、シャワーヘッドにがたつきがないか確認してください。がたつきがある場合はシャワーヘッドを押さえた状態で、下記部品を強く締め付けてください。

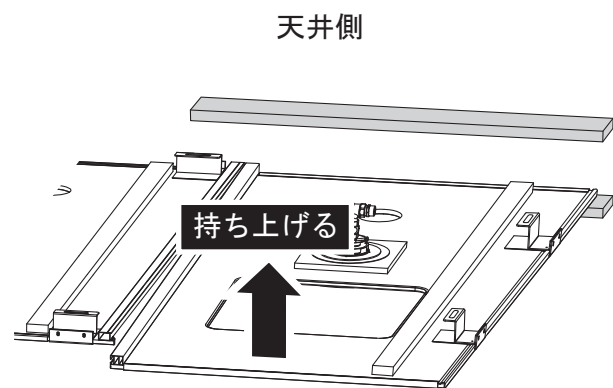
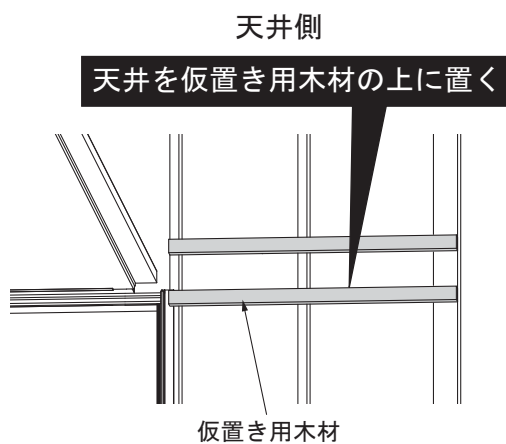


タイプ8はこのあと、**5.中央手すりの取付け**に進んでください。

4. <タイプ0>洗い場側天井の取付け

ドア勝手B/Dの場合

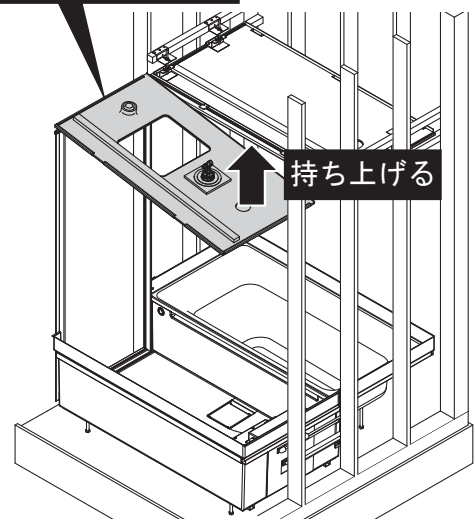
①天井を奥側の仮置き用木材の上に引っ掛け、天井を持ち上げてください。



ドア勝手A/Cの場合

①天井を浴室内に入れ、片側をドア枠の上に引っ掛け、天井を持ち上げてください。

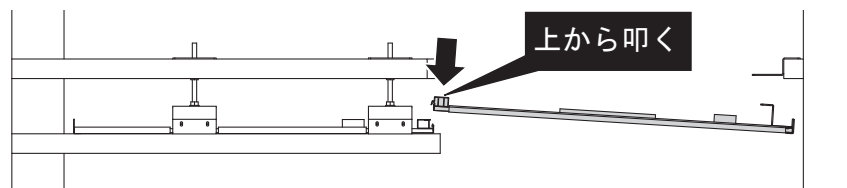
ドア枠の上に載せる



②天井を持ち上げている状態で、仮固定します。相対する上下の吊り金具2か所をM10スタッドボルト、ナット、ワッシャーでつなぎます。ここでは本締めせず仮固定としてください。

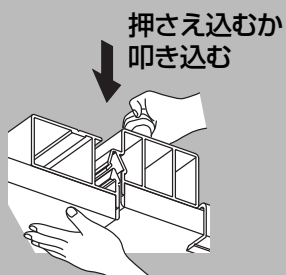


③天井をつなぎ合わせます。洗い場側天井を少し持ち上げて浴槽側天井の上にかぶせ、凹凸部を合わせ洗い場側天井を押し込みます。上から叩いて天井をはめてください。



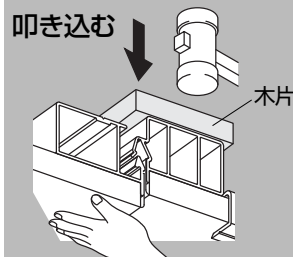
分割天井つなぎ材を完全にかん合させる。

下側を手で支えながら、上から手で押さえ込むか、叩きこむ。

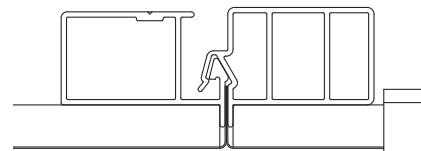


手でたたき込んででも完全にかん合しない場合

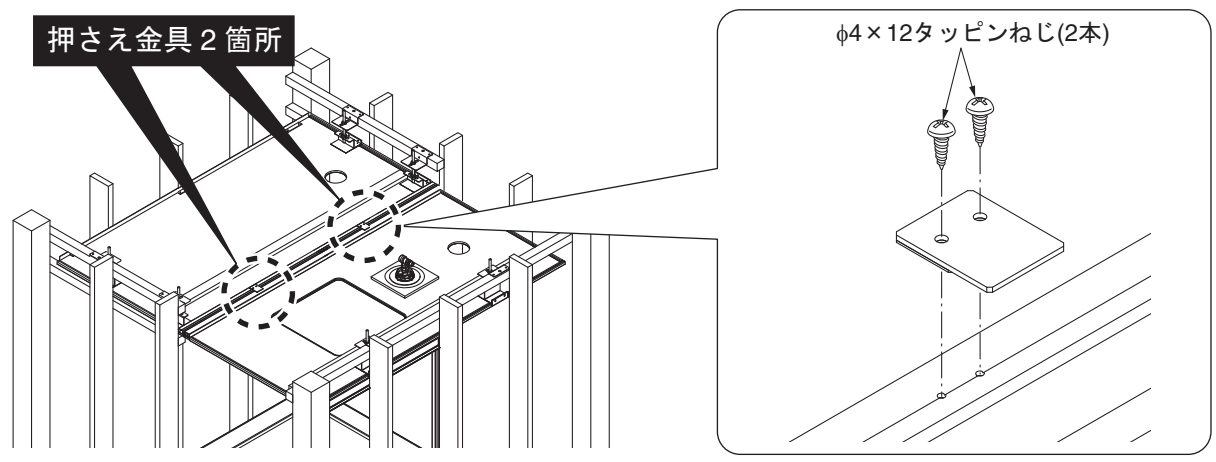
木片などを間にはさみ、プラスチックハンマーで叩き込む。



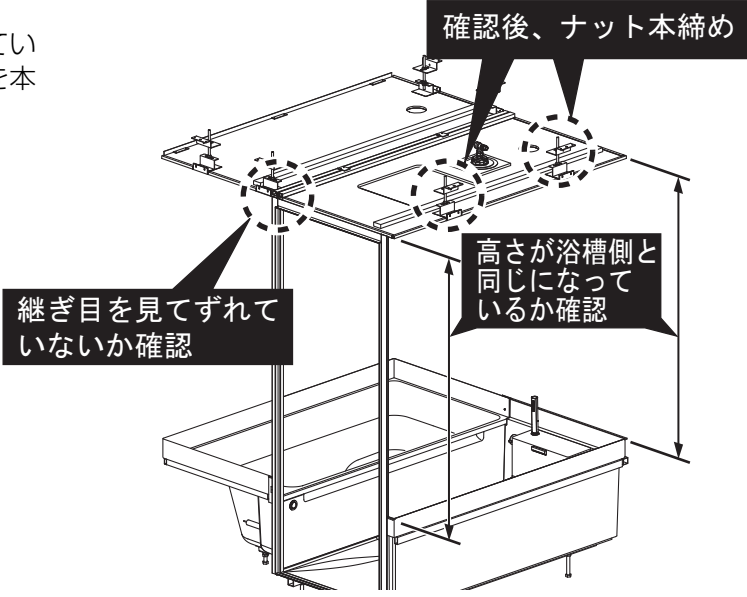
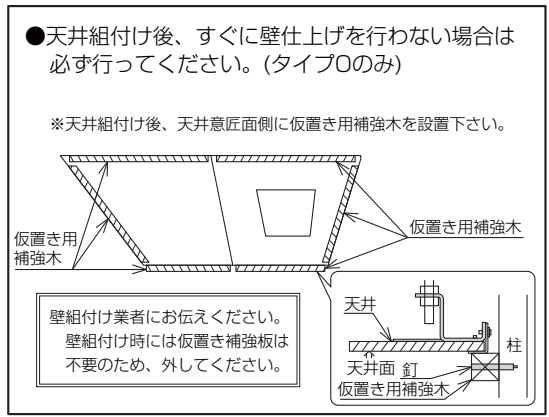
取り付け完了状態



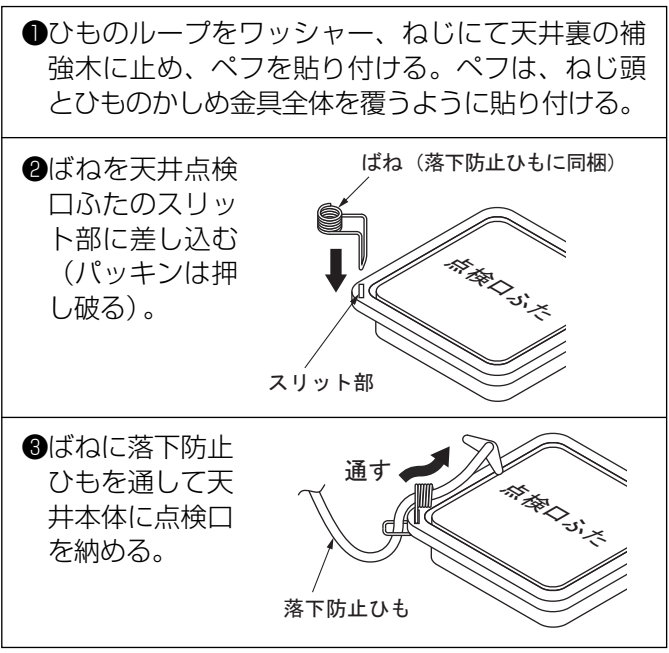
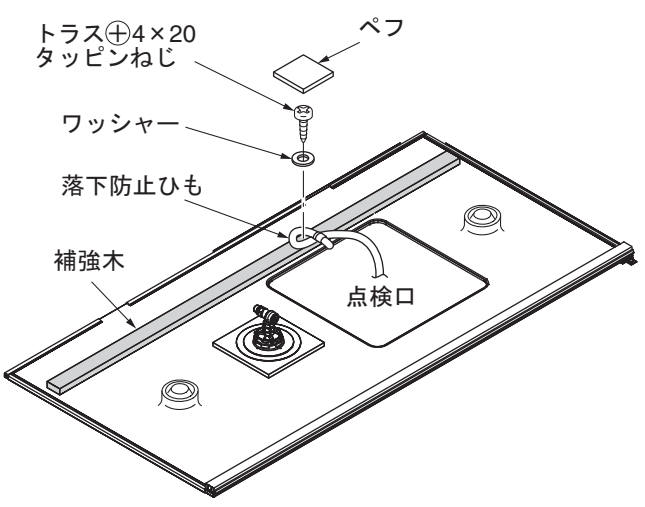
④洗い場側天井の浮き上がり防止のため、浴槽側天井に押さえ金具を2か所に取り付けます。1か所につきφ4×12ねじ2本で固定します。



⑤天井の高さ、水平を調整後、2枚の天井がずれていないか十分に確認・調整し、吊り金具のナットを本締めしてください。



⑥天井に点検口を取り付けます。落下防止ひものループを天井の補強木に取り付けます。点検口の長穴にばね金具を差し込み、落下防止ひもを通します。その後点検口を天井に載せます。

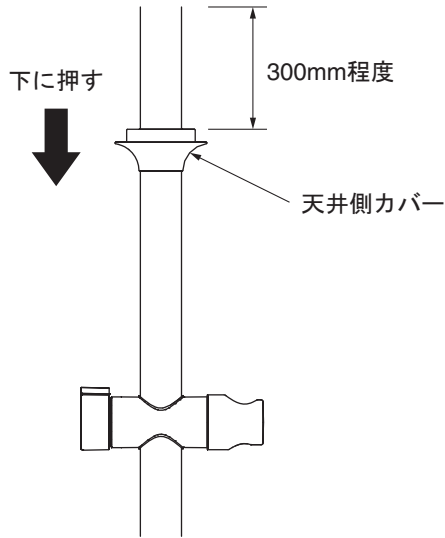


タイプ0はこのあと、**8.オーバーヘッドシャワー配管の取付け**に進んでください。

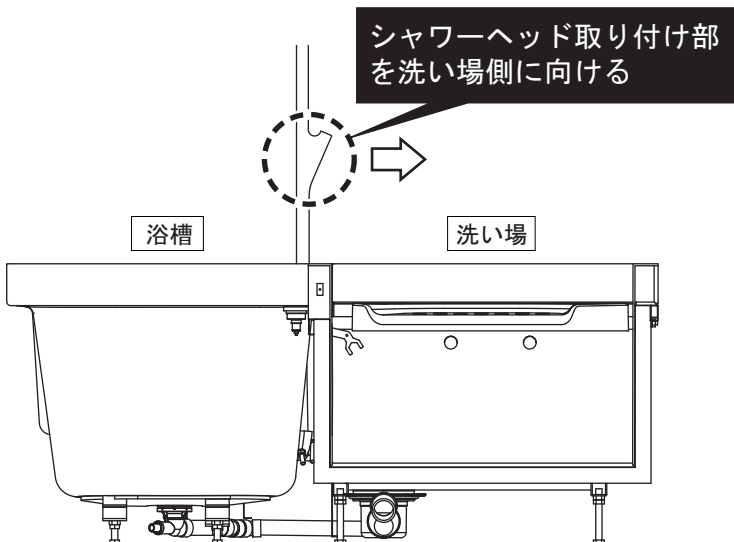
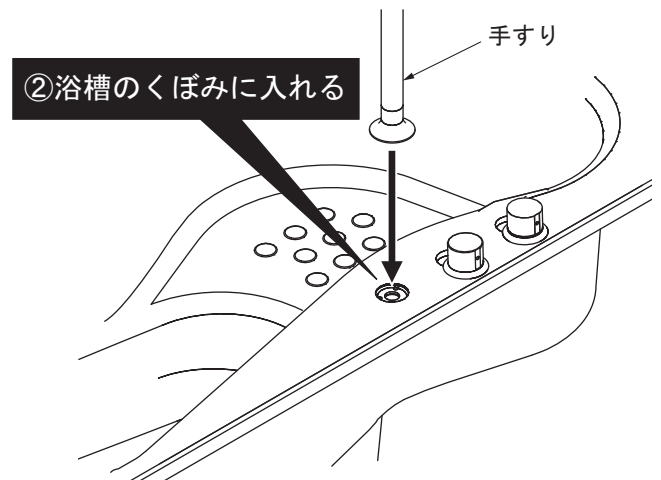
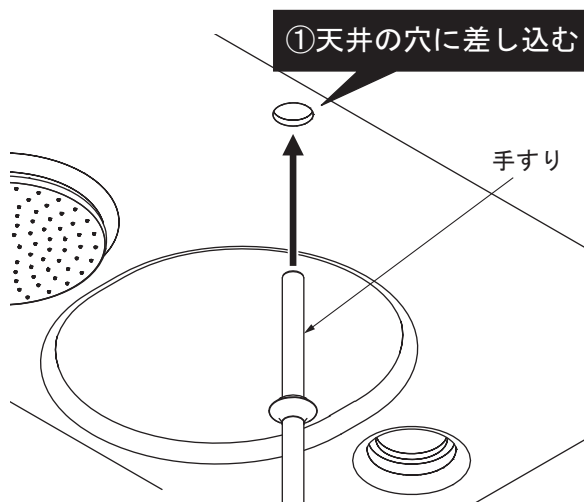
5. 中央手すりの取付け (タイプ8のみ)

①事前準備

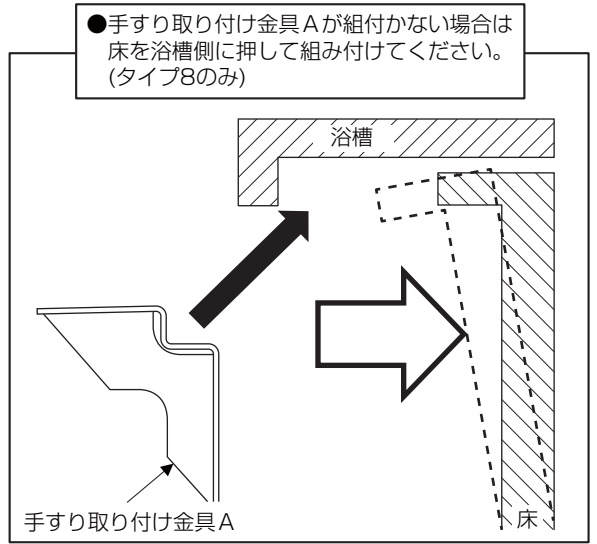
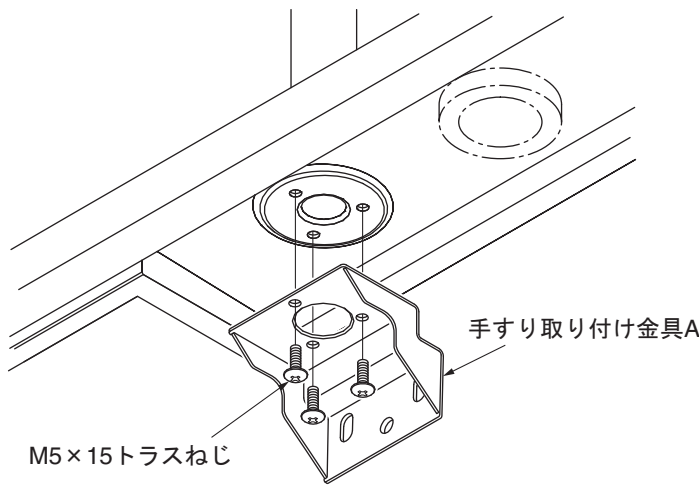
天井側カバーをパイプ上端より300mmほど下げてください。



②先に天井の穴に手すりを差し込み、次に浴槽のくぼみに手すりを入れます。手すりのシャワーヘッド取り付け部が洗い場を向くように向きを合わせてください。



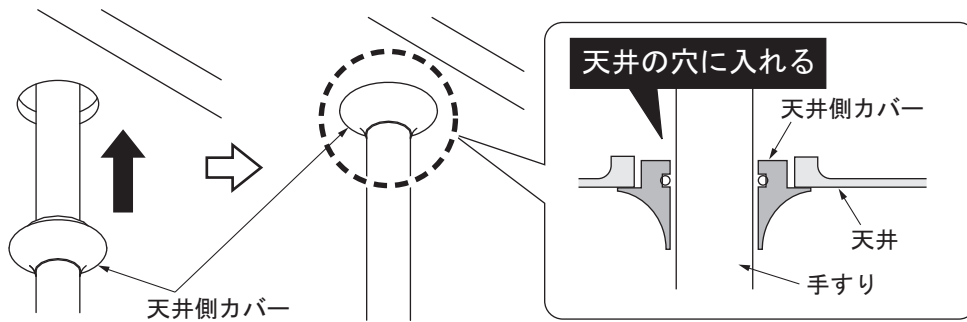
③手すり取り付け金具Aを浴槽の裏に当て、M5×15トラスねじ3本で手すりを取り付けます。



警告

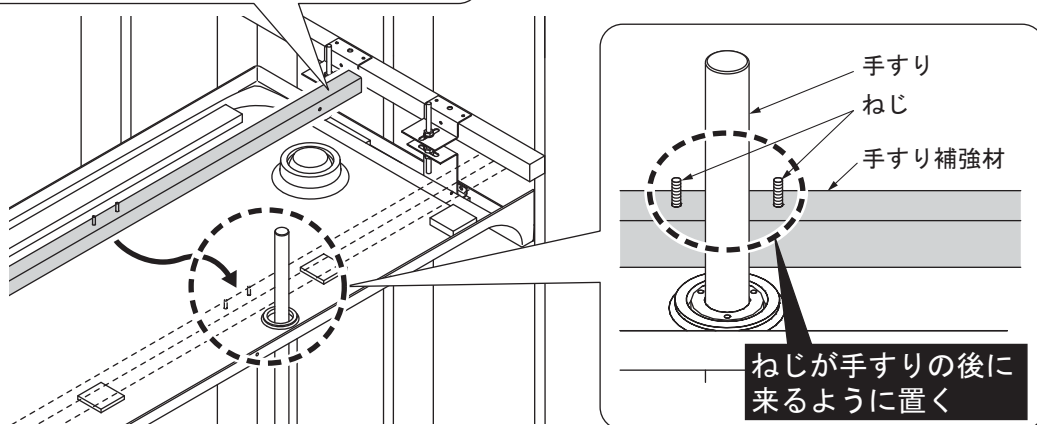
M5ねじが緩いと手すりががたつき、重大な事故につながるおそれがあります。ねじはしっかりと固定してください。

④手すりに差してある天井側カバーを上スライドさせ、天井の穴に入るまで押し上げます。

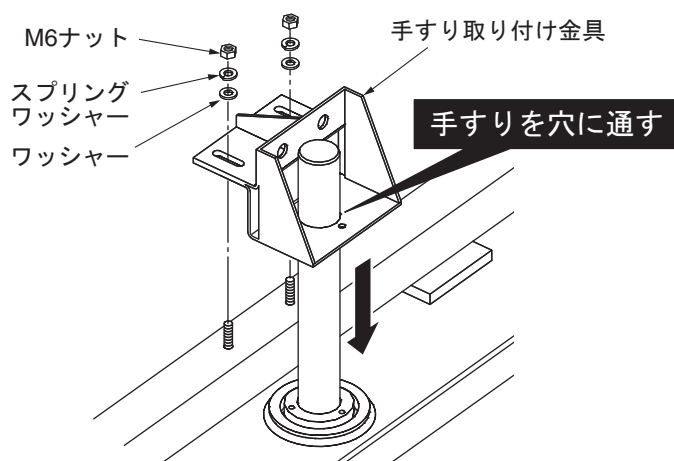


⑤手すり補強材を天井裏に置きます。補強材上面に飛び出ているM6ねじ部が手すり側に来る向きに置いてください。

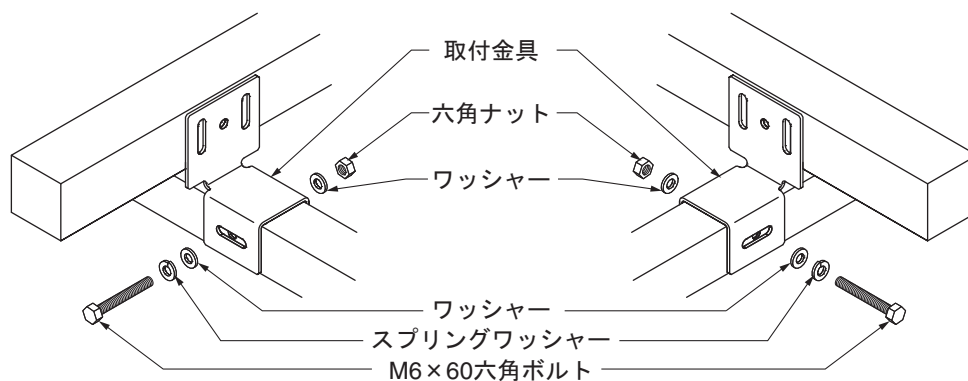
●手すり補強材が建築躯体に当たる場合は、カットしてください。



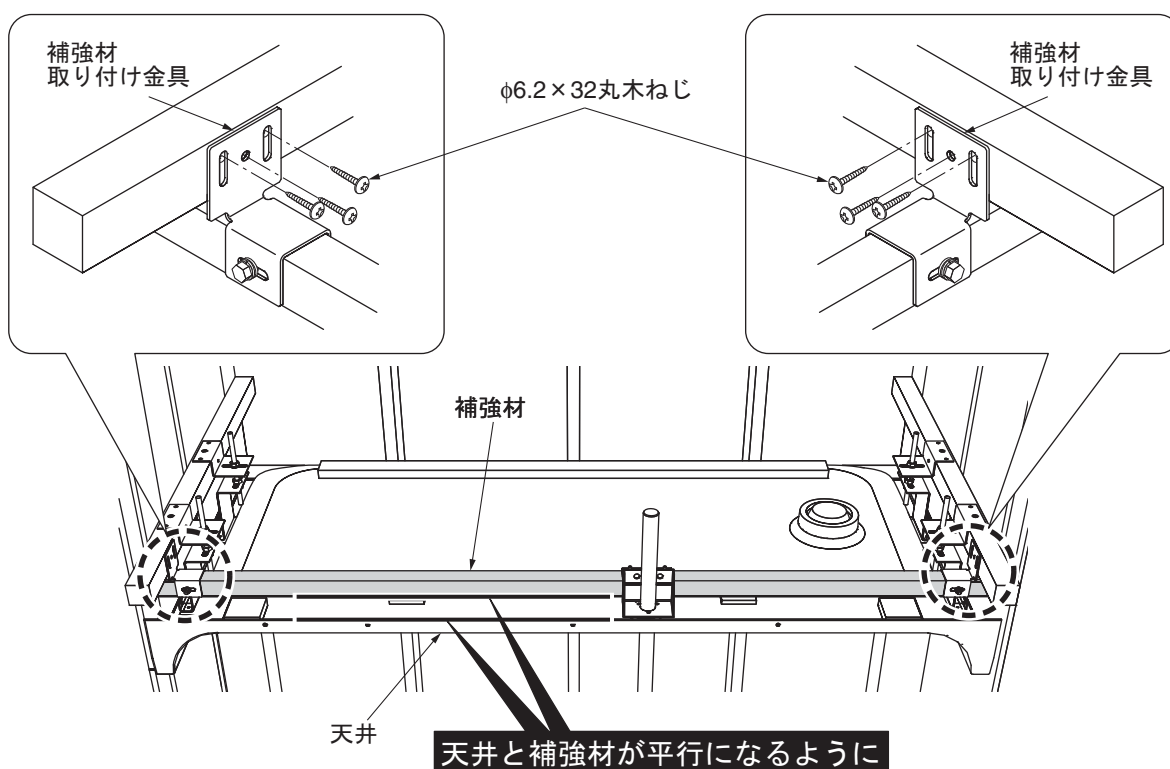
⑥天井側手すり取り付け金具を取り付けます。手すりとボルトを穴に通し、M6ナットで固定します。長穴の中央付近で一度本締めしてください。



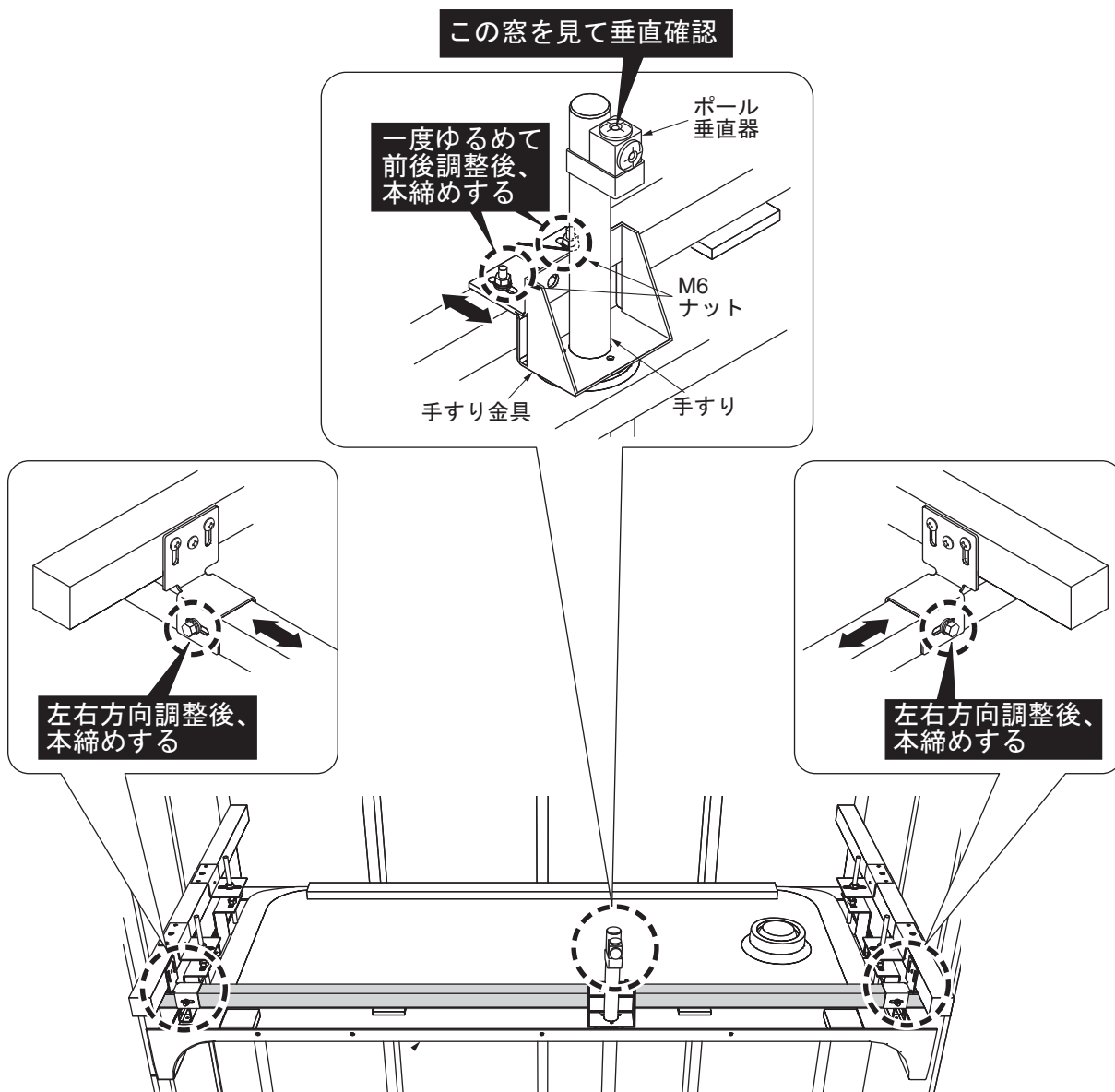
⑦補強材と左右の取付金具をM6×60六角ボルトで取り付けます。左右2か所取り付けます。ここではねじは本締めせず仮固定してください。



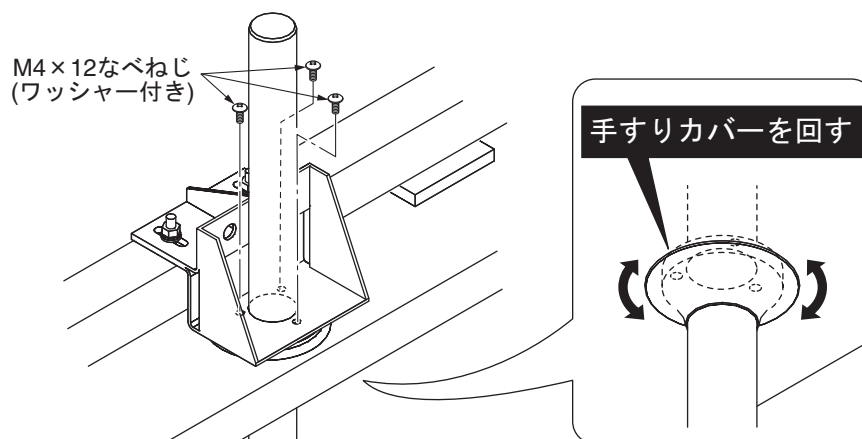
⑧建築側へ補強材取り付け金具を取り付けます。補強材が天井とほぼ平行になっていることを確認し、左右それぞれφ6.2×32丸木ねじ3本で取り付けます。電動ドライバーの先端は太い3番ビットを使用してください。



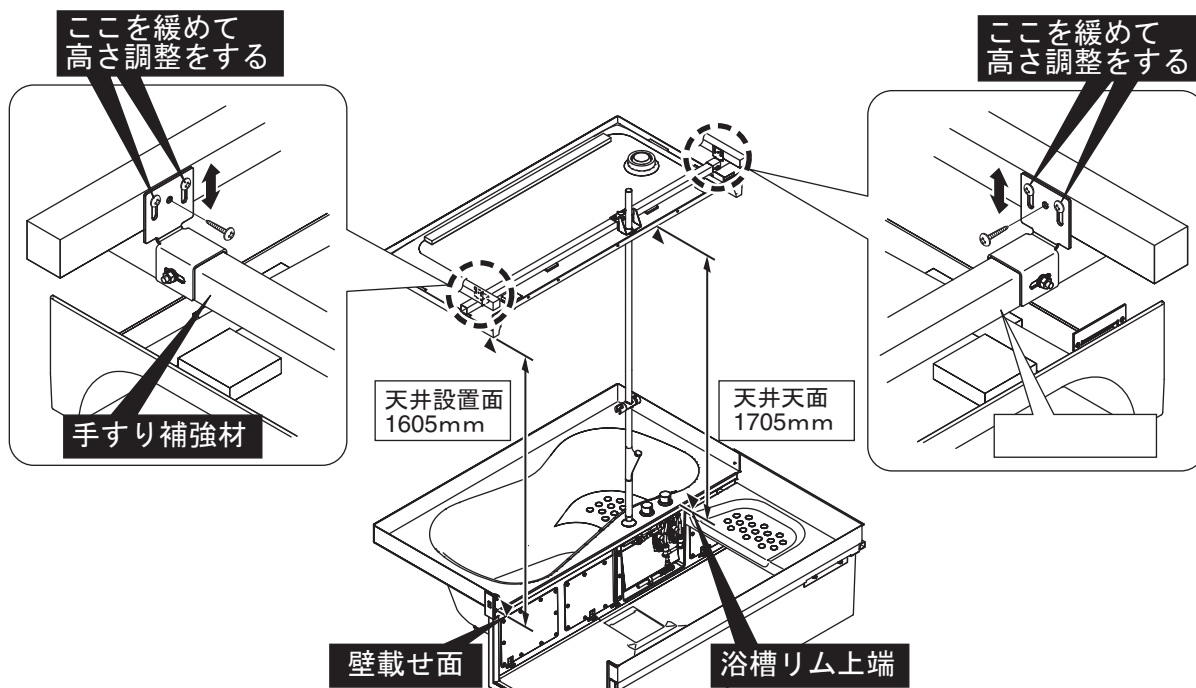
⑨同梱のポール垂直器を手すりの上部に取り付け、手すりの垂直を調整します。手すり金具のナットを一度緩め、前後方向を調整した後に、すべてのM6ナットを本締めします。



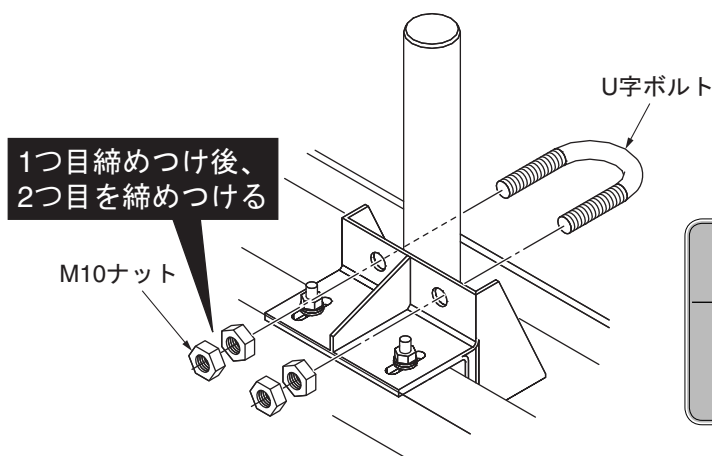
⑩天井側手すりカバーを天井側取付金具にM4×12なべねじ3本で取り付けます。手すりカバーを回転し、ねじ穴を取付金具の穴の位置に合わせ、ねじで固定します。



⑩天井高さを確認します。浴槽リムの上端から手すり近く天井天面高さが1705mm（天井設置面高さ1605mmの場合）になっているか確認します。天井がたわんで高さが合っていない場合は「手すり補強材」を上下に動かして調整し、再度固定します。



⑪手すりをU字ボルトで固定します。天井側取付金具にU字ボルトを取り付け、M10ナットを各2個締め付けます。はじめの一つ目のナットを締め付けた後、2つ目のナットを締め付けてください。



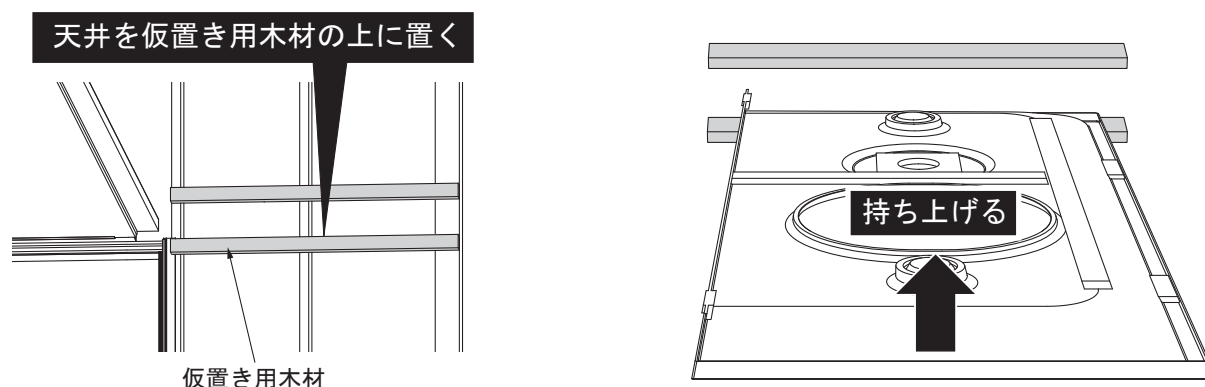
警告

M10ナットが緩いと手すりががたつき、重大な事故につながる恐れがあります。ナットは十分な力で強く締め付けてください。

6. <タイプ8>洗い場側天井の取付け

ドア勝手B/Dの場合

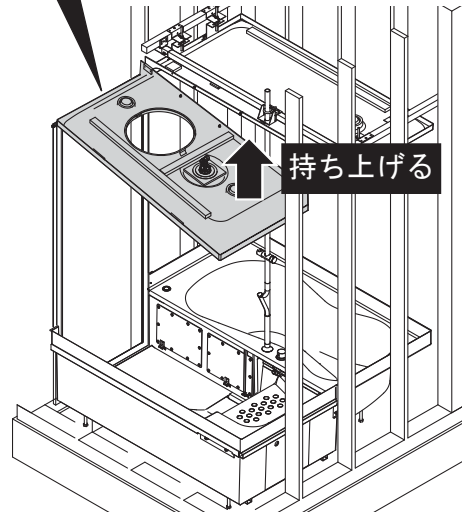
①天井を奥側の仮置き用木材の上に引っ掛け、天井を持ち上げてください。



ドア勝手A/Cの場合

①天井を浴室に入れ、片側をドア枠の上に引っ掛け、天井を持ち上げてください。

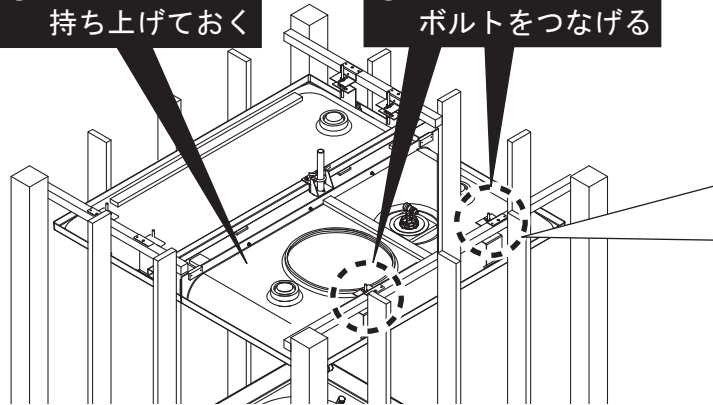
ドア枠の上に載せる



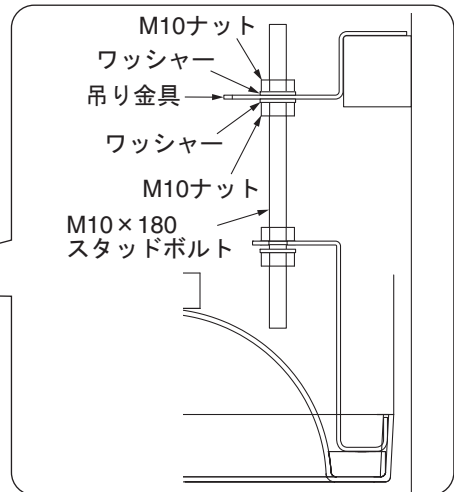
②天井を持ち上げている状態で、仮固定します。相対する上下の吊り金具2か所をM10スタッドボルト、ナット、ワッシャーでつなぎます。ここでは本締めせず仮固定としてください。

① 一人が天井を持ち上げておく

② 右図の要領でボルトをつなげる

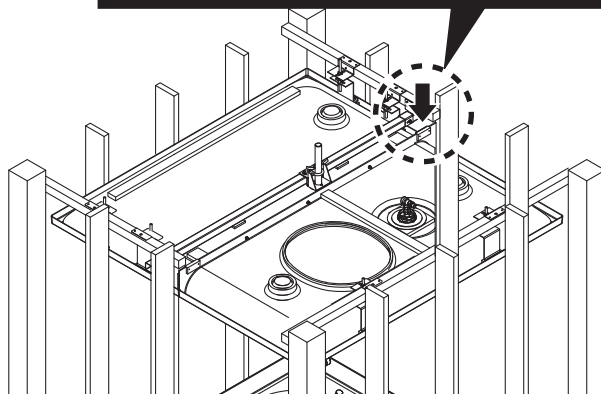


M10ナット
ワッシャー
吊り金具
ワッシャー
M10ナット
M10×180
スタッドボルト



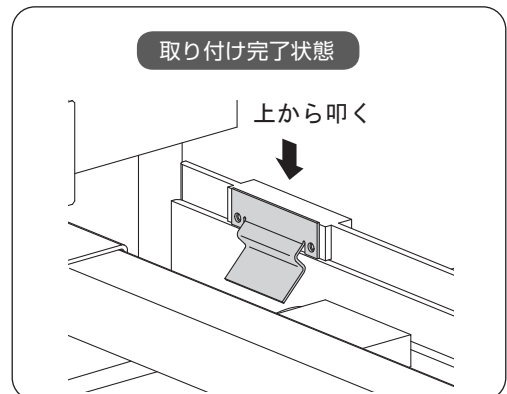
③天井をつなぎ合わせます。奥側についている引き込み用の板バネ（1か所のみ）を浴槽側の天井に差し込みます。板バネ付近の天井を上から叩いて差し込んでください。

板バネ部を叩いて入れる（こちら側のみ）

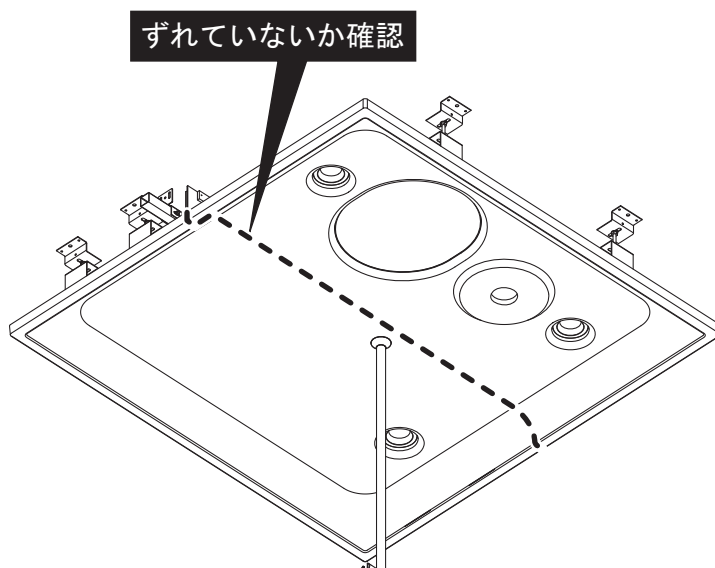
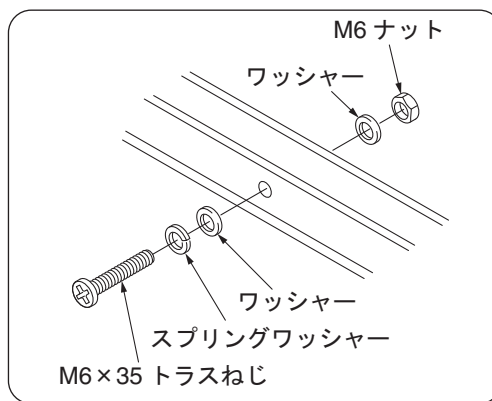
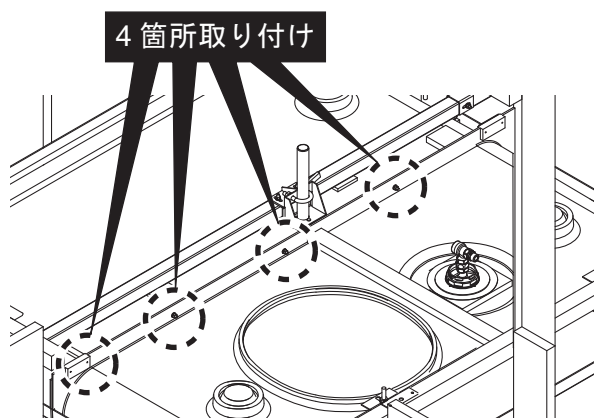


取り付け完了状態

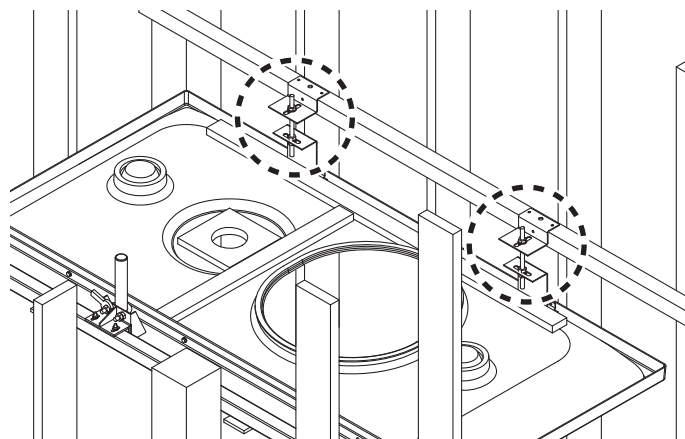
上から叩く



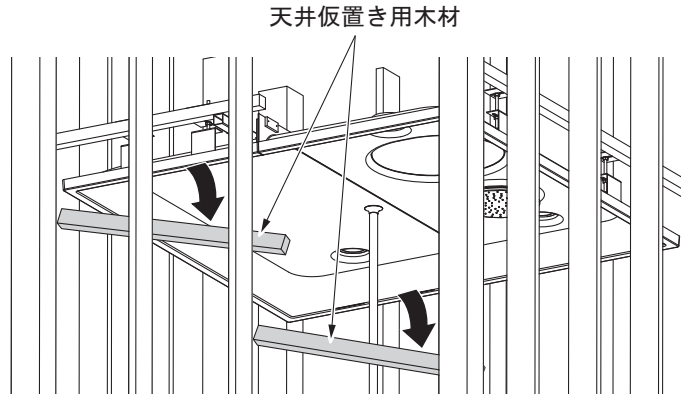
④2枚の天井をM6×35トラスねじで4か所接合します。ねじを仮締めした後、2枚の天井に段差、ズレが出ないようにずらして調整しながら本締めします。



⑤高さ、水平を調整後、天井吊り金具のナットを本締めしてください。

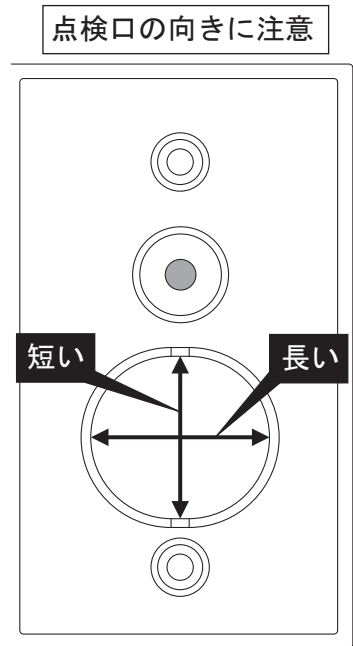
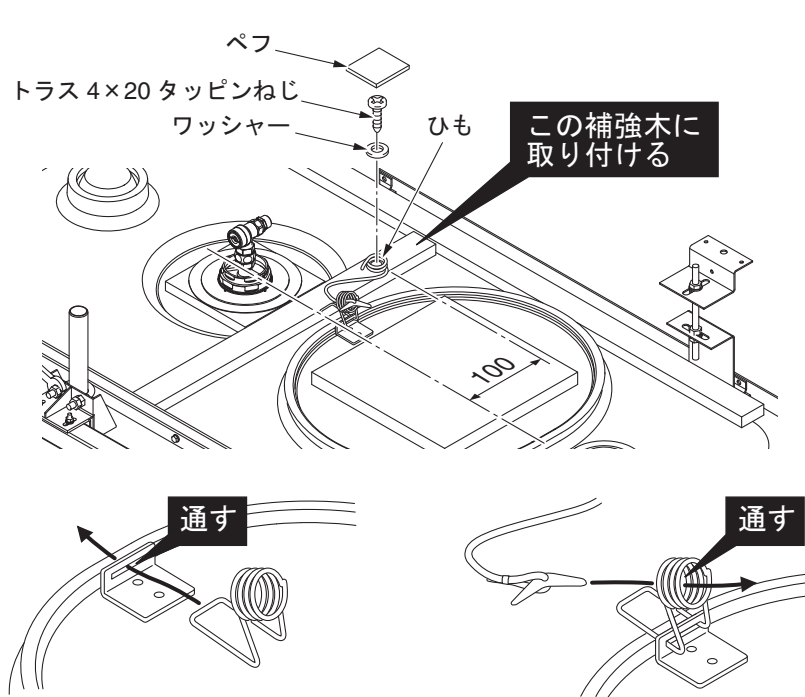


⑥天井仮置き用の木材を全て取り外してください。



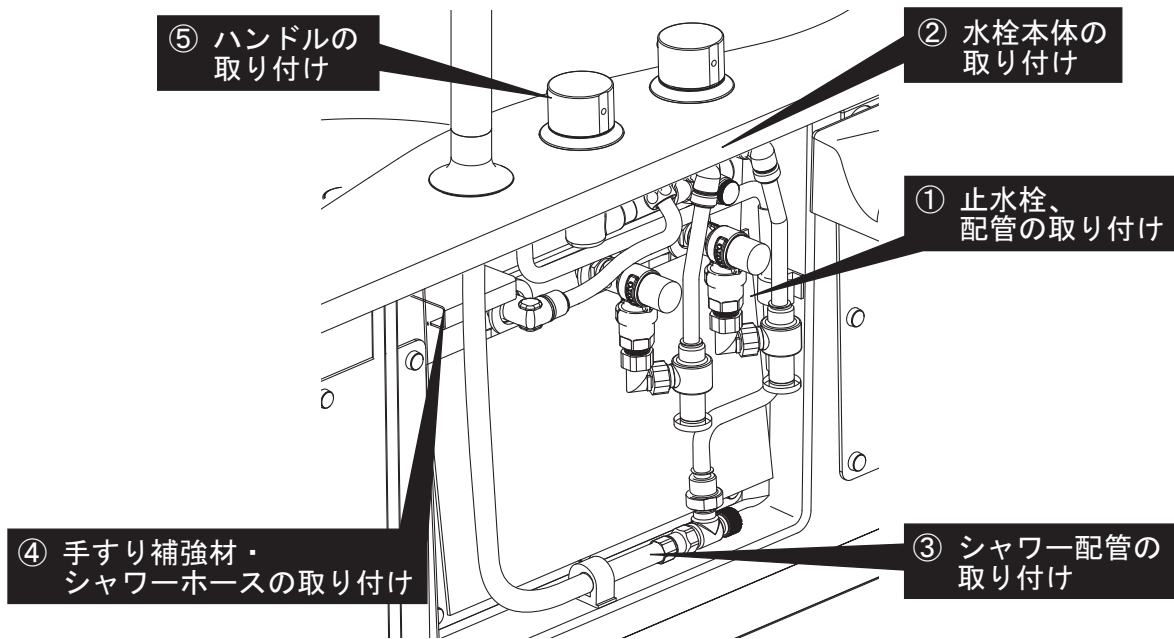
⑦天井に点検口を取り付けます。点検口を天井裏の点検口付近に置き、落下防止ひものループを天井の点検口の中心から100mmの位置に取り付けます。点検口の長穴にばね金具を差し込み、落下防止ひもを通します。

| | |
|-----------|------------------------------------------------|
| 警告 | 落下防止ひもを付け忘れると点検ふたが落下し大怪我をします。要領通りに必ず取り付けてください。 |
|-----------|------------------------------------------------|



7. 水栓の取付け (タイプ8のみ)

完成イメージ



給湯・管内の清掃

! 必ず実行

取り付ける前に、必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す

1. 壁取り出しエルボ、止水栓の取付け

①ベンチと反対側（オーバーヘッドシャワー）にL型ニップルを取り付けます。口を右に向けます。右側2か所（給水給湯管）にニップル、止水栓を取り付けます。止水栓は口を下向きにします。取り付けはねじ部にシールテープを巻き、さらにヘルメシールを塗って取り付けてください。

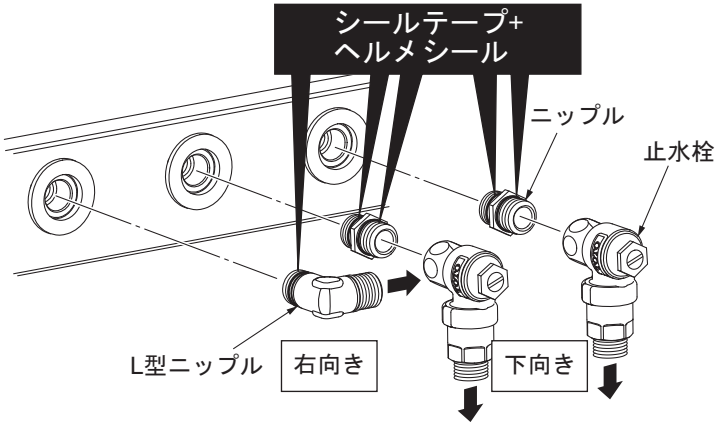
⚠️ 注意

L型ニップルはねじ部の形状がそれぞれ異なります。必ずテーパ側(R1/2)を床に取り付けてください。

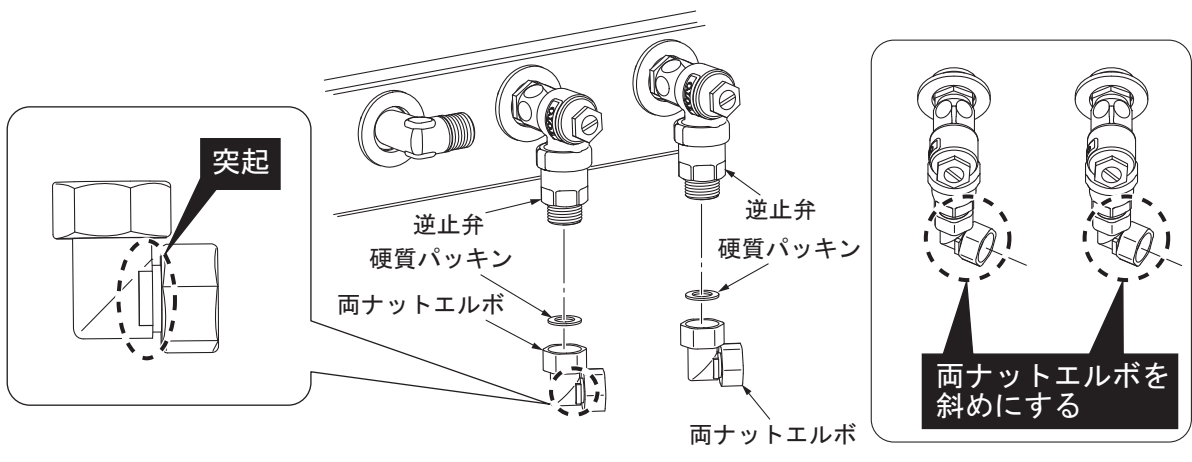
G1/2 平行ねじ

R1/2 テーパーねじ

床に取付け

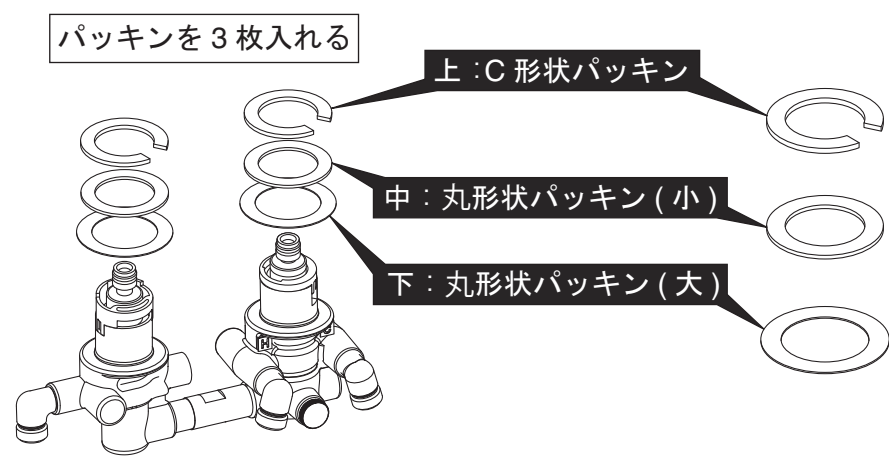


②逆止弁に両ナットエルボを取り付けます。エルボには向きがあり、突起が付いている方が下です。両ナットエルボはここでは本締めせず、仮固定してください。エルボはやや斜めの向きにします。



2. 水栓本体の取付け (図はA/B勝手を示す、C/D勝手は水栓が左右対称形状。)

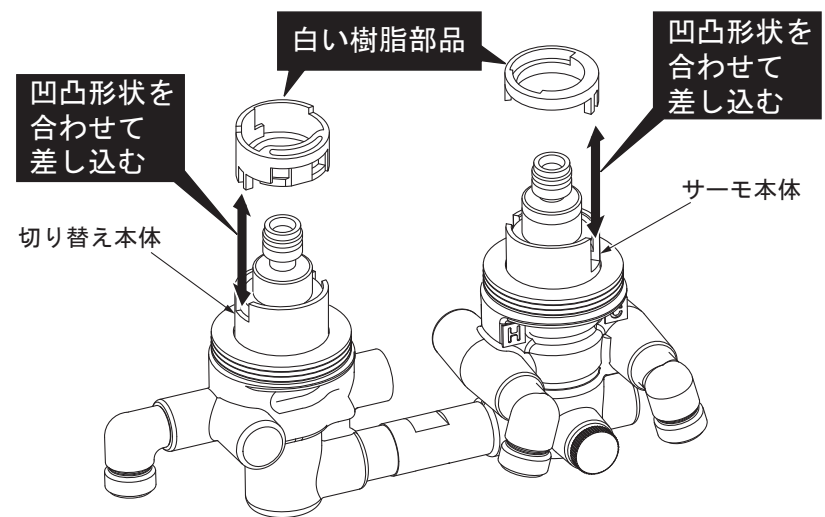
①浴槽リムに水栓本体を取り付けます。下図を参考に、水栓本体の向きを確認してください。水栓本体側にゴムパッキンを3枚入れます。パッキンはそれぞれ形状が異なりますので、下図のように組みつけてください。



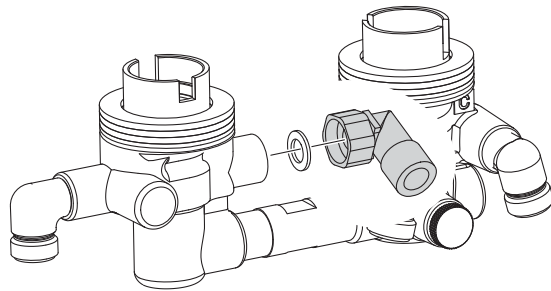
②ストッパーの取り付け

サーモ本体および切替本体の切り欠きと各ストッパーの凸部を合わせ、組み込んでください。

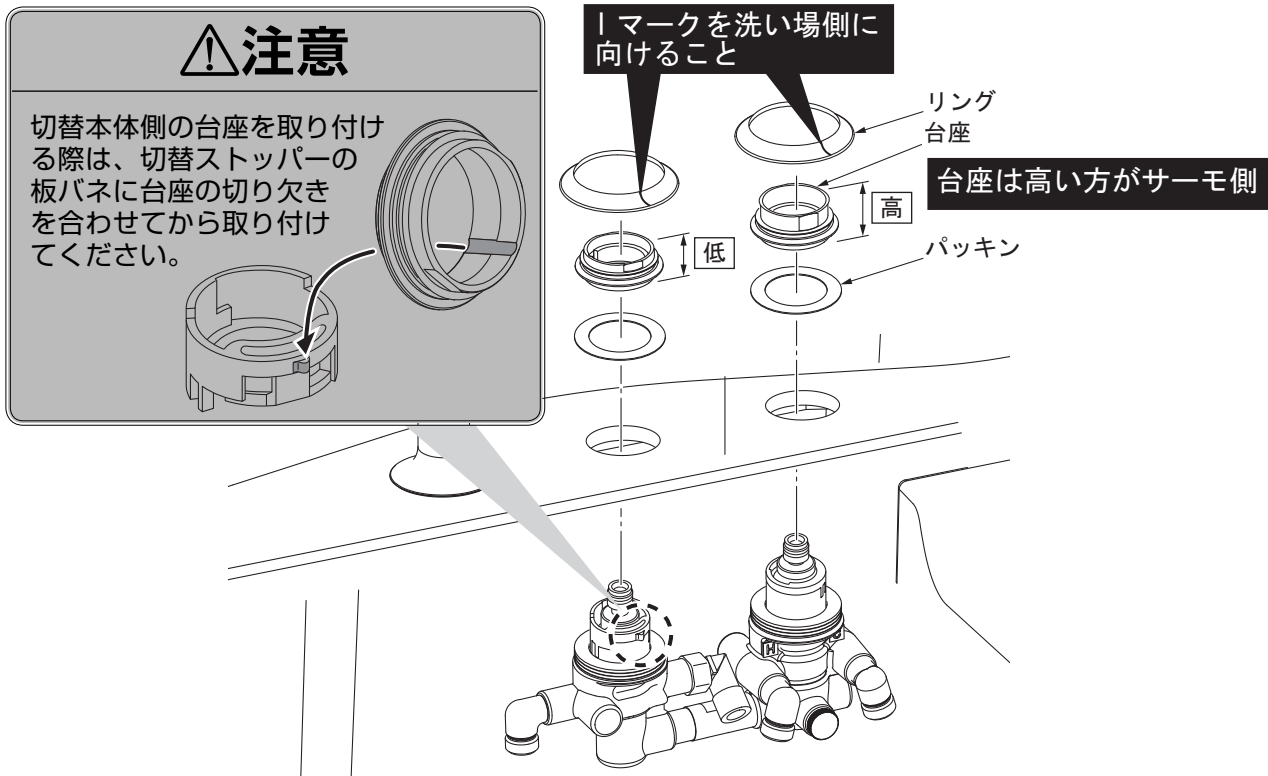
⚠️ 注意 ストッパーと本体にすき間のないよう、しっかりと組み込んでください。



③L型継ぎ手を水栓に仮組みします。硬質パッキンを忘れずに入れてください。ここではナットを本締めせず、仮固定としてください。

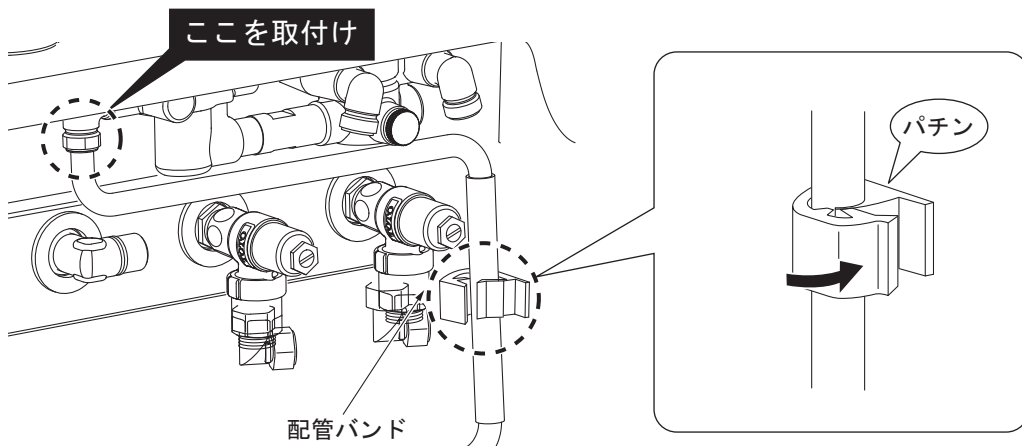


④水栓本体を浴槽リムに取り付けます。台座はサーモハンドル側と切り替えハンドル側で形状が異なりますので注意してください。台座をしっかりとねじ込んでください。リングはIマークが洗い場に向くように取り付けてください。リングは浴槽とすきまが開かないように十分に押し付けてください。



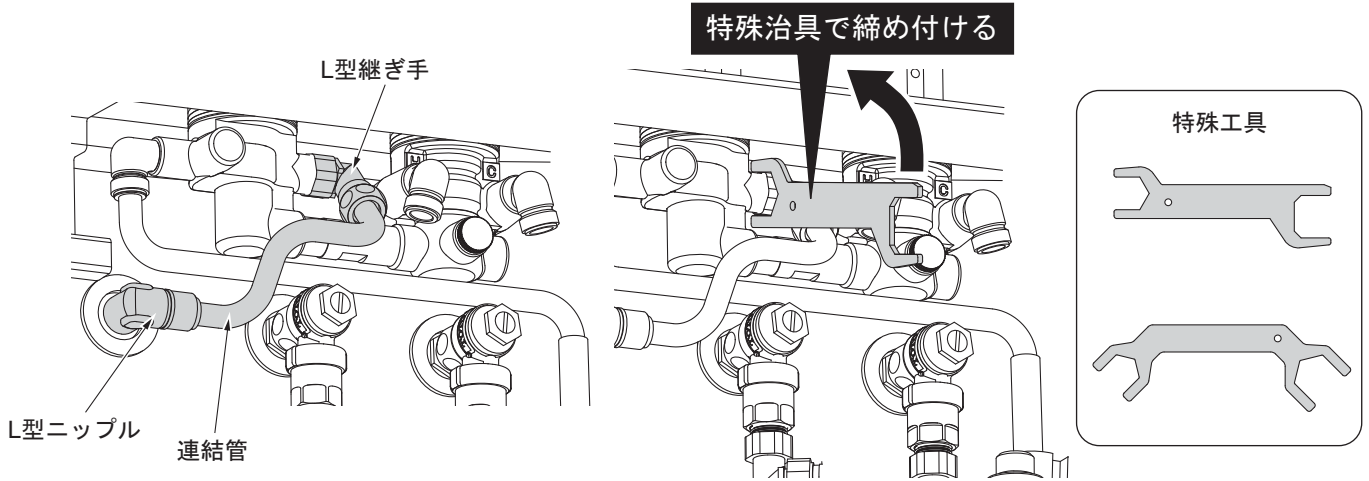
3. シャワー用配管の取付け

水栓にシャワーホース取付け用配管を取付けます。硬質パッキンを忘れずに入れてください。取付け後、配管をホースバンドに固定します。



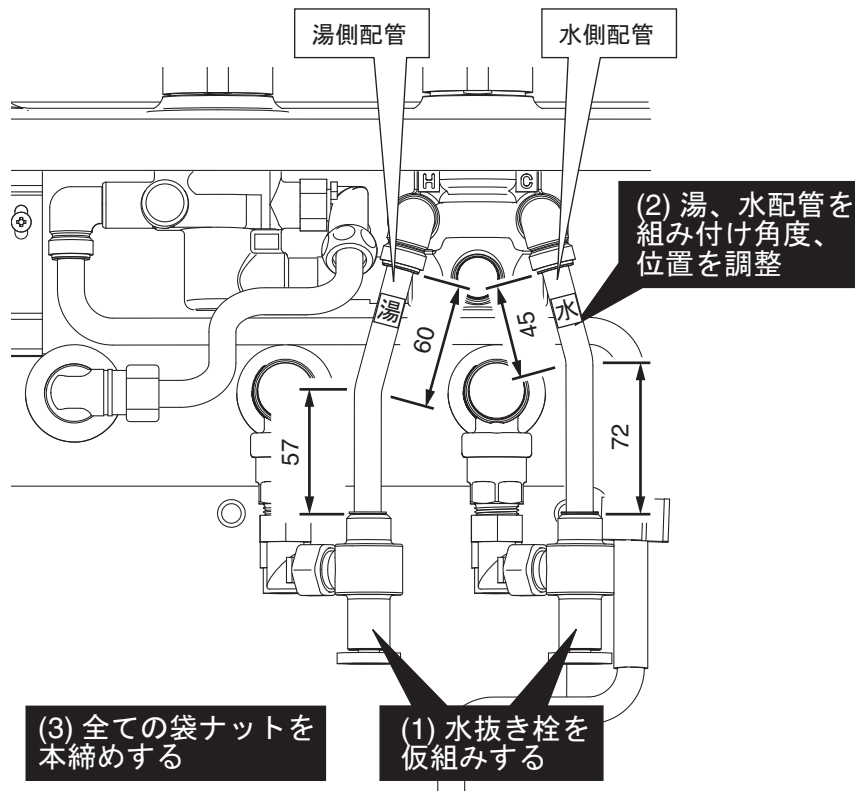
4. オーバーヘッドシャワー連結管取付け

床側のL型ニップルと水栓側のL型継ぎ手をオーバーヘッドシャワー連結管で接続します。硬質パッキンを忘れずに入れてください。同梱の特殊治具2種類を使用して締め付けてください。

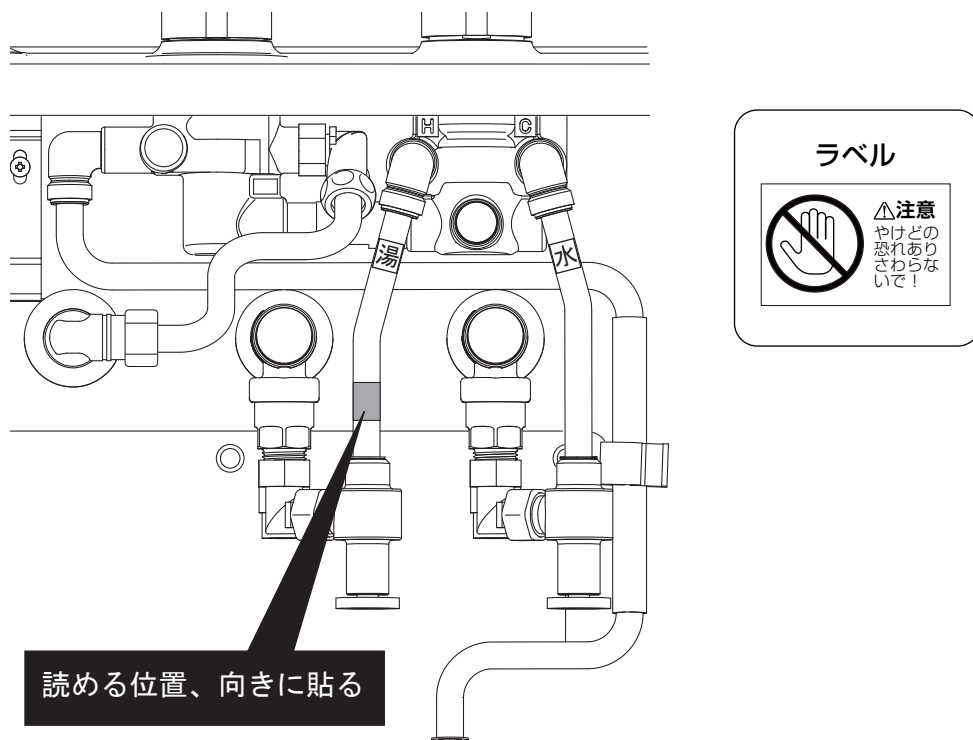


5. 水抜き栓、湯水配管の取付け

①サーモ側に湯、水の配管を取り付けます。湯と水の配管は形状が異なりますので注意してください。配管に「湯」「水」のラベルがある方が上側になります。各接続部に硬質パッキンを忘れずに入れてください。角度、位置を調整後、全てのナットを本締めしてください。

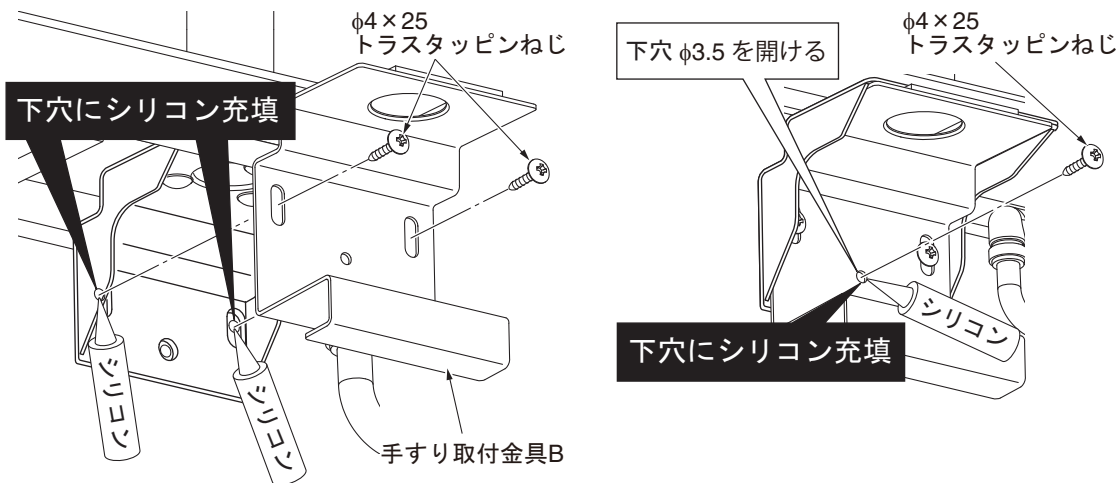


②湯側の配管に「やけど注意ラベル」を貼り付けてください。ラベルは正面から見える向きに貼り付けてください。



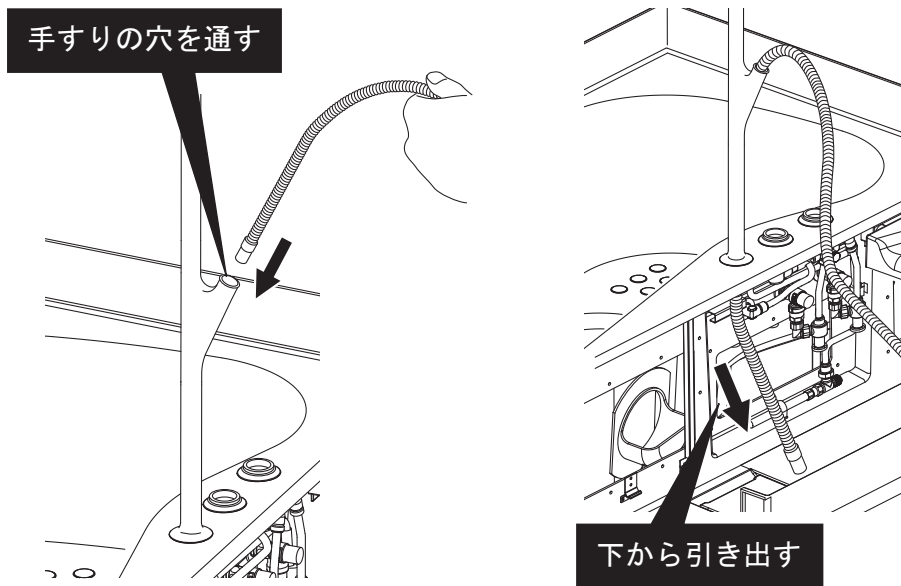
6. 手すり取付金具Bの取付け

床にあらかじめ開いている2か所の下穴にシリコンを充填します。取付金具Bを浴槽裏に押し当て、 $\phi 4 \times 16$ トラスタッピンねじ2本で床の下穴に取り付けます。取付後、中央の穴に $\phi 3.5$ で下穴を開け、シリコンを充填後、 $\phi 4 \times 25$ トラスタッピンねじで取り付けます。

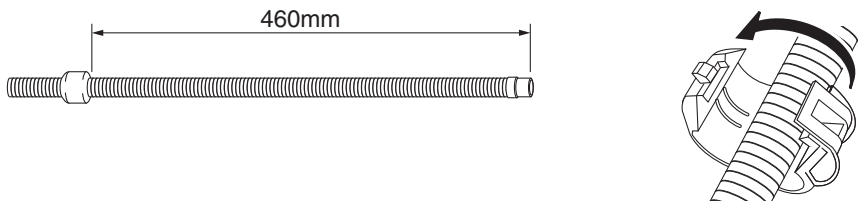


7. シャワーホースの取付け

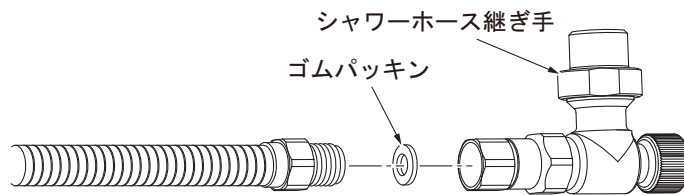
①シャワー用配管にシャワーホースを接続します。手すりの中にシャワーホースを通し、下からホースを引き出してください。



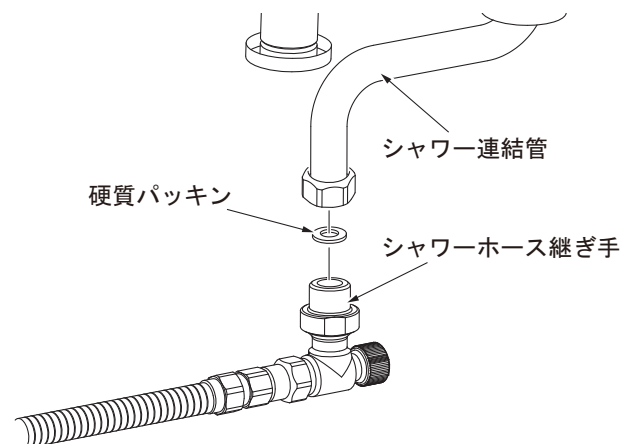
②シャワーホースにホース抜け止め部品を取り付けます。ホースを床に置いた状態で、端から460mmのところに取り付けてください。ホースをやや引っ張りながら挟むとはめやすくなります。



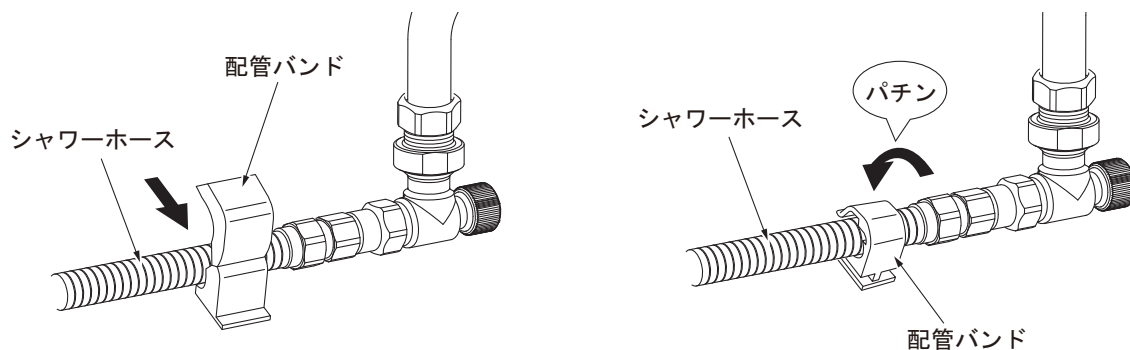
③シャワーホースとシャワーホース継ぎ手を接続します。ゴムパッキンを忘れずに入れてください。



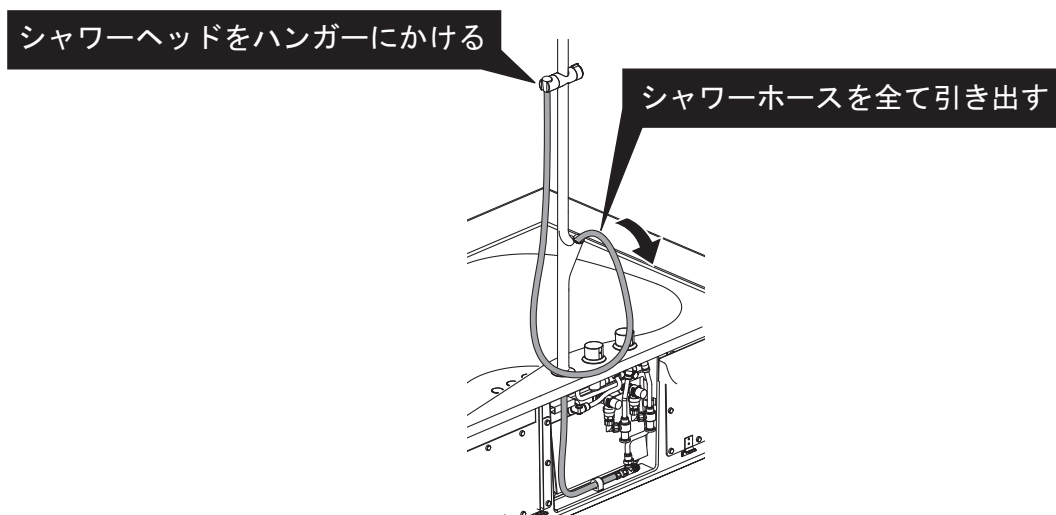
④シャワーホース継ぎ手をシャワー連結管に接続します。硬質パッキンを忘れずに入れてください。



⑤シャワーホースを配管バンドに押し込み、固定します。

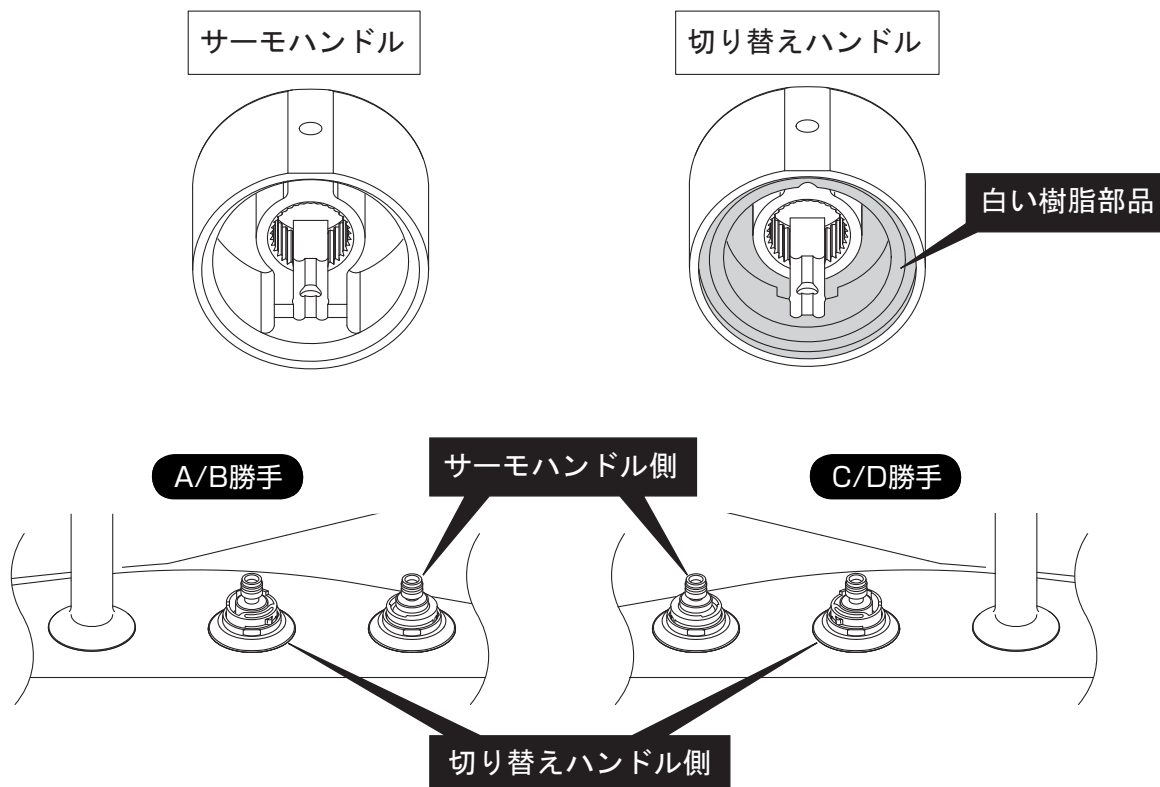


⑥シャワーホースを全て引き出してください。シャワーホースはスライドハンガーにかけておいてください。



8. ハンドルの取付け

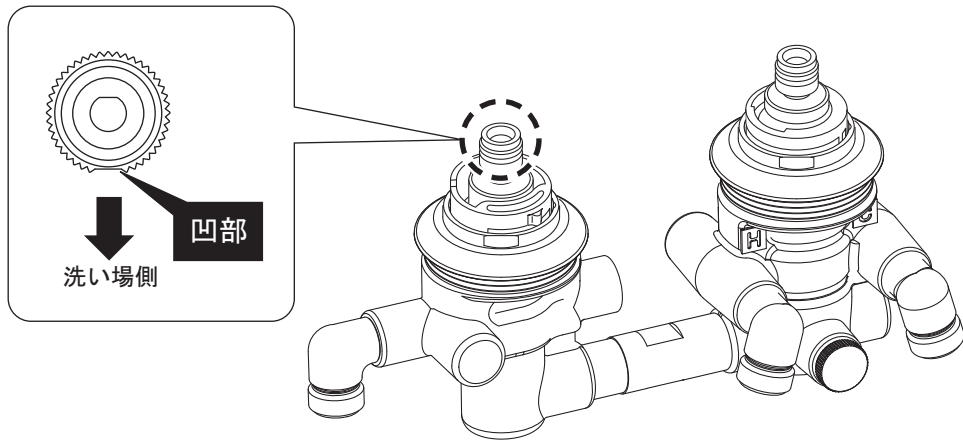
切り替えハンドル、サーモハンドルを取り付けます。ハンドルの裏を見て、白い樹脂部品がある方が切り替えハンドルになります。浴槽に向かって見たとき、中央手すりの近くにあるハンドルが切り替えハンドル、ベンチに近いハンドルがサーモハンドルになります。



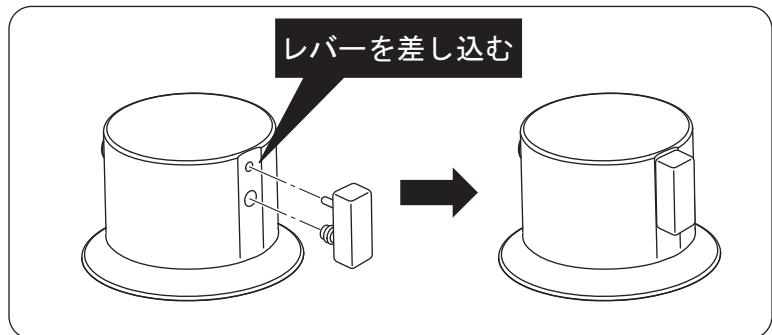
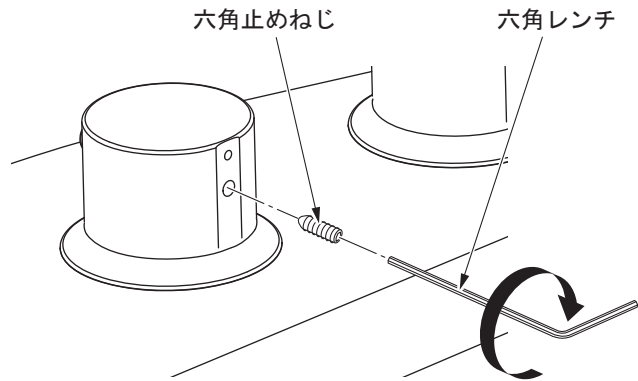
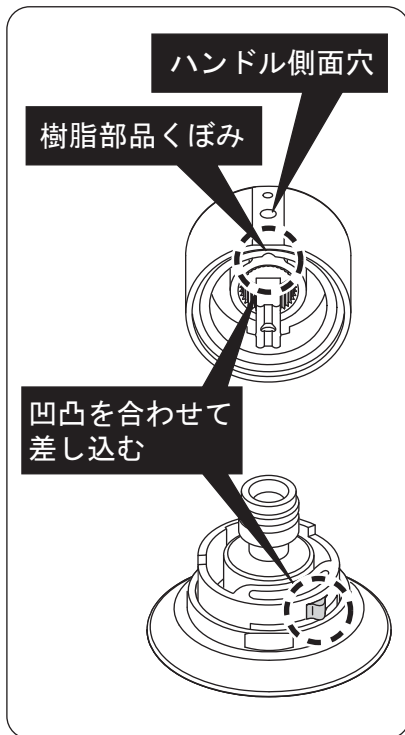
①切り替えハンドルの取り付け

切替本体の凹部が洗い場側に向いていることを確認します。

※合っていない場合は、先端を回して合わせてください。

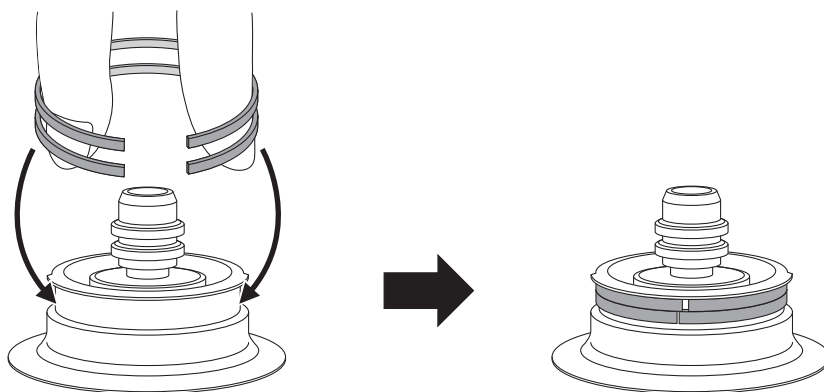


ハンドルの裏を見て、白い樹脂部品のくぼみと水栓側の金属板突起部を合わせて差し込みます。くぼみは2か所あります。ハンドル側面の穴に真下にあるくぼみを合わせてください。ハンドルを下まで押し付けたあと、側面の穴より六角止めねじを付属の六角棒レンチで締め込み、固定します。ねじを締め付けた後、金属のレバーを差し込んでください。

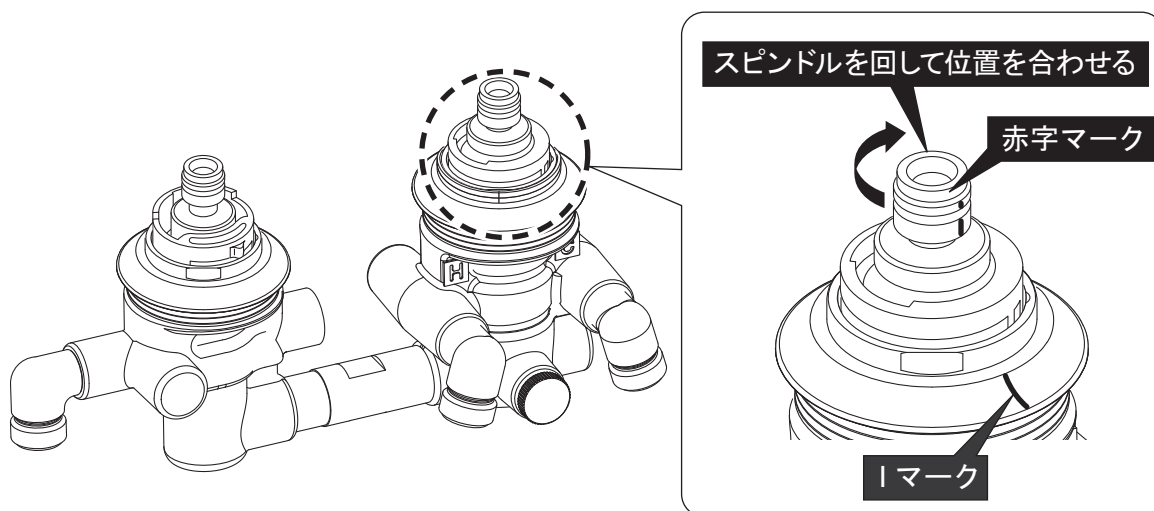


②サーモハンドルの取り付け

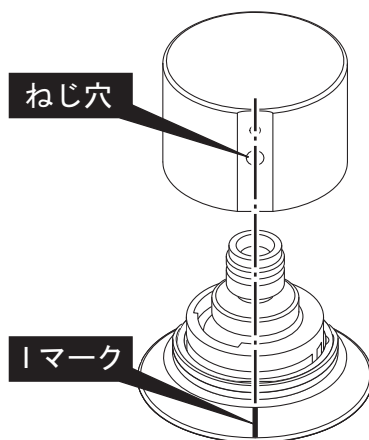
浴槽側の台座の溝に樹脂リングを2つ入れます。リングを広げながら挿入してください。挿入後、リングが溝内にしっかりと収まっているか確認して下さい。



サーモ本体の先端の赤字マークと、リングの「Iマーク」が合っているか確認します。合っていない場合は、スピンドルを回して合わせてください。

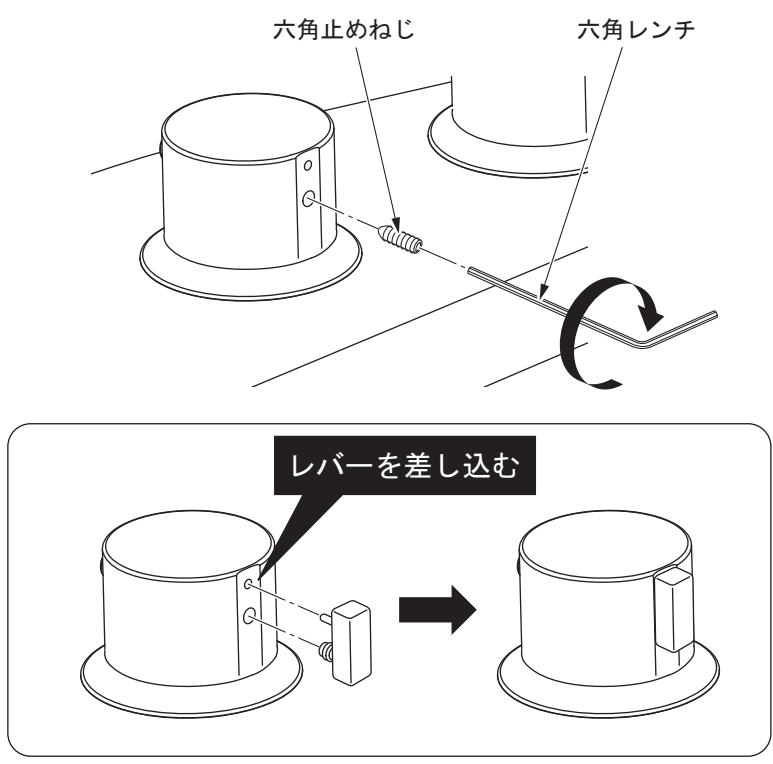


ハンドルのねじ穴とリングのIマークを合わせ、ハンドルをはめ込みます。



図面集
必要工具
事前確認
事前施工
1 施工要領
2 施工要領
3 施工要領
4 施工要領
5 施工要領
6 施工要領
7 施工要領
8 施工要領
9 施工要領
10 施工要領
11 施工要領
12 施工要領
13 施工要領
14 施工要領

ハンドルを下まで押し付けたあと、側面の穴より六角止めねじを付属の六角棒レンチで締め込み、固定します。ねじを締め付けた後、金属のレバーを差し込んでください。



8. オーバーヘッドシャワー配管の取付け (設備工事)

オーバーヘッドシャワー接続のための配管は全て現場手配になります。配管は以下の条件で接続してください。

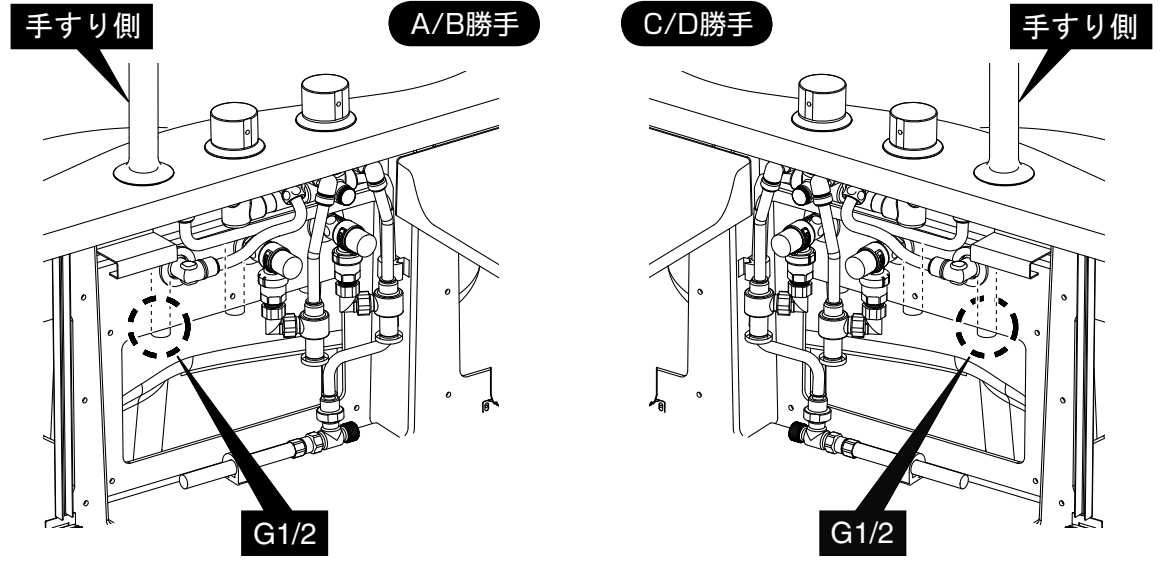
- ・配管長さ：5.7m以内
- ・配管曲がり：5曲がり以内

配管には凍結防止のため必ず保温材を巻いてください。

タイプ8

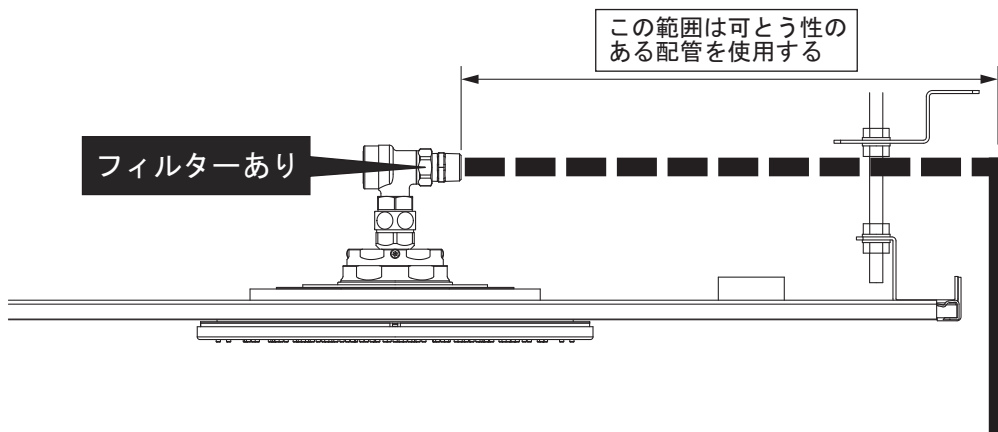
1. 水栓側の配管接続

洗い場から見て、手すり側にある接続口がオーバーヘッドシャワーの接続口になります。接続口はG 1/2です。

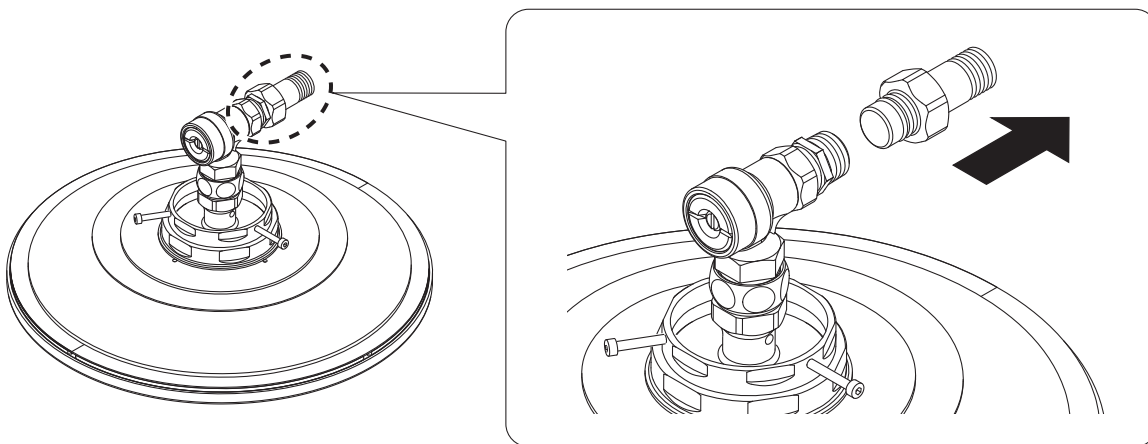


2. シャワー側の配管接続

シャワー接続口にあるフィルターのメンテナンスのため、天井裏のシャワー～壁までの配管は必ず可とう性のある配管を使用してください。

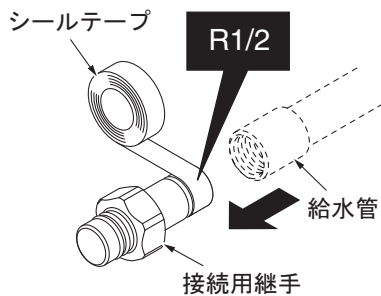


オーバーヘッドシャワーの継ぎ手を外します。



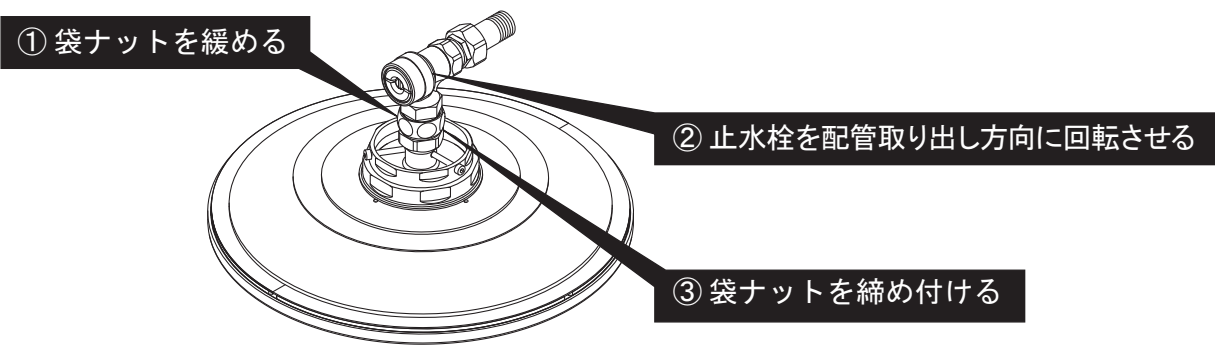
継ぎ手をオーバーヘッドシャワーの接続口に接続します。接続口はR1 / 2です。

- ①接続用継手にシールテープを巻く。
- ②接続用継手を給水管に取り付ける。



| | |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 必ず実行 | <p>取り付ける前に、必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す</p> |
| 注意 | <ul style="list-style-type: none"> •必ず接続用継手にシールテープを巻いてください。シールテープを巻かないと、水漏れの原因となります。 •ゆるみがないようにしっかり締めてください。しっかり締められていないと水がもれたり、外れることがあります。 |

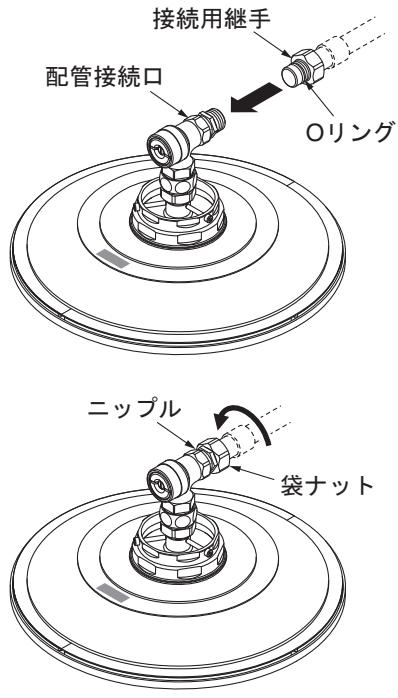
配管接続口の向きを配管と合わせます。向きがあっていない場合は、下記の要領で向きを合わせてください。



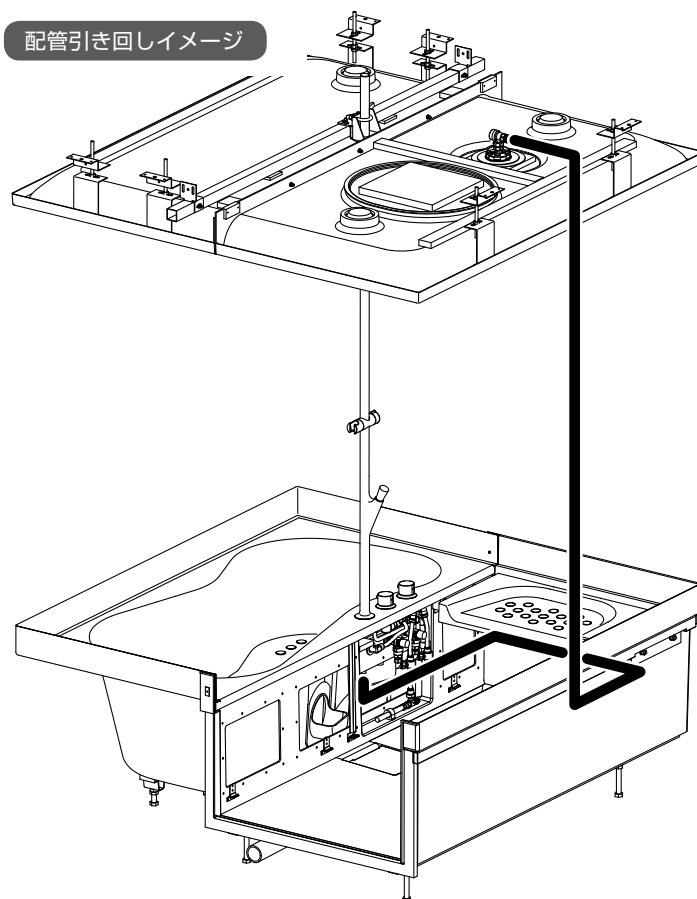
| | |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⚠注意 | <ul style="list-style-type: none"> •袋ナットを必ず締め付けてください。 •止水栓が回転しないことを確認してください。 |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|

接続用継手のOリング部をシャワーヘッドの配管接続口に差し込み、袋ナットを確実に締め込んでください。

| |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⚠注意 |
| <ul style="list-style-type: none"> •接続用継手を差し込む際は、まっすぐ奥まで、確実に差し込んでください。 •Oリングを傷つけないように注意してください。 •袋ナットを締めこむ際、ニップルの六角部をモンキーレンチなどで支えてください。 |
| <p>モンキーレンチ</p> <p>モンキーレンチ</p> |



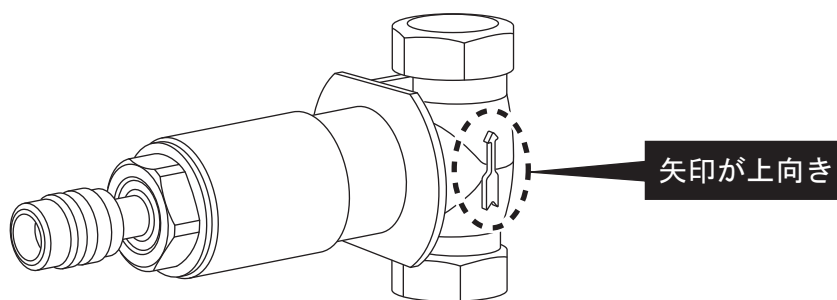
配管を引き回し接続します。配管は適当な位置で建築側へ固定してください。



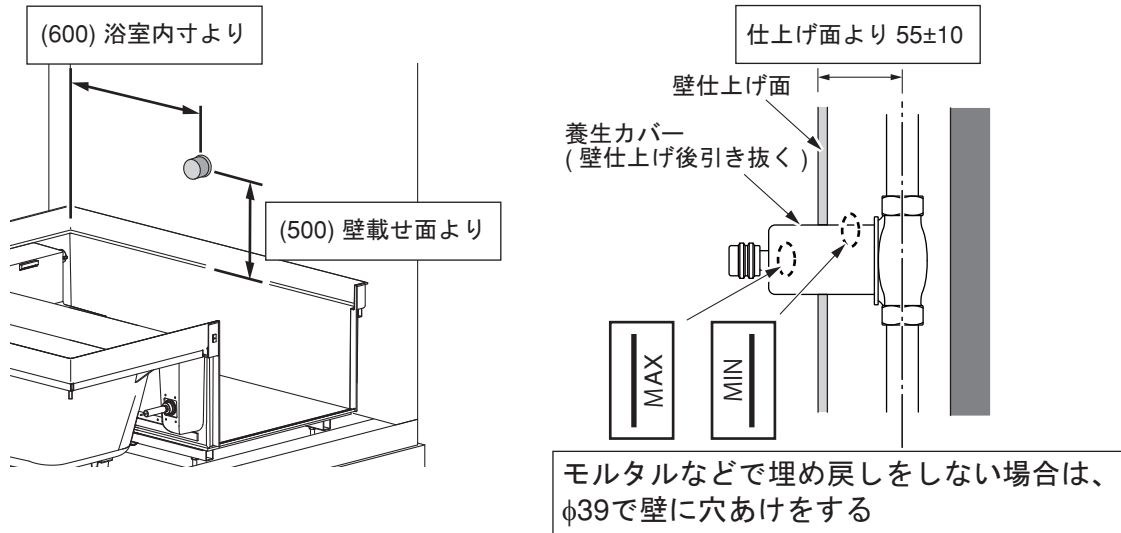
タイプ0

1. オーバーヘッドシャワー切り替えハンドル本体の取付け

切り替えハンドル本体は向きがあります。本体側面にある矢印が上に向く方向に取り付けてください。



壁に切り替えハンドルの本体を固定します。本体及び配管は、市販のホルダーや補強材を使用して建築側に固定してください。切り替えハンドル本体の位置は下図を参考に使用者に合わせて決めてください。壁仕上げ面からの埋め込み寸法は、養生カバーに表示してある仕上げ範囲内に納まるように取り付けてください。



⚠️ 注意

- ・開閉バルブの向きに注意して配管を接続してください。
- ・接続箇所には、必ず配管用シーล材を使用してください。
- ・養生カバーは紛失しないように注意してください。
- ・壁仕上げ範囲を超えて取り付けるとハンドルが正常な位置に取り付けできません。壁仕上げの位置については事前に十分に打ち合わせをしておいてください。
- ・養生カバーは壁の仕上げが終わるまでかぶせたままにしておいてください。

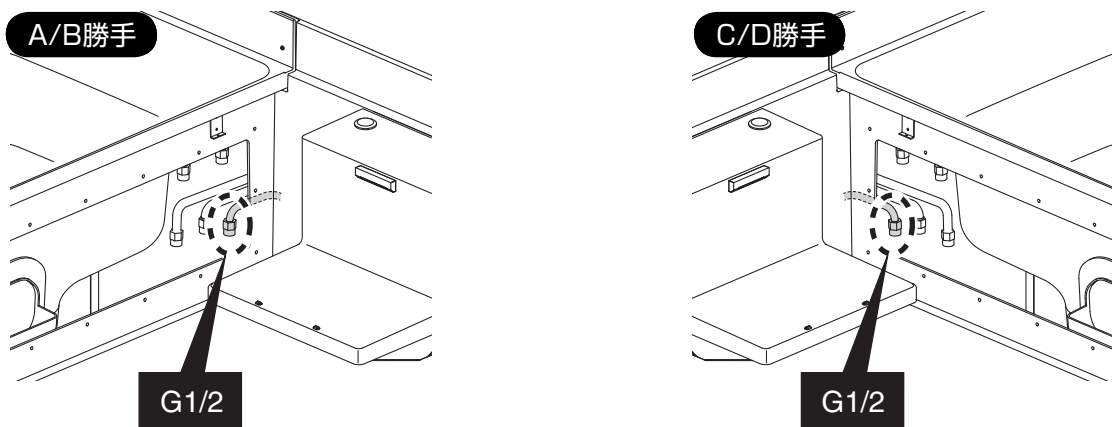


必ず実行

取り付ける前に、必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す
配管接続後、埋め込み配管部に通水し、接続部分から水漏れがないことを確認する

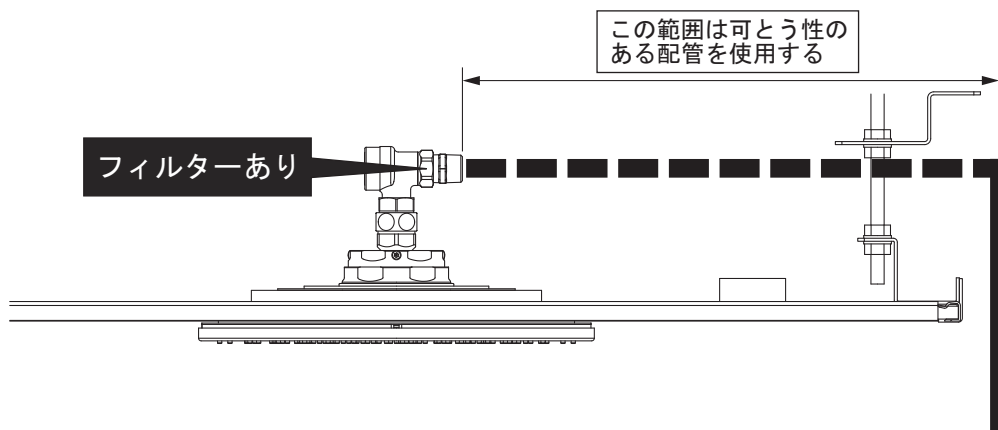
2. 水栓側の配管接続

点検口から見て、壁側にある接続口がオーバーヘッドシャワーの接続口になります。接続口はG1/2です。

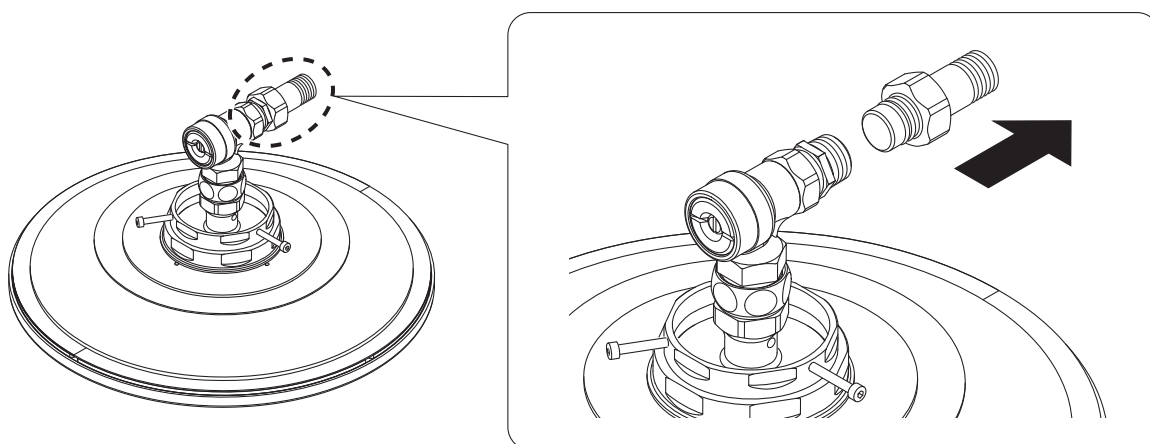


3. シャワー側の配管接続

シャワー接続口にあるフィルターのメンテナンスのため、天井裏のシャワー～壁までの配管は必ず可とう性のある配管を使用してください。

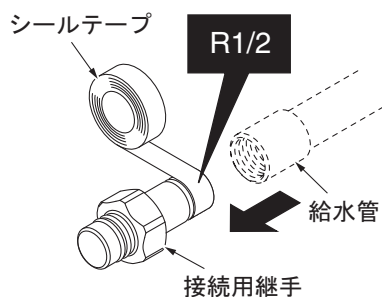


オーバーヘッドシャワーの継ぎ手を外します。



継ぎ手をオーバーヘッドシャワーの接続口に接続します。接続口はR 1 / 2です。

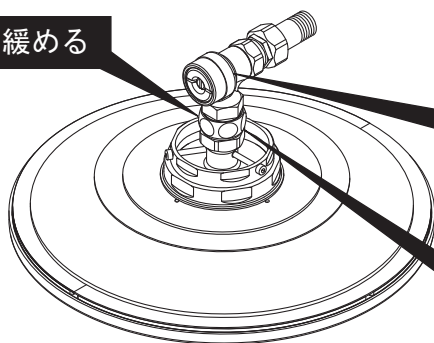
- ①接続用継手にシールテープを巻く。
- ②接続用継手を給水管に取り付ける。



| | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 必ず実行 | <p>取り付ける前に、必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す</p> |
| 注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・必ず接続用継手にシールテープを巻いてください。 シールテープを巻かないと、水漏れの原因となります。 ・ゆるみがないようにしっかり締めてください。 しっかり締められていないと水がもれたり、外れることがあります。 |

配管接続口の向きを配管と合わせます。向きがあっていない場合は、下記の要領で向きを合わせてください。

① 袋ナットを緩める



② 止水栓を配管取り出し方向に回転させる

③ 袋ナットを締め付ける

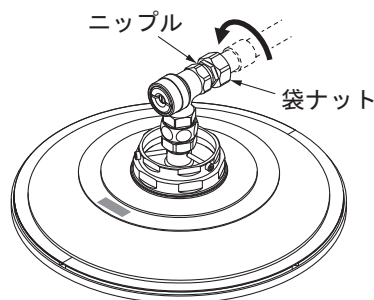
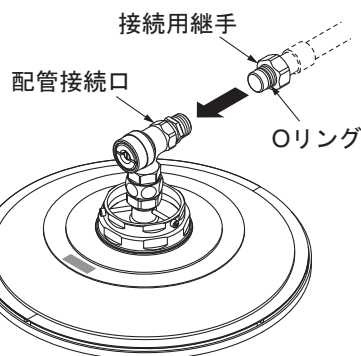
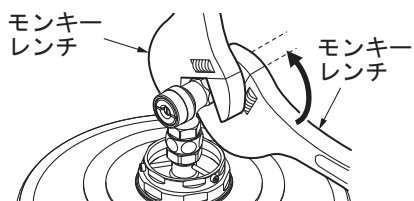
⚠注意

- 袋ナットを必ず締め付けてください。
- 止水栓が回転しないことを確認してください。

接続用継手のOリング部をシャワーヘッドの配管接続口に差し込み、袋ナットを確実に締め込んでください。

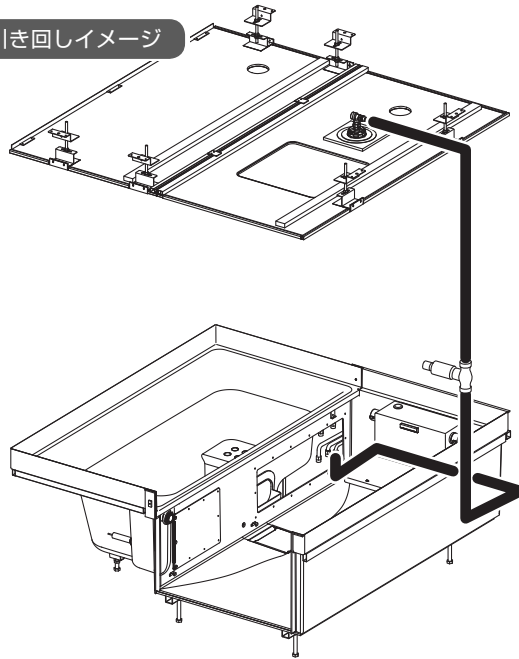
⚠注意

- 接続用継手を差し込む際は、まっすぐ奥まで、確実に差し込んでください。
- Oリングを傷つけないように注意してください。
- 袋ナットを締めこむ際、ニップルの六角部をモンキーレンチなどで支えてください。



配管を引き回します。配管は適当な位置で建築側へ固定してください。

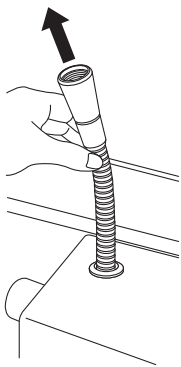
配管引き回しイメージ



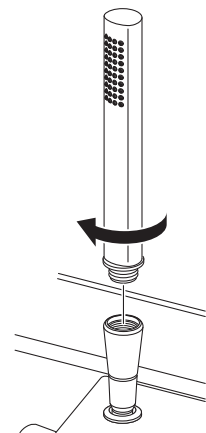
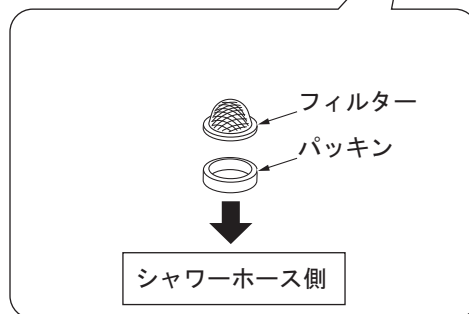
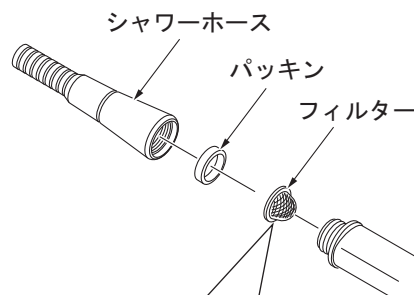
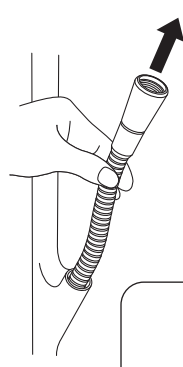
4. ハンドシャワー取付け

ハンドシャワーを取り付けます。シャワーホースの先端を引き出し、フィルターとパッキンを間に入れ、シャワーヘッドを取り付けてください。

タイプ0



タイプ8



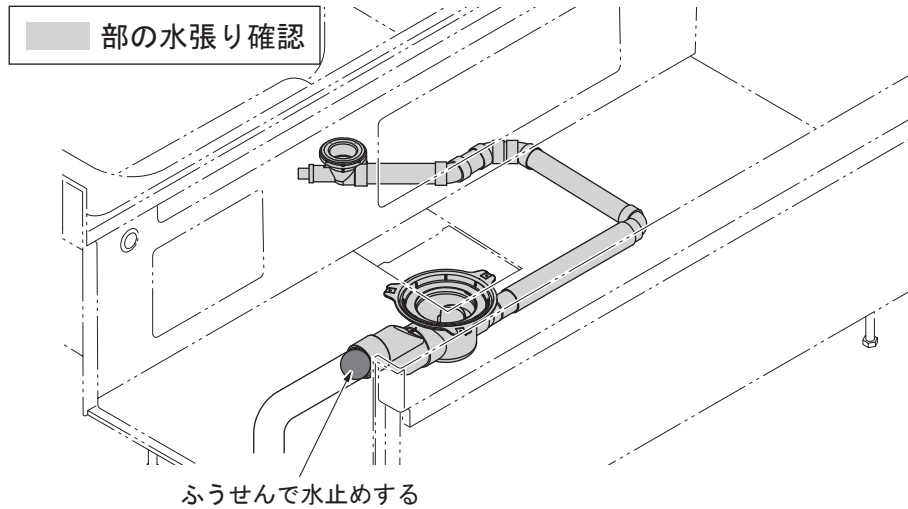
⚠️ 注意

- フィルターの向きを間違えない
- パッキンを入れ忘れない

9. 排水部、水栓部の漏水確認

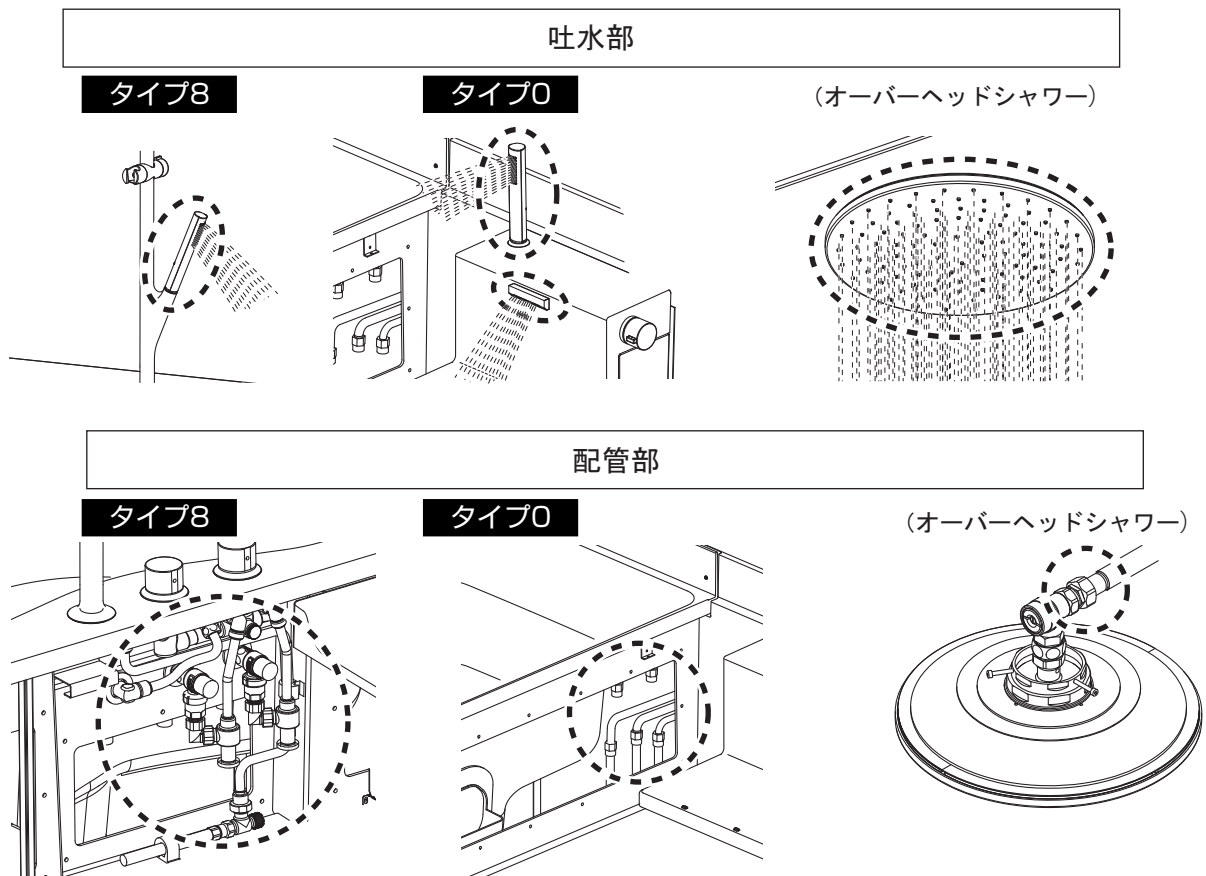
1. 排水管の漏水確認

トラップの雑排水管出口を同梱の「水張りふうせん」を使用してふさぎ、浴槽の排水口が水につかるまで水を張り、排水管接合部、浴槽排水継ぎ手部から漏水がないか確認してください。（30分以上放置し、水漏れのしないこと）※ふうせんの取り扱いについては、水張りふうせんに同梱の説明書をよくお読みください。

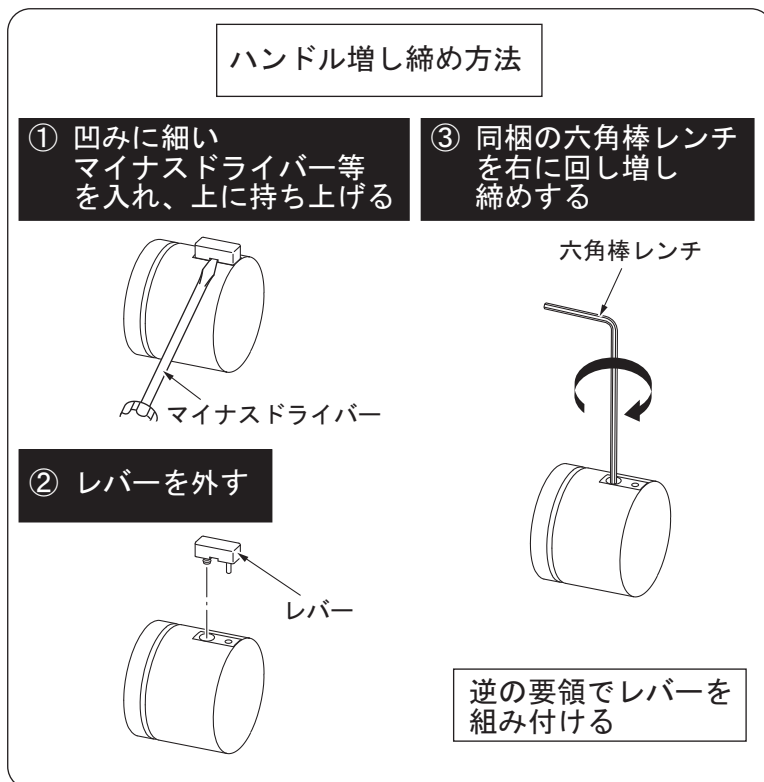
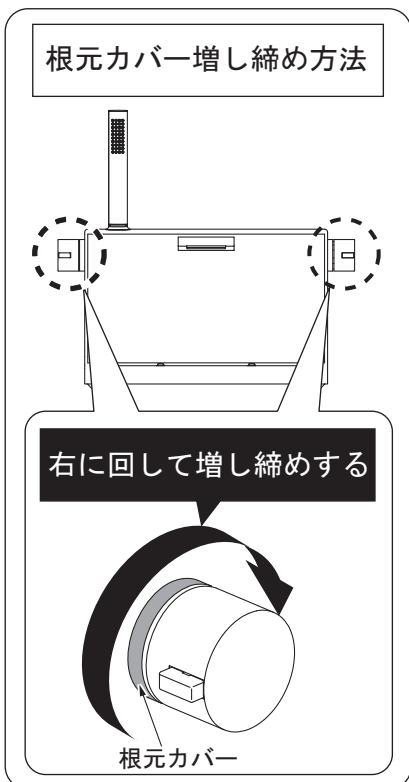


2. 各部配管の漏水確認

給水、給湯の元栓を開け、通水確認を行ってください。ハンドシャワー、オーバーヘッドシャワー、吐水（タイプ0のみ）が問題なく出るか、配管の各接続口に漏水がないか確認をしてください。万が一漏水がある場合は、それぞれの施工要領に従い該当部の増し締め等を行ってください。



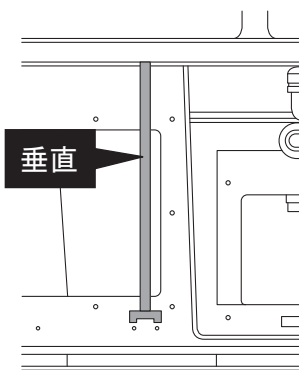
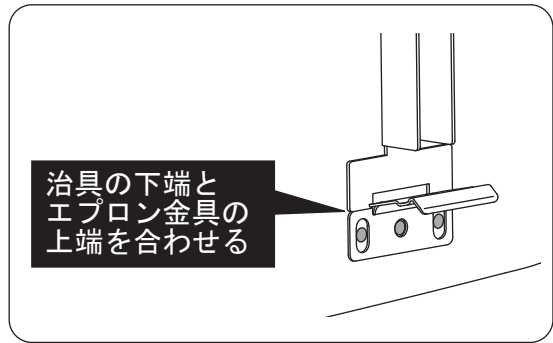
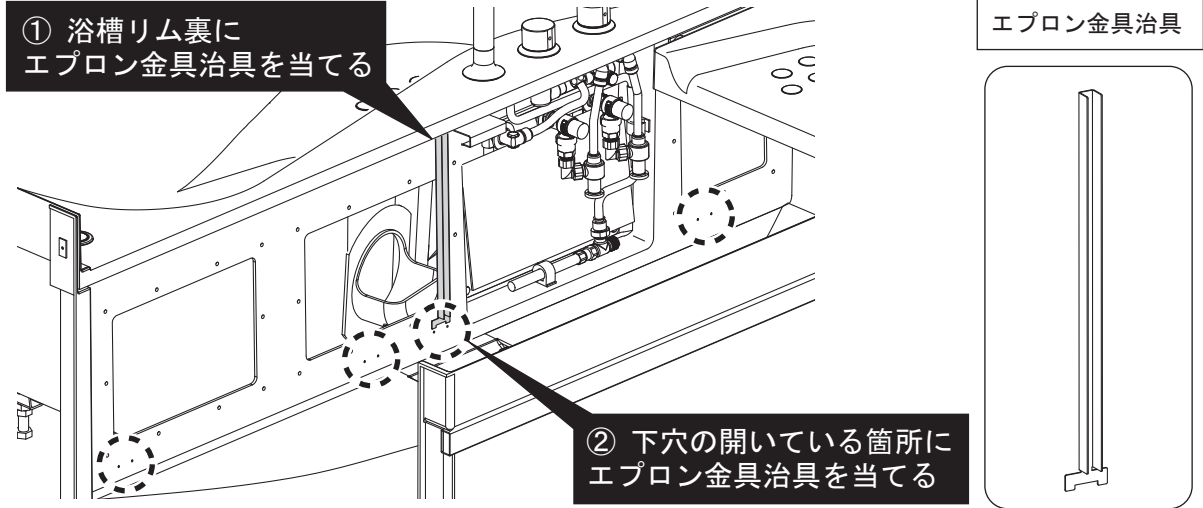
タイプ0の洗面器置きカウンターは、ハンドル、根元カバーに緩みがないか、手で回して確認してください。根元のカバーが緩んでいる場合は、右に回して締めこんでください。ハンドルが緩んでいる場合は、下の要領にしたがって増し締めをしてください。



10. 浴槽排水操作部 (タイプ0のみ)・点検口・エプロン取付け

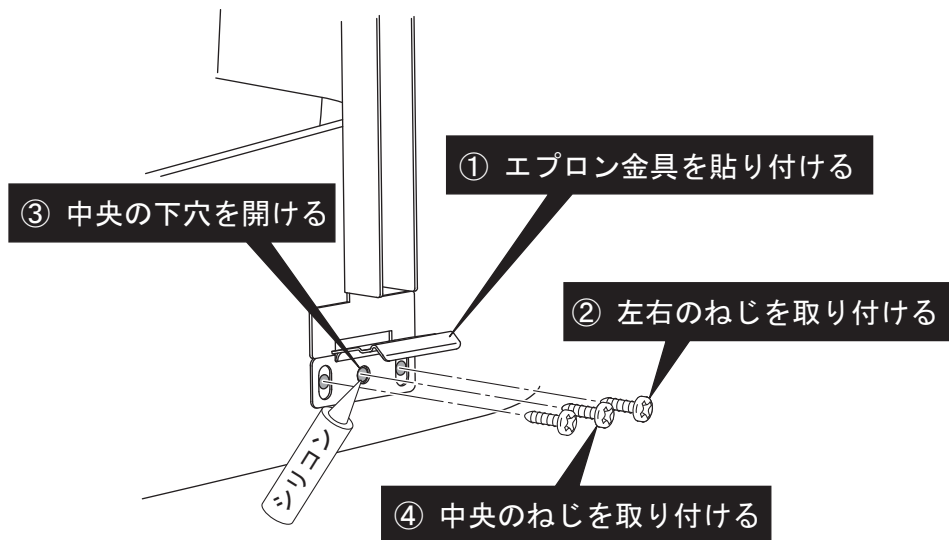
1. エプロン金具の取付け

床にエプロン金具を取り付けます。エプロン金具はタイプ0：3か所、タイプ8：4か所です。事前にエプロン金具の裏の両面テープのはくり紙をはがします。同梱の施工治具を使用しエプロン金具の高さを合わせ、床にあらかじめ開いている穴と位置を合わせ、エプロン金具を貼り付けます。



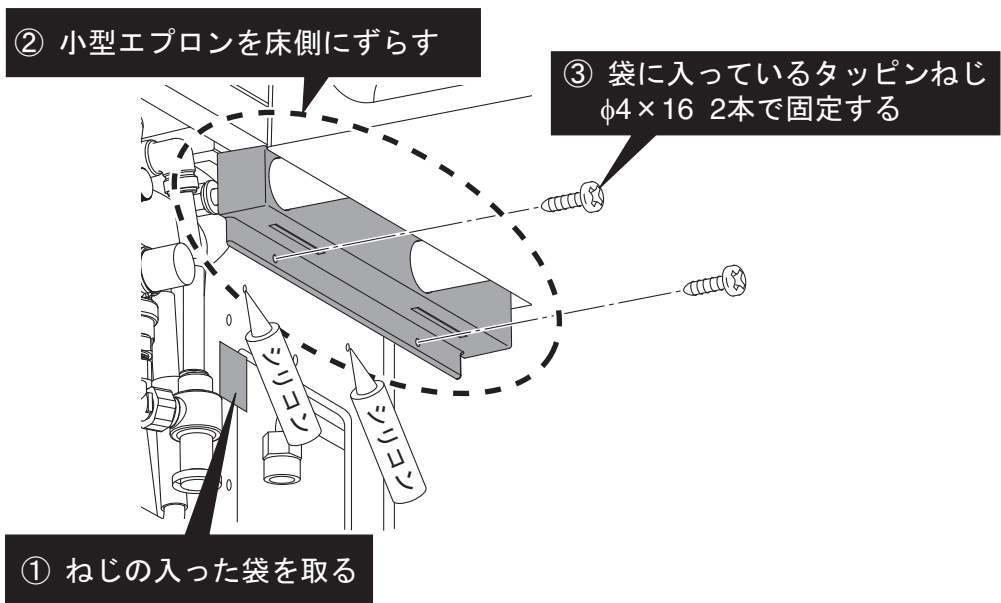
⚠ 注意 エプロン金具治具は必ず垂直に立てて使用すること

同梱のトラスタップンねじ4×12で金具を取り付けます。3か所の穴のうち、左右の2か所は下穴が開いていますので、下穴にシリコンを塗り、そのままねじを取り付けます。中央の穴については、φ3.5にて下穴を開け、シリコンを塗り、同じタップンねじを取り付けてください。



2. ベンチ側小型エプロンの固定 (タイプ8のみ)

小型エプロンの近くに貼ってあるタップンねじ2本を使い、小型エプロンを固定します。あらかじめ開いている下穴にシリコンを塗り、小型エプロンを床側にずらし、床に貼ってあるねじを使って固定します。



3. 浴槽排水栓操作部の取付け (タイプロのみ)

①点検口より手を入れ、浴槽裏に取り付いている排水栓操作部一式を浴室内に引き込みます。

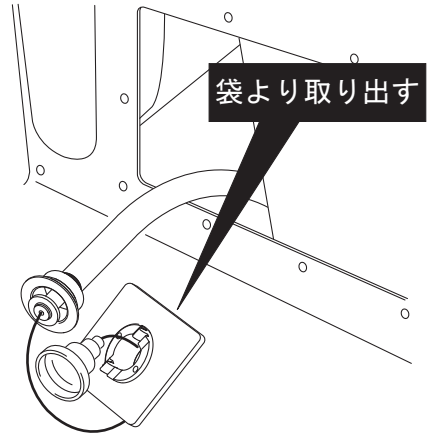
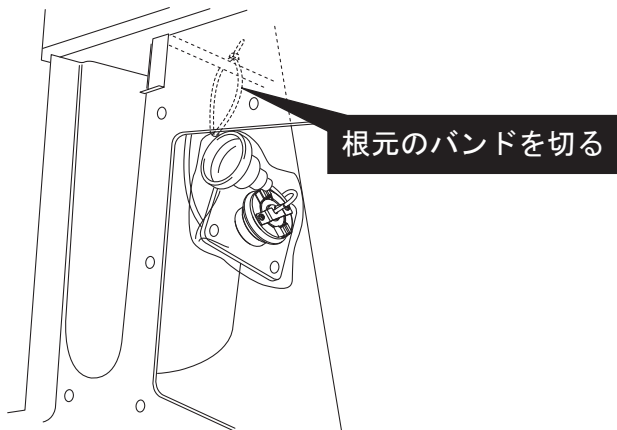
浴槽裏にくくりついているバンドを切り、部品をいったん大型点検口より浴室内に引き込みます。その状態で袋より取り出してください。



注意

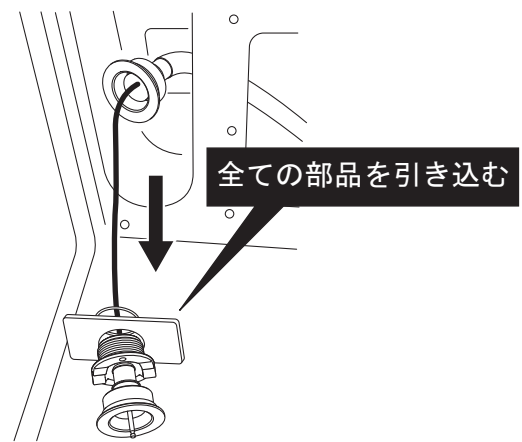
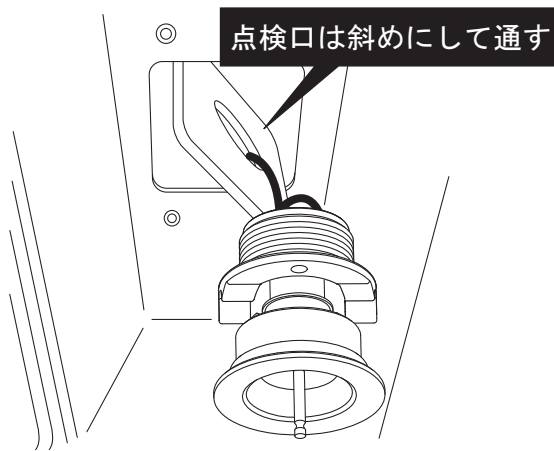
ホースを絶対に引っ張らないこと

ホースが浴槽部から抜け、浴槽から漏水します。

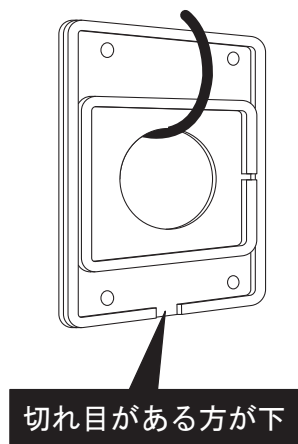
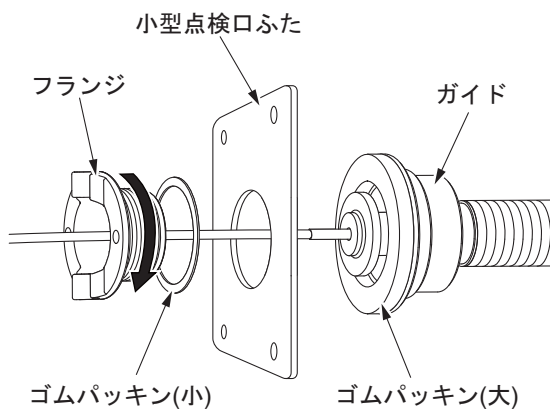


②袋から出した後、再び点検口より浴室外に出し、隣の小型点検口より全ての部品を引き込みます。

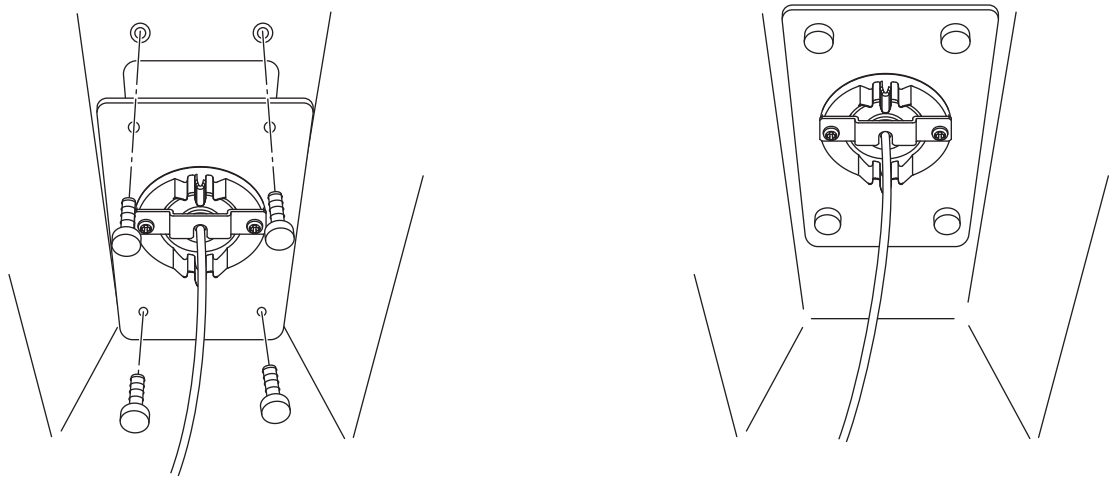
小型点検口ふたは斜めにして引き込んでください。



③小型点検口ふたに部品を組み付けます。ふたは向きがあり、裏のパッキンの下側が空いている側が下向きになります。フランジは必ず手締めで締めてください。

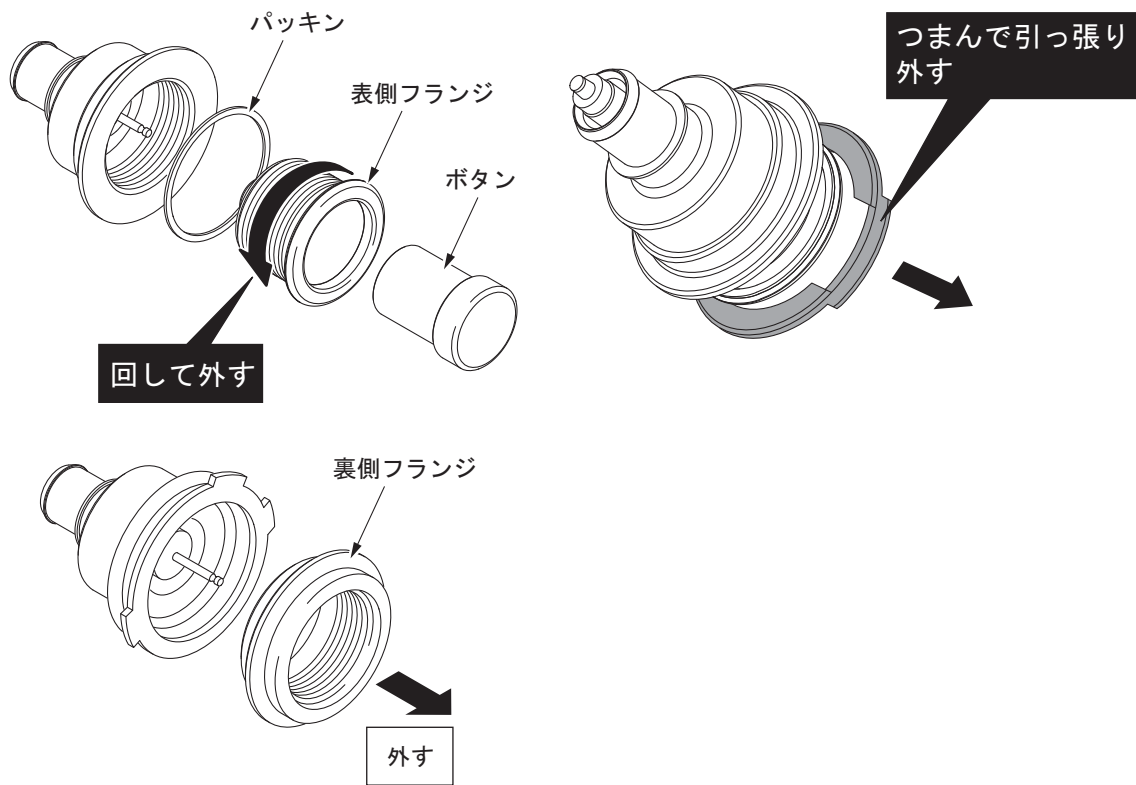


④小型点検口ふたを床に取り付けます。ねじは手締めで締めつけてください。

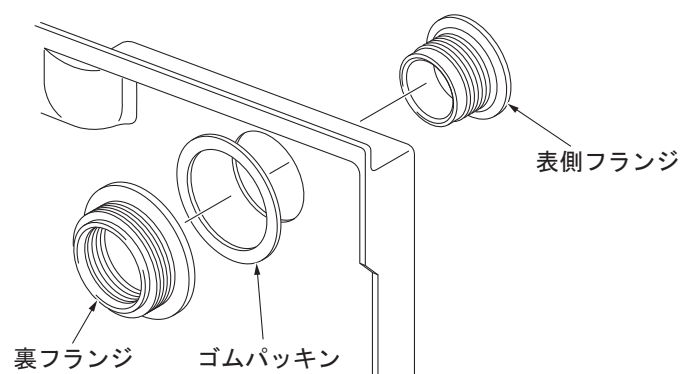


⑤排水金具に仮組みされている操作部のフランジ及びボタンを外します。

表側フランジを回し、表フランジ及びボタンを外します。次にCリングの突起部をつまみ、裏フランジを引き抜いて外します。

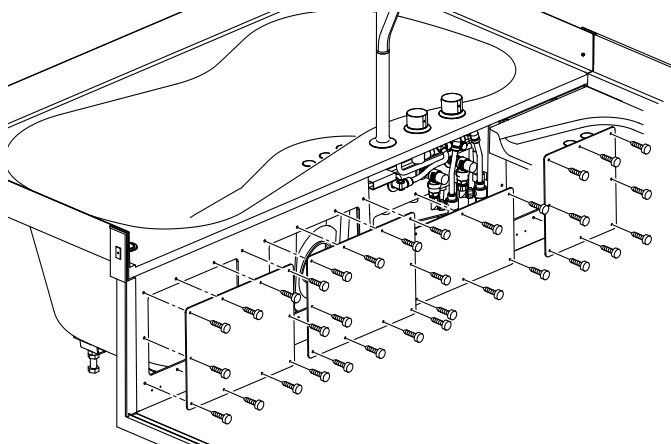


⑥エプロンに操作部フランジを取り付けます。裏フランジを手で回してエプロンにはさみこんでください。

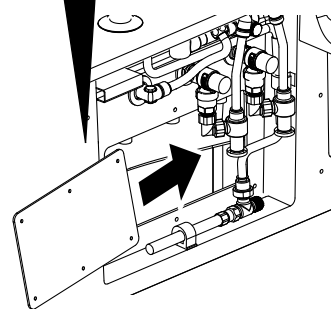


4. 点検口の取付け

床の点検口にふたを取り付けます。ふたには上下があり、逆向きでは取り付けできません。ねじは手締めでパッキンが完全につぶれるまで十分に締め付けてください。締め付けが足りないとふたと床の間から漏水します。（点検口ふたの数・大きさは機種、タイプにより異なります）

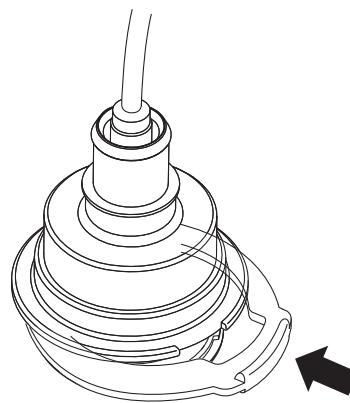
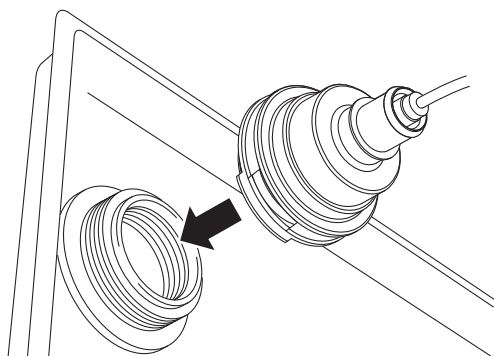


タイプ8の水栓部は横から差し込む



5. 浴槽排水栓操作部のエプロンへの取付け（タイプ0のみ）

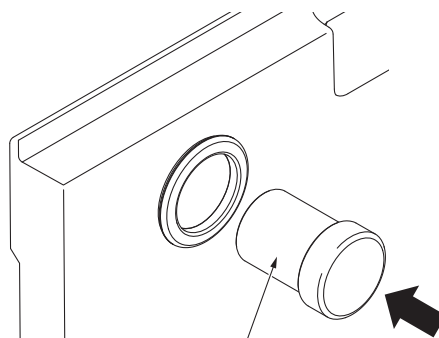
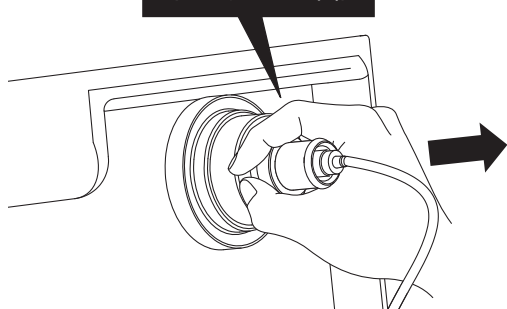
操作部をエプロン裏のボタン部に差し込み、横から樹脂のCリングを差し込み固定します。Cリングには向きがあります。相手部品の凹部にCリングの凸部を合わせてください。



凹凸を合わせる

取付後操作部を引っ張り、しっかり取り付けられていることを確認してください。ボタンを表側より押し込んで取り付けてください。ボタンは、底付きするまで奥に押し込んでください。

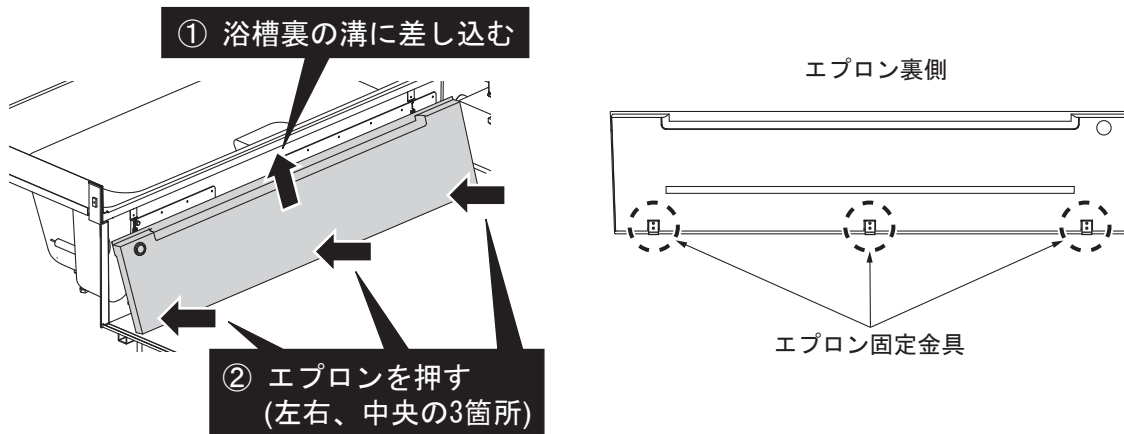
外れないか確認



ボタン

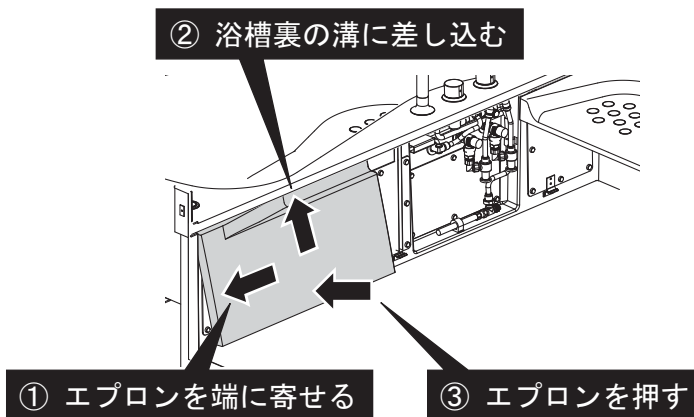
6. エプロンの取付け (タイプ0)

エプロン上側を浴槽裏の溝に差し込み、そのままエプロンを押し付けて組み付けます。固定金具はエプロン下側の両端と中央の3か所に取り付けていますので、その付近を押すと入りやすくなります。

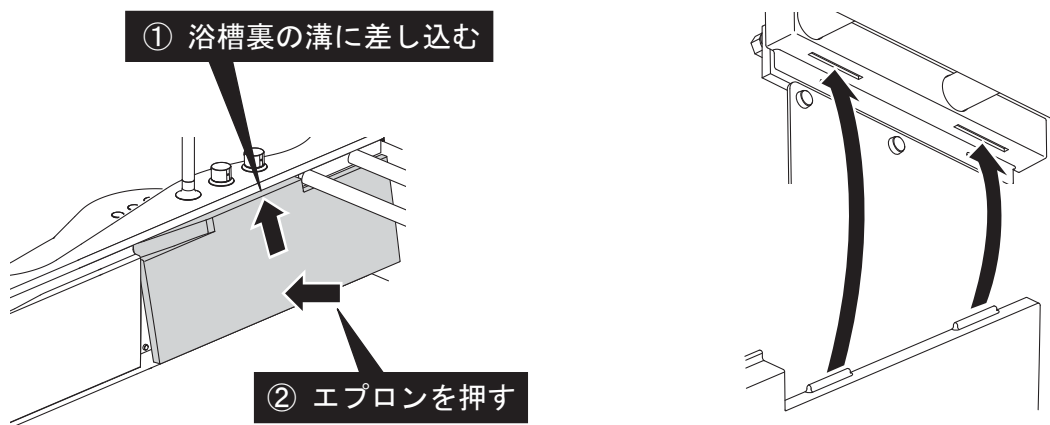


7. エプロンの取付け (タイプ8)

先にベンチと反対側のエプロンを取り付けます。エプロンを端に寄せながら上側を浴槽裏の溝に差し込み、そのままエプロンを押し付け組み付けます。



● 2枚目のエプロンも同じ要領で取り付けます。ベンチ側小型エプロンの穴にエプロンの突起が差し込まれていることを確認してください。



11. 水栓の流量、温度調整

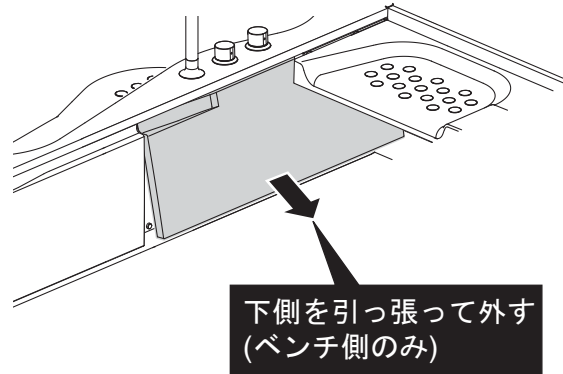
1. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、マイナスドライバーでフィルターを外してください。また、湯側フィルター部が熱くないことを確認してください。

タイプ8 フィルター清掃方法

●エプロンを外す

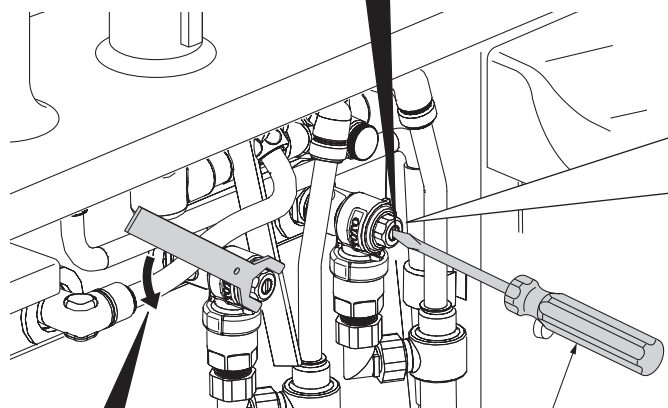


●止水栓を右に回し閉じる

●湯、水の止水栓をスパナで外す

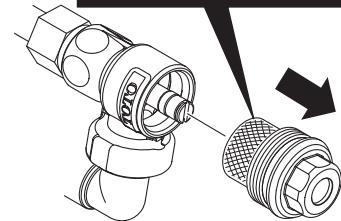
●フィルターを掃除する

① 中央の止水栓を右に回し閉じる



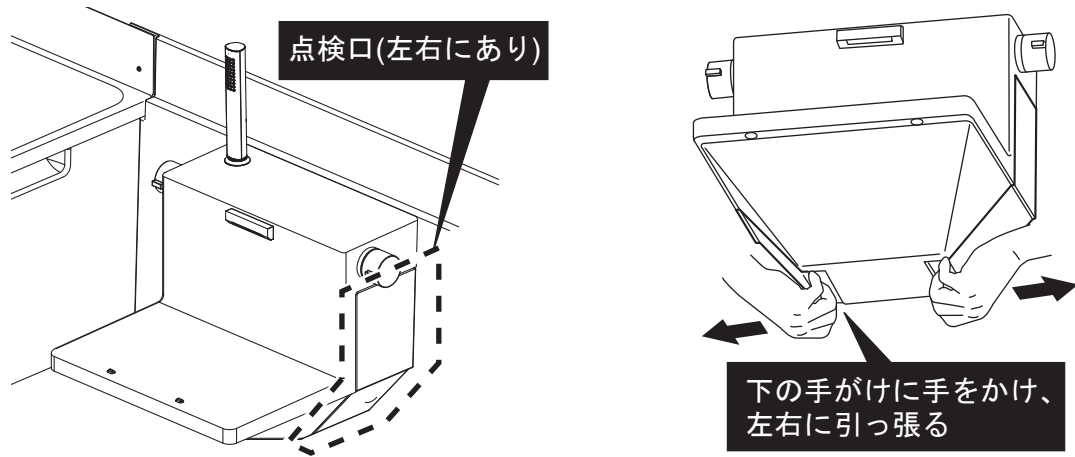
② スパナでフィルターを外す

フィルターを掃除する

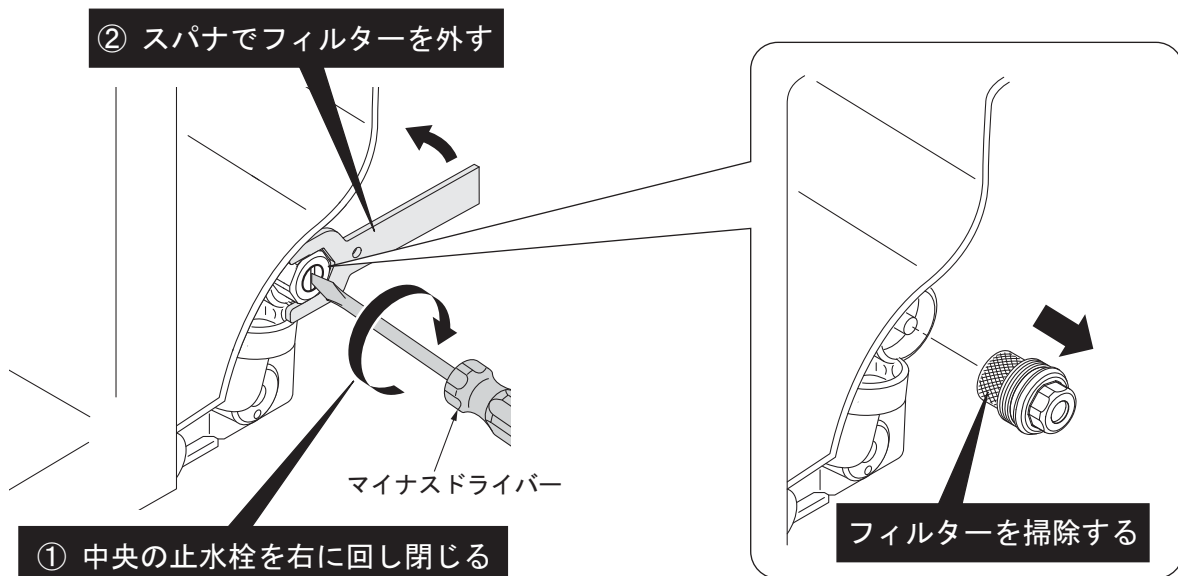
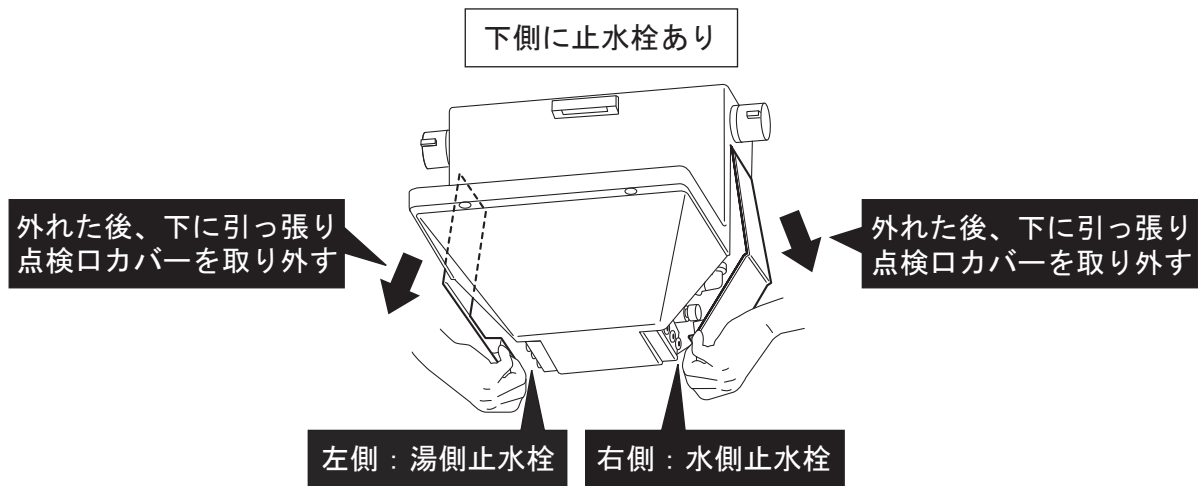


タイプ0 フィルター清掃方法

- 洗面器置きカウンター側面の左右の点検口を外す



- それぞれの止水栓を右に回し閉じる
- 湯、水の止水栓をスパナで外す
- フィルターを掃除する



2. 流量の調整

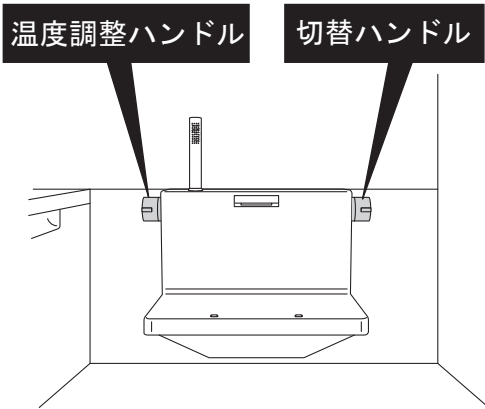
流量が多すぎる場合は次の要領で止水栓を調整してください。

- ①温度調整ハンドルを反時計回りにいっぱい回す。
- ②切替ハンドルでハンドシャワー／オーバーヘッドシャワー／吐水(タイプ0のみ)に切り替える
- ③お好みの流量になるように水側の止水栓で調整する。

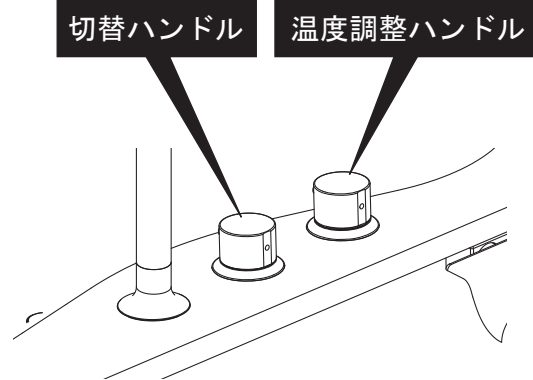
※止水栓の調整方法は、フィルター清掃の項目を参照のこと。

※止水栓を時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。

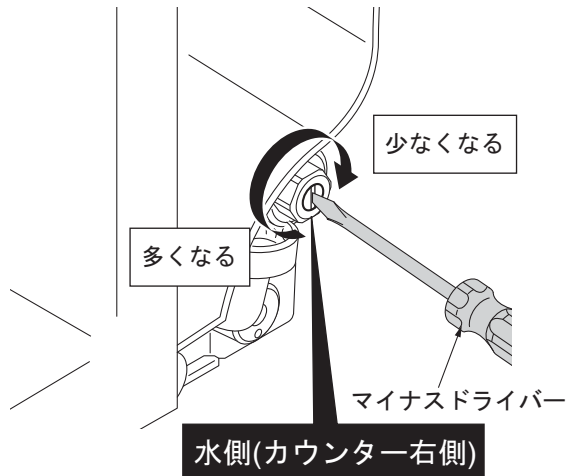
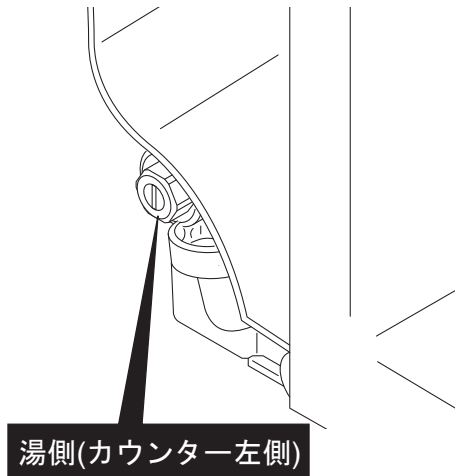
タイプ0 (A/B/C/D共通)



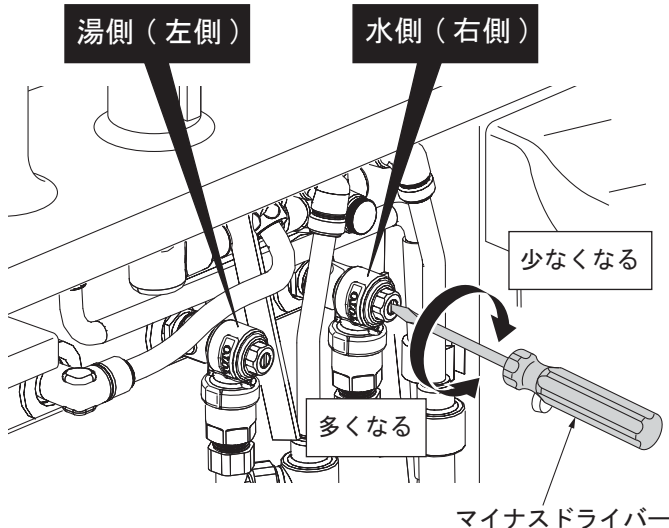
タイプ8 (図はA/B勝手、C/Dは逆勝手)





タイプ0 (A/B/C/D勝手共通)



タイプ8 (A/B/C/D勝手共通)



④同様に湯側も調整する。温度調整ハンドルの安全ボタンを押しながら時計回りにいっぱいに戻し、水側と同じように流量を調整する。

| | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
|  <p>警告</p> |  <p>必ず実行</p> | <p>湯側の調節を行うときは十分注意する</p> <p>熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|

⑤流量の調整が完了したら、点検口、エプロンを元に戻してください。

3. 吐水温度の確認

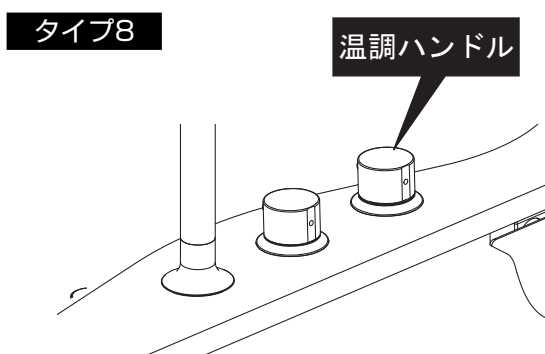
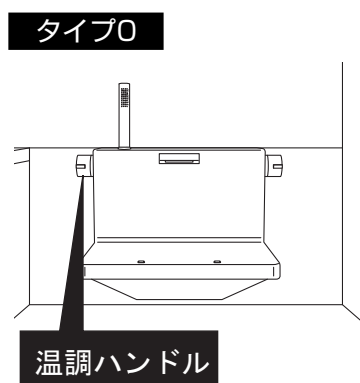
温度調節ハンドルは工場で設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

なお、本商品の水栓は最高約45℃以上の湯を出にくくする出湯温度規制付きです。

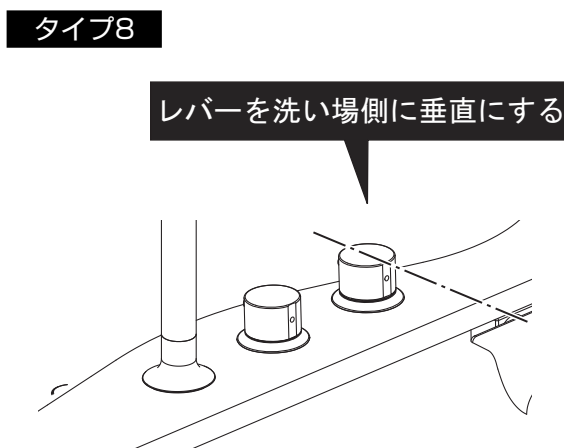
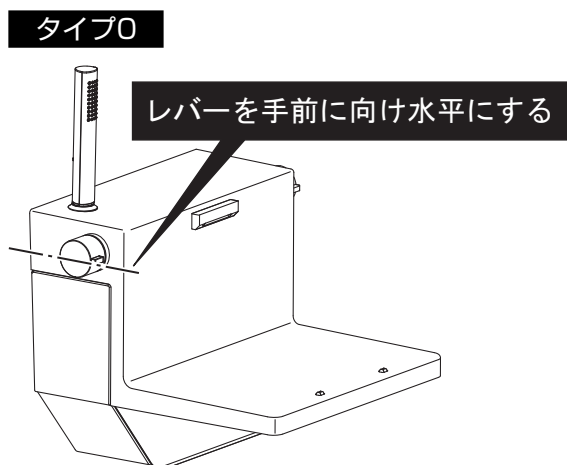
①給湯機の給湯温度を設定する。

給湯機の給湯温度は吐水温度より10℃以上高く設定してください。たとえば40℃の湯を出したい場合、給湯機の設定温度は50℃以上に設定してください。

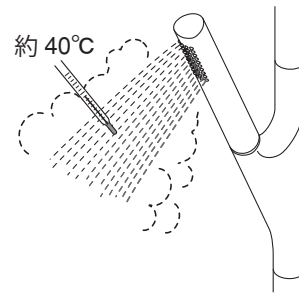
十分な機能を発揮させるため、給湯機の設定温度は60℃設定をおすすめします。やけど防止のため、60℃を越えない設定をしてください。



②温度調節ハンドルのレバーを下図の向きに合わせる。



- ③切替ハンドルをハンドシャワーに合わせ、シャワーを出して吐水温度を確認します。温度が約40℃であればそのままご使用いただけます。温度が著しくずれている場合は次の要領で調整してください。



4. 温度調節ハンドルの設定

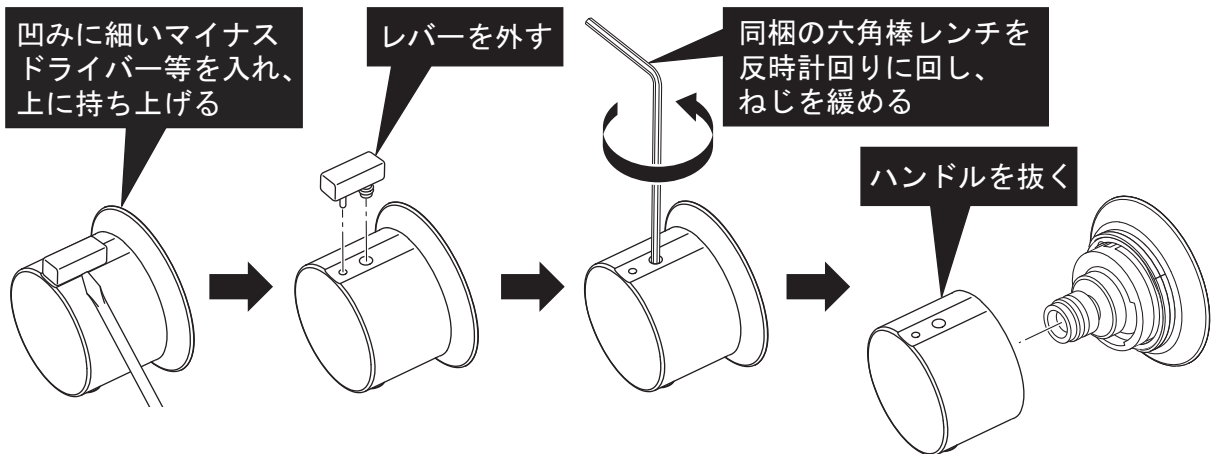
※吐水温度が適正でない場合のみ行ってください。

- ①切替ハンドルを操作してシャワーより湯を出す。
②温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り40℃を越えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら時計回りに回してください。

- ③温度調整ハンドルを外す。

- レバーを外す。
- 温度調整ハンドルが回らないように注意して、レバーを外し、止めねじをハンドルねじ穴の入口付近まで緩める。



⚠注意

止めねじは、紛失を防止するため、ハンドルから外さないようにしてください。

- ④温調ハンドルを取り付ける。

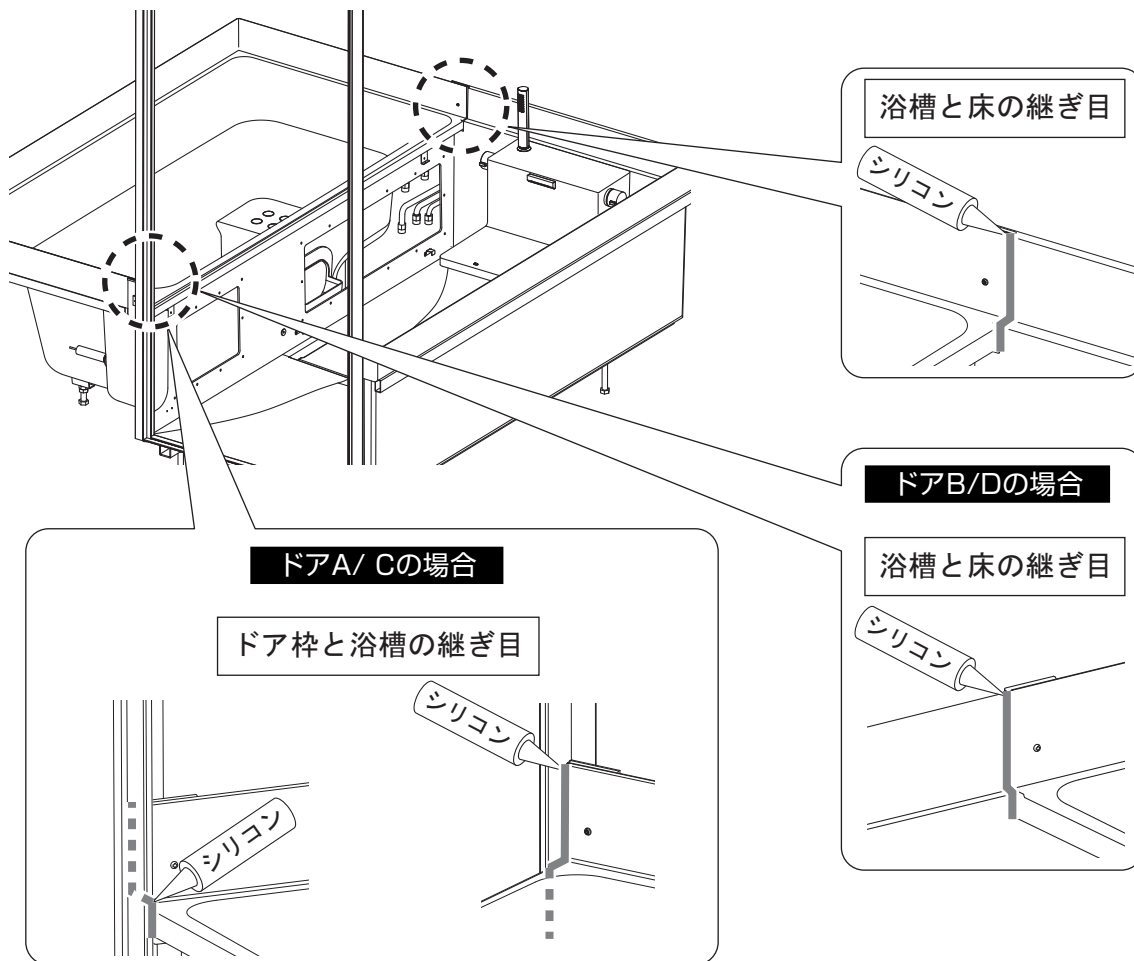
- ハンドルのねじ穴を「3. 吐水温度の確認②」に指示した向きに合わせ、上図と逆の要領でハンドルを取り付ける。

- ⑤取り付け後、温度が約40℃になっているか確認する。

12. コーキング

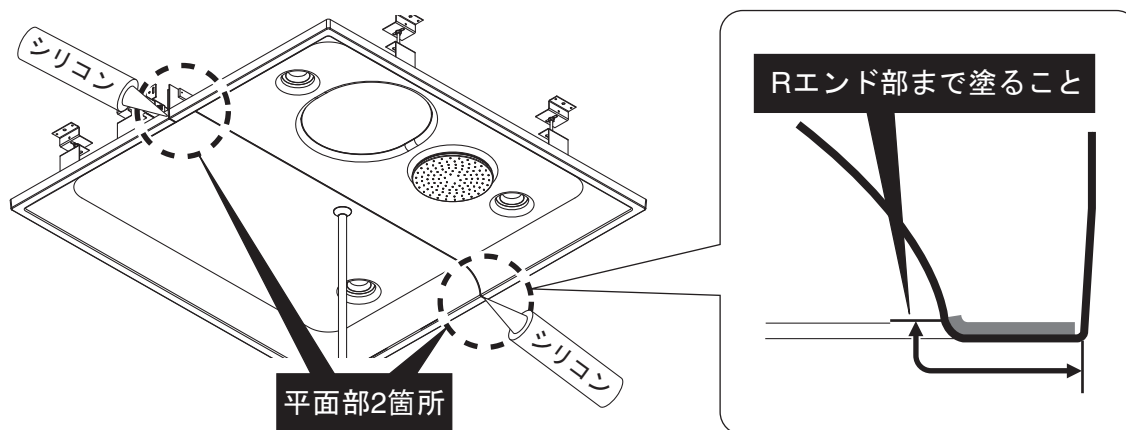
1. 浴槽・床側コーキング

浴槽、床の養生シートをはがし、浴槽と床の接合部2か所にコーキングを行います。コーキングは白色のものを使用してください。コーキング後24時間以上乾燥させてください。



2. ドーム天井分割部コーキング (タイプ8のみ)

天井の養生シートをはがし、両端の平面部にコーキングを行います。



13. 壁仕上げ (建築工事)

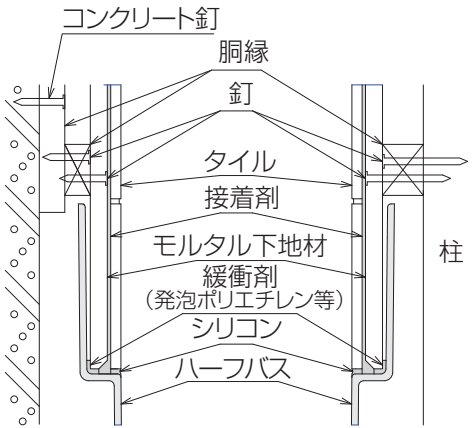
1. 壁仕上げ

壁と床、天井の取り合いは下図を参考に仕上げてください。

タイル仕上げの場合

コンクリート・ブロック造

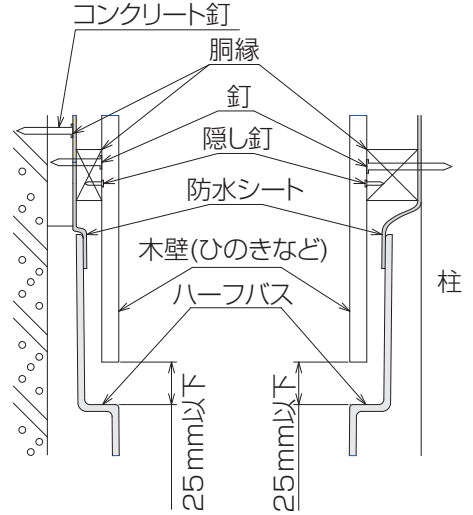
木造



ひのきなど木壁仕上げの場合

コンクリート・ブロック造

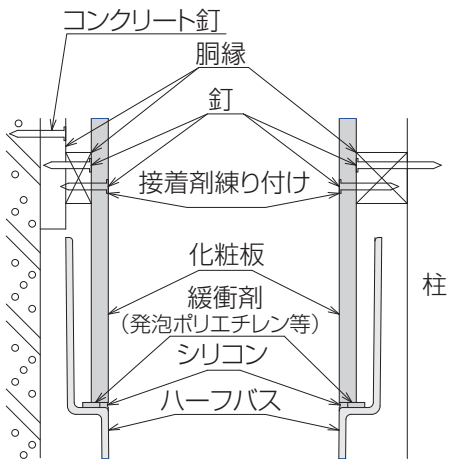
木造



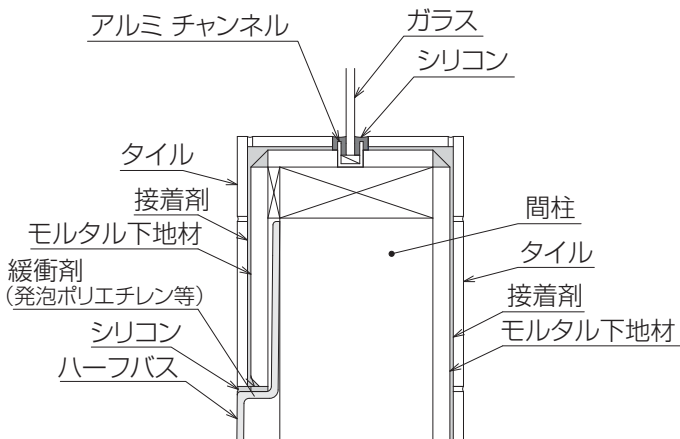
化粧板仕上げの場合

コンクリート・ブロック造

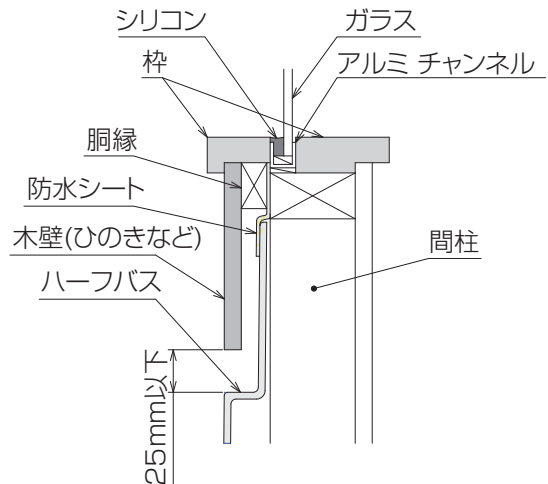
木造



FIX窓 タイル仕上げの場合

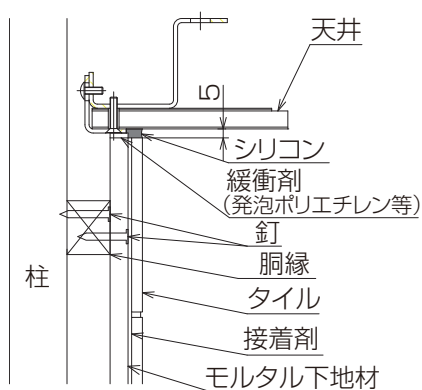


FIX窓 木壁仕上げの場合

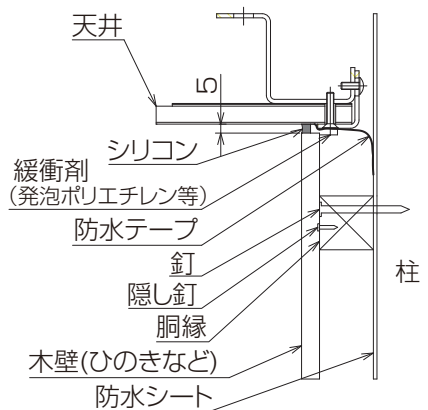


天井-壁取り合い

タイル仕上げの場合

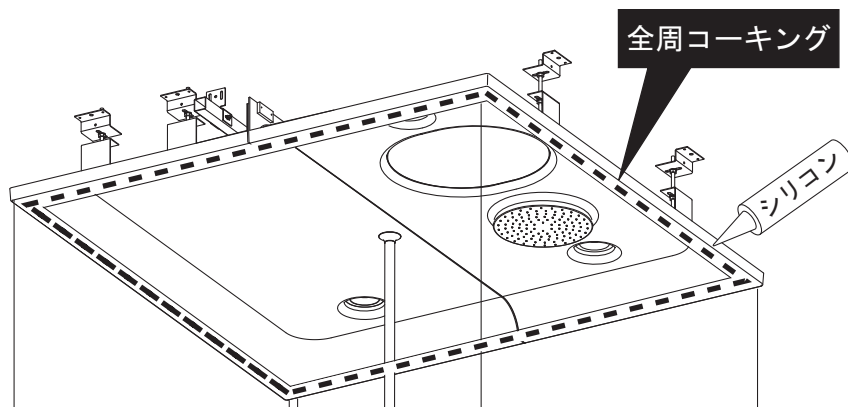


ひのきなど木壁仕上げの場合



2. 天井・壁部コーキング

壁の施工完了後、天井と壁のすきまにコーキングを行います。隙間に発泡ポリエチレン等の緩衝材を入れ、コーキング打ちしてください。コーキング後24時間以上乾燥させてください。



14. 壁付け器具の取付け (タイプ0のみ)

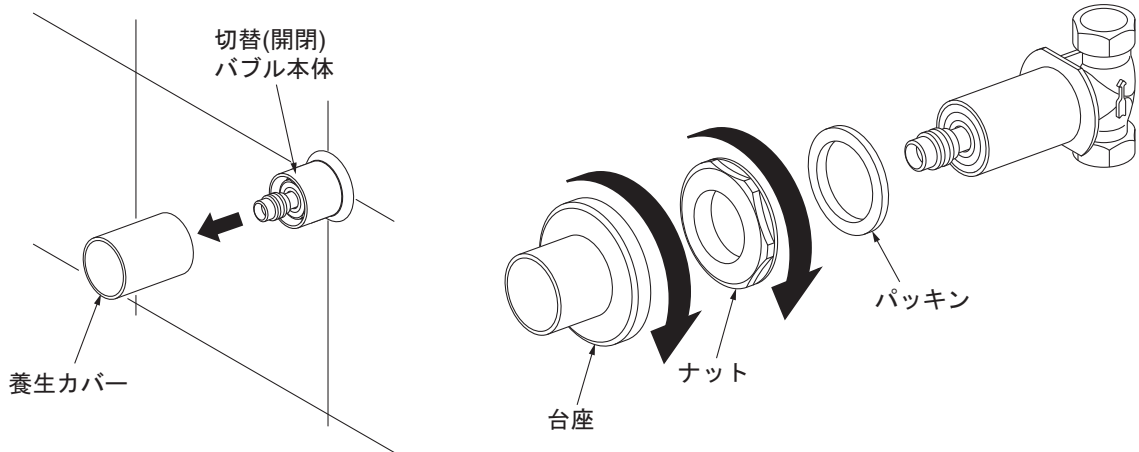


注意

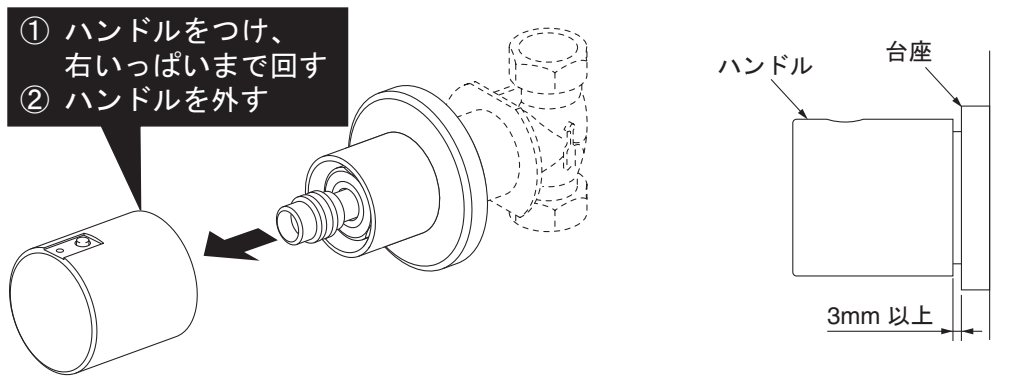
ナットの外周でけがをしないよう、手袋などの保護具を使用してください。

1. オーバーヘッドシャワー開閉ハンドルの取付け

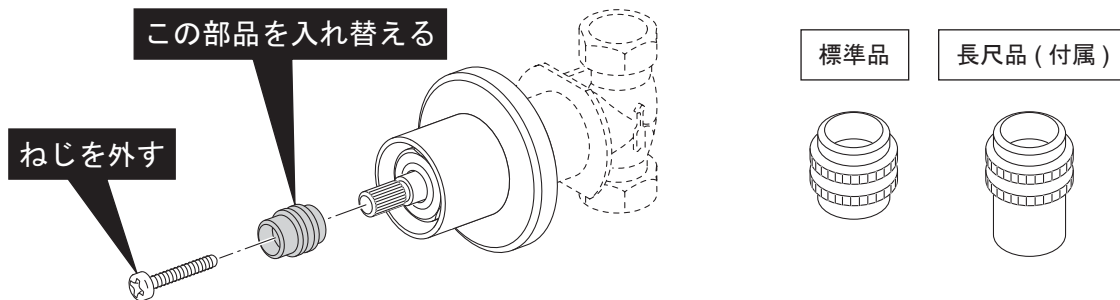
養生カバーを外し、パッキン、ナット、台座を回して取り付けます。壁に当たるまで締めこんでください。



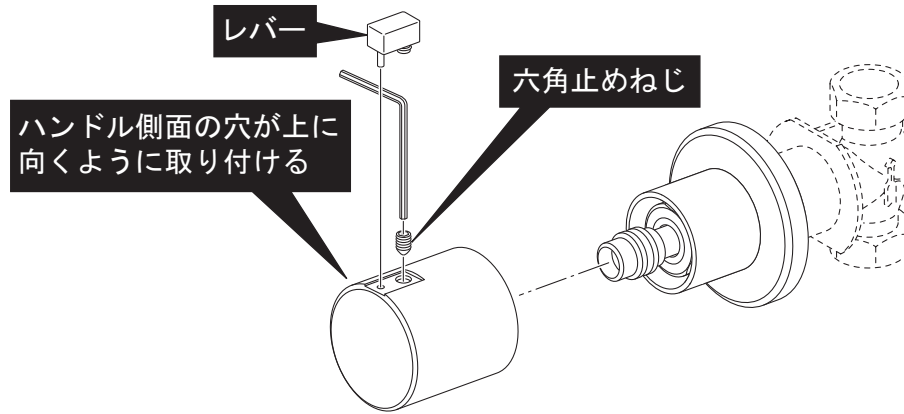
ハンドルを取り付けます。先にハンドルを仮取り付けし、ハンドルを最も右に回します。その時にハンドルと台座のすきまが3mm以上あることを確認してください。



すきまが3mm以下の場合、ハンドル取り付け部の先端の部品を付属の長いものに取り替えてください。

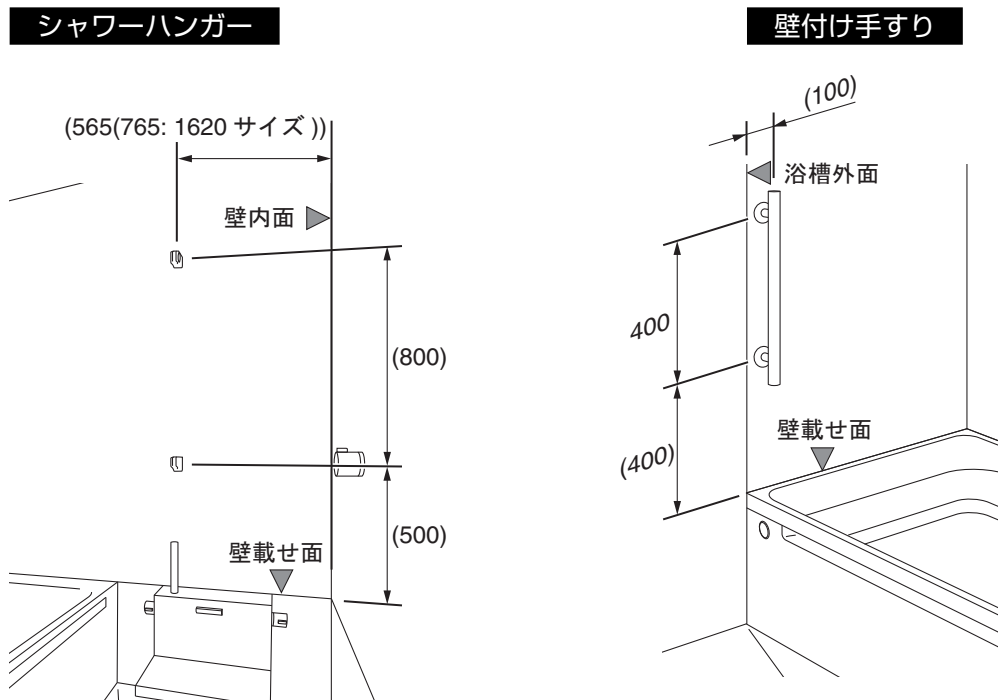


ハンドル側面の穴が真上に向くよう取り付けます。同梱の六角棒レンチを使用して、ハンドルの穴より止めねじでハンドルを固定します。ねじを締め付けた後、金属のレバーを穴に差し込んでください。



2. シャワーハンガー・手すり取付け

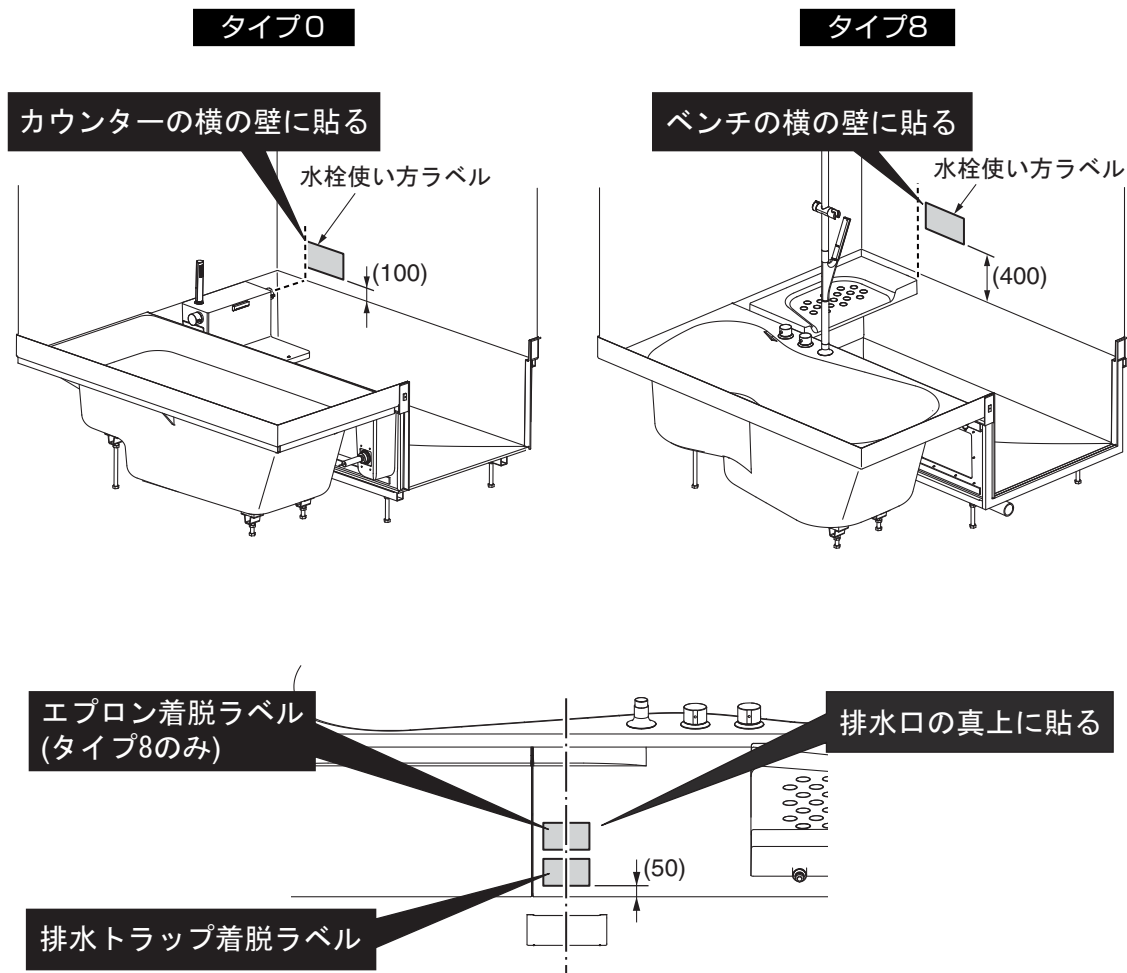
壁にシャワーハンガーと手すりを取り付けます。取り付け位置は下図の位置を参考に、使用者に合わせて決めてください。取り付け方法は、それぞれの部品に付属の専用施工説明書を参照ください。



3. ラベル貼り付け

ラベルを貼り付けます。下図の位置を参考に、お客様が見やすい位置に取り付けてください。ラベルはタイプ0は2種類、タイプ8は3種類あります。

- ①水栓使い方ラベル
- ②排水トラップ着脱ラベル
- ③エプロン着脱ラベル（タイプ8のみ）



以上で施工は完了です。お疲れ様でした。

MEMO